

蒲郡市生涯学習推進計画 2022 令和4年度～令和8年度

豊かな学びと文化でつなぐ 地域のきずな

～一人ひとりの学びから 未来のひとづくり いえづくり まちづくり～



令和4年3月 蒲郡市

豊かな学びと文化でつなぐ

本市では、市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自発的・主体的に学習に取り組めるよう、平成 7 年度から「蒲郡市生涯学習推進計画」を策定しており、このたび、第4期の計画となる「蒲郡市生涯学習推進計画 2022」を策定いたしました。

人生 100 年時代といわれる時代になり、豊かな人生のためには、生涯学習を通じ、自己の人格を磨き、学び続けることが大切だと言われています。



そのような中、昨今のコロナ禍においては、市民活動や生涯学習活動が思うようにできないなど閉塞感を感じられた市民の方も多いことと思います。それでもいつか仲間と一緒に大勢の観客の前で発表できる日のために、日々地道な練習や、活動を重ねられたであろうことに思いを馳せますと、市民文化祭や、定期演奏会、生涯学習成果発表会などの舞台に立つすべての人々の姿や作品の数々が、なお一層輝いて見え、感慨深いものでありました。

さて、本計画では基本理念を「豊かな学びと文化でつなぐ 地域のきずな ～ 一人ひとりの学びから 未来のひとづくり いえづくり まちづくり ～」とし、生涯学習を通じて市民の皆様が生活に潤いと生きがいを持てるよう、行政と関係団体、市民の皆様が一緒に進めるべき施策をまとめました。

また、本市では、令和4年には蒲郡市民憲章制定 50 周年、翌令和5年には、蒲郡市民会館開館 50 周年、といった本市の生涯学習を進めるうえでも大きな節目を迎えます。本市には、豊かな自然、観光、産業、音楽をはじめとした文化芸術、GCSL 蒲郡市文化スポーツリーグ、公民館や学校など地域に根差した活動などの特色がありますが、これら私たちの誇る「蒲郡らしさ」を生かした生涯学習のまちづくりを進めることで、子どもからご高齢の方まですべての人が地域とともに学び、育てあい、郷土への愛着がより深まっていくものと考えております。そしてそれは、私たちが心に刻んでいる市民憲章にある「ひとづくり、いえづくり、まちづくり」につながっていくことと思っております。

最後になりましたが、計画の策定にあたり、愛知教育大学准教授中山弘之様をはじめ、蒲郡市生涯学習推進計画策定委員会、蒲郡市社会教育審議会、ワークショップにご参加いただきました市民の皆様、生涯学習にかかわる団体・企業の皆様に、本計画の策定に際し惜しみなくご尽力いただきましたことに深く感謝申し上げます、あいさつとさせていただきます。

蒲郡市長 鈴木 寿明

～ 未来のひとづくり、いえづくり、まちづくり ～

今回策定しました「蒲郡市生涯学習推進計画 2022」では、基本理念を「豊かな学びと文化でつなぐ 地域のきずな ～ 一人ひとりの学びから 未来のひとづくり いえづくり まちづくり ～」といたしました。

令和4年は、蒲郡市民憲章制定 50 周年という節目の年であり、私たち蒲郡市民が指針としている「ひとづくり、いえづくり、まちづくり」を生涯学習の観点から実践していくものとしております。そこに蒲郡市の特色である、豊かな自然、観光、地元産業、文化芸術などの「蒲郡らしさ」を生かした生涯学習を通じて、市民の皆様が生活の中で潤いと生きがいを持てるよう蒲郡市がめざす生涯学習施策を展開しております。



蒲郡市の子どもたちに、「蒲郡のいいところは？」と聞きますと、「海」、「山」、「みかん」、「温泉」と続きます。私たちが守るべき自然や文化について学ぶことは、生涯学習の一つであり、その学びを語り継ぐことも生涯学習です。さらに、学んだことを何か行動に移すことも生涯学習と言えます。そういった学びの循環が地域の人々の交流を育み、地域の活性化から、やがてまちづくりにつながっていくものと思っております。

本計画では、4つの基本方針を立て、「学びの場づくり」、「学びの環境づくり」、「学びを支える基盤づくり」、「学びを通じたまちづくり」と場面ごとに様々な施策を描いています。一人ひとりが楽しんで学び、市民の皆様がまちや地域をステージにしてこの蒲郡で輝けるように、市民の皆様とともにアイデアを結集して生涯学習施策を講じていくことが私たちの使命と思っております。

最後に、本計画の策定に際し、愛知教育大学准教授中山弘之様をはじめ、蒲郡市生涯学習推進計画策定委員会、蒲郡市社会教育審議会、蒲郡市文化協会など関係団体・企業の皆様、市民ワークショップにご参加いただいた市民の皆様には、蒲郡の生涯学習への思いや、希望を語っていただきました。この場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

蒲郡市教育委員会教育長 壁谷 幹朗

目次

第1章 計画の策定にあたって	
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけと期間	1
3 計画策定の方法	2
4 生涯学習の意義	3
5 蒲郡市がめざす生涯学習	4
6 生涯学習をめぐる動向	5
第2章 生涯学習の現状と課題	
1 蒲郡市の現状	9
2 「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」の進捗状況	22
3 生涯学習の推進にあたっての課題	25
4 生涯学習の推進に必要な視点	28
第3章 計画の基本的な考え方	
1 基本理念	30
2 基本方針	31
3 施策体系	33
第4章 施策の展開	
基本方針1 学びの場づくり ～ 多様な学習活動の充実 ～	34
基本方針2 学びの環境づくり ～ 学びに会い、誰もが参加しやすい環境の整備 ～	40
基本方針3 学びを支える基盤づくり ～ 生涯学習を推進する団体の育成、体制の整備 ～	43
基本方針4 学びを通じたまちづくり ～ 学びを地域に生かす仕組みの構築 ～	47
第5章 計画の推進にあたって	
1 計画の推進体制	51
2 計画の進行管理	52
資料編	
1 蒲郡市生涯学習推進計画 2022 策定委員会設置要綱	53
2 蒲郡市生涯学習推進計画 2022 策定委員会名簿	55
3 計画策定の経過	56
4 蒲郡市の取組一覧	57
5 アンケート調査結果	65

1 計画策定の趣旨

私たちを取り巻く社会は少子高齢化や人口減少、急速な情報化、価値観の多様化等により、めまぐるしく変化しています。また、人生 100 年時代と言われる現代においては、一人ひとりがその可能性を最大限に引き出し、豊かな人生を送ることができるよう、誰もがあらゆる機会に学び続けることができる環境づくりが求められており、生涯学習の重要性は一層増しています。

また、少子高齢化の進行や地域のつながりの希薄化、若年・現役世代の地域参加の乏しさなど、地域には様々な課題が存在しています。一人ひとりが自身の人生の豊かさのために学ぶだけでなく、その学習活動がこうした地域の課題解決に資するものとなるよう、学んだ学習成果を地域社会で生かすことのできる循環型の社会の構築が求められています。

蒲郡市においては、平成 7 年に「ゆたかな海と緑の学園都市構想」として、生涯学習推進計画を策定し、その後、平成 17 年、平成 29 年に改定版を策定しました。このたび平成 29 年に策定した「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」が令和 3 年度に計画の最終年度を迎えることから、第 4 期の計画である「蒲郡市生涯学習推進計画 2022」を策定します。

今回の改定では、市民が、個人として、または仲間同士で生涯を通して気軽に楽しく学び続けることができるように社会情勢の変遷も考慮に入れ、より身近な生涯学習環境の実現をめざして、「生涯学習推進計画」の見直しを行います。

2 計画の位置づけと期間

(1) 計画の位置づけ

市の最上位計画である「第五次蒲郡市総合計画」（計画期間：令和 3 年度から令和 12 年度まで）では 6 つの基本目標を定め、そのうち教育・文化分野の基本目標を「人と文化を未来につなぐまちづくり」としています。

本計画は、総合計画の基本目標達成に向けて、生涯学習や文化芸術の推進にあたっての基本的方向を示し、他の関連計画と整合性を図りながら、生涯学習推進の取組を実施していくものです。

なお、本計画は「教育基本法」及び「社会教育法」の趣旨を踏まえた「生涯学習推進計画」であるとともに、「文化芸術基本法」により各自治体における策定が努力義務とされている「文化芸術推進基本計画」を含むものとして位置づけます。

総合計画における 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自発的な生涯学習の推進 ■ 文化公演事業や企画展の充実 ■ 学校・地域・団体との連携による生涯学習活動の推進 ■ 公民館を拠点とした学習機会による地域交流の推進 ■ 学習活動からまちづくりへの展開
------------------	--

(2) 計画の期間

本計画の期間は、令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間とします。

3 計画策定の方法

(1) アンケート調査の実施

市民の生涯学習に対する意識や生涯学習活動の状況等を把握するとともに、蒲郡市文化協会に加盟する団体及び蒲郡市の公民館で活動する団体の活動状況や活動上の課題等を把握するために、アンケート調査を実施しました。

区分	一般調査	団体調査
調査対象者	市内在住の満 18 歳以上の住民：1,500 人 GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー※：77 人	蒲郡市文化協会に加盟する団体：112 団体 蒲郡市の公民館で活動する団体：316 団体
調査方法	郵送での配布・回収（回収率 35.6%）	各施設での配布・回収（回収率 69.6%）
調査期間	令和 2 年 10 月 23 日（金）～ 令和 2 年 11 月 20 日（金）	

(2) ワークショップの実施

一般市民や地域で生涯学習活動を行っている人を対象にしたワークショップで、生涯学習の推進にあたっての課題やニーズ、必要な取組などについて、グループトークを行いました。

テーマ	地域で学ぶ。学びを地域に生かす。～ みんなで語ろう！これからの学び・まちづくり ～
実施概要	第 1 回：生涯学習に関する講習会・生涯学習にかかる課題の抽出 令和 3 年 8 月 8 日（日） 蒲郡市民会館大会議室（参加者 16 名）
	第 2 回：課題解決アイデアの検討 令和 3 年 8 月 29 日（日） オンライン開催（参加者 17 名）
	第 3 回：課題解決に向けての個人、地域、行政の役割の検討・今後必要な生涯学習活動の検討 令和 3 年 9 月 11 日（土） オンライン開催（参加者 16 名）

(3) 団体・企業ヒアリングの実施

生涯学習活動をしている団体や、地域に生涯学習の機会を提供していただいている企業に対しヒアリング調査を実施し、活動の状況や活動上の課題、本市の生涯学習へのご意見等を伺いました。

(4) 策定委員会の開催・パブリックコメントの実施

「蒲郡市生涯学習推進計画 2022 策定委員会」を設置し、計画の策定に関する内容等の調整を行う「庁内検討会（市役所関係課で構成）」で検討を進めながら計画案についての審議を行いました。また、計画案をホームページや公民館等で公開し、「パブリックコメント手続き（市民意見の募集）」を実施しました。

用語解説

※GCSL（Gamagori Culture Sports Leader）蒲郡市文化・スポーツリーダー
趣味や特技を生かして市内のグループ・団体の活動をお手伝いする、ボランティア登録・派遣制度。

4 生涯学習の意義

(1) 生涯学習とは

生涯学習とは、一人ひとりが健康で生きがいがあり、豊かな人生を送るため、あらゆる機会にあらゆる場所で生涯を通じて行う学習活動のことです。家庭教育や学校教育、社会教育というすべての学習活動を含みます。さらに、文化芸術、スポーツ、レクリエーション、ボランティア、趣味等、個人が行う多様な活動のほか、企業等で行われている教育・研修活動や出前授業の活動、地域（自分の住むまち）の課題について話し合うことや、地域のことを知る活動も生涯学習に含まれます。

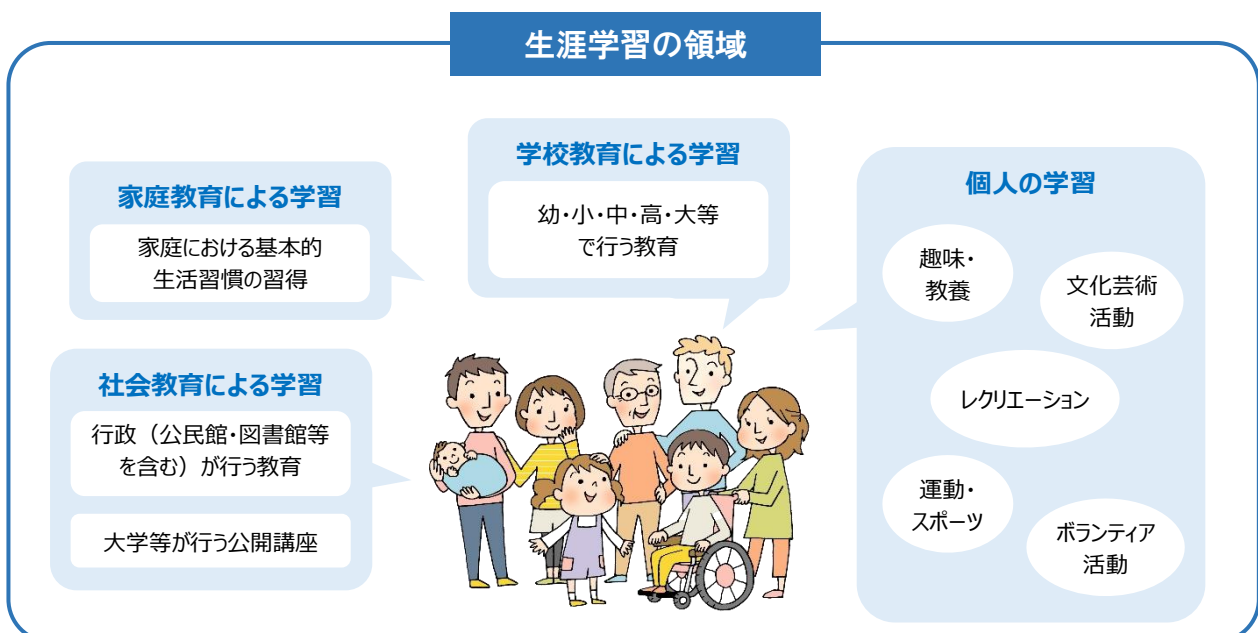
また、誰もが、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択し学ぶことができ、その成果が適切に評価される社会を「生涯学習社会」といいます。

(2) 生涯学習の必要性

生涯にわたって学ぶということは、必要な知識や技術を習得できるだけでなく、学習活動を行うこと自体が生きがいとなり、人生の豊かさにつながります。また、文化芸術に親しむことは、人々の心や暮らしにゆとりと潤いをもたらし、生きる力や気づきを与えてくれるだけでなく、異なる文化を持つ人々の交流や相互理解を促し、人と人をつなぐ上で重要な役割を果たしています。

社会情勢が目まぐるしく変化する現代において、絶えず新しい知識や技術を習得していくことや、豊かな感性を養い、多様な価値観を受け入れる視点を持つことは不可欠であり、「人生 100 年時代」を豊かに生きるためにも、生涯学習社会の実現は重要な課題となっています。

また、活力あるまちづくりのためにも「学び」は欠くことのできない大切な営みです。学習活動、文化芸術活動を通して仲間づくりの輪を広げ地域で交流を深めることは、地域の活性化や高齢者の社会参加、青少年の健全育成、多文化の共生などにつながり、まち全体にとっても大変有意義であると考えられています。さらに、地域の課題が多様化・複雑化する中において、「学び」や「文化芸術」を通じて市民一人ひとりが地域にかかわり、地域の担い手として学習の成果がまちづくりに生かされることが期待されます。



5 蒲郡市がめざす生涯学習

「蒲郡らしさ」をキーワードに ～豊かな自然・観光・地元産業・文化芸術～

市民一人ひとりが自発的に、また主体的に学習活動や文化芸術活動を行い、日々生きがいをもって、充実した人生を送ること、また、地域に根差した市民の学びの成果がまちづくりへとつながることを目的とし、市民一人ひとりの学習活動を支えるための多様な学習機会、文化芸術にふれる機会の提供とともに、その成果をまちづくりに幅広く生かすことができる仕組みづくりを進めます。本市の特徴である豊かな自然と観光や地元産業、音楽をはじめとした文化芸術を念頭に「蒲郡らしい」生涯学習社会の実現をめざします。

- 豊かな自然・観光・地元産業を生かした生涯学習
- 音楽をはじめとした文化芸術の推進
- GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダーを軸とした交流事業の推進
- 公民館や学校等での地域に根差した活動の推進



〈地元産業を生かす〉
漁師が教える親子料理教室



〈産業を学び、発信する〉
キッズコンシェルジュ現地研修



〈地域に根差した活動〉
授業で SUP 体験



〈GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー〉
GCSL による企画講座



〈音楽活動アウトリーチ〉
蒲郡市吹奏楽団 保育園訪問



がまごおりじなる

6 生涯学習をめぐる動向

(1) 近年における国の動向

教育基本法の改正

平成 18 年 12 月に 60 年ぶりに「教育基本法」が改正され、同法第 3 条において「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」という生涯学習の理念が示されました。

また、同法第 17 条第 1 項において、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、国において基本的な計画（教育振興基本計画）を定めることが規定されました。

教育振興基本計画

教育基本法の改正に伴い、平成 20 年 7 月に「教育振興基本計画」が閣議決定され、地方公共団体は、国の「教育振興基本計画」を参酌し、地域の実情に応じて「地方公共団体における教育のための施策に関する基本的な計画」を定めるよう努めることが求められました。平成 25 年 6 月には「第 2 期教育振興基本計画」が閣議決定されています。

その後、平成 30 年 6 月に「第 3 期教育振興基本計画」が策定され、「2030 年以降」の社会を見据えた教育政策のあり方が示されました。生涯学習の推進に向けては「人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進」、「人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進」、「職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身につけるための社会人の学び直しの推進」、「障害者の生涯学習の推進」といった目標が示されました。

中央教育審議会

平成 30 年 12 月の中央教育審議会「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」の答申では、社会教育の意義・果たすべき役割を明確にした上で、新たな社会教育の方向性を示し、「学びへの参加のきっかけづくりの推進」、「多様な主体との連携・協働の推進」、「多様な人材の幅広い活躍の促進」、「社会教育の基盤整備と多様な資金調達手法の活用等」の具体的方策が整理されました。

令和 2 年 9 月には、第 10 期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理がまとめられ、「社会包摂の実現」、「人生 100 年時代と生涯学習・社会教育に必要な資質・能力等の更新」、「Society5.0※に向けたこれからの生涯学習・社会教育」、「地域活性化の推進」、「子供・若者の地域・社会への主体的な参画と多世代交流の推進」等が生涯学習をめぐる現状課題としてあげられています。

用語解説

※Society5.0

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のこと。狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第 5 期科学技術基本計画において、我が国がめざすべき未来社会の姿として初めて提唱された。

関連する法改正

近年では、文化芸術に関する事項として、平成 29 年 6 月に「文化芸術振興基本法」が改正され、新たに「文化芸術基本法」と改められました。同法では、文化芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策を法律の範囲に取り込むことや、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用することが明記されています。また、地方公共団体に対し、「地方文化芸術推進基本計画」の策定が努力義務として規定されています。

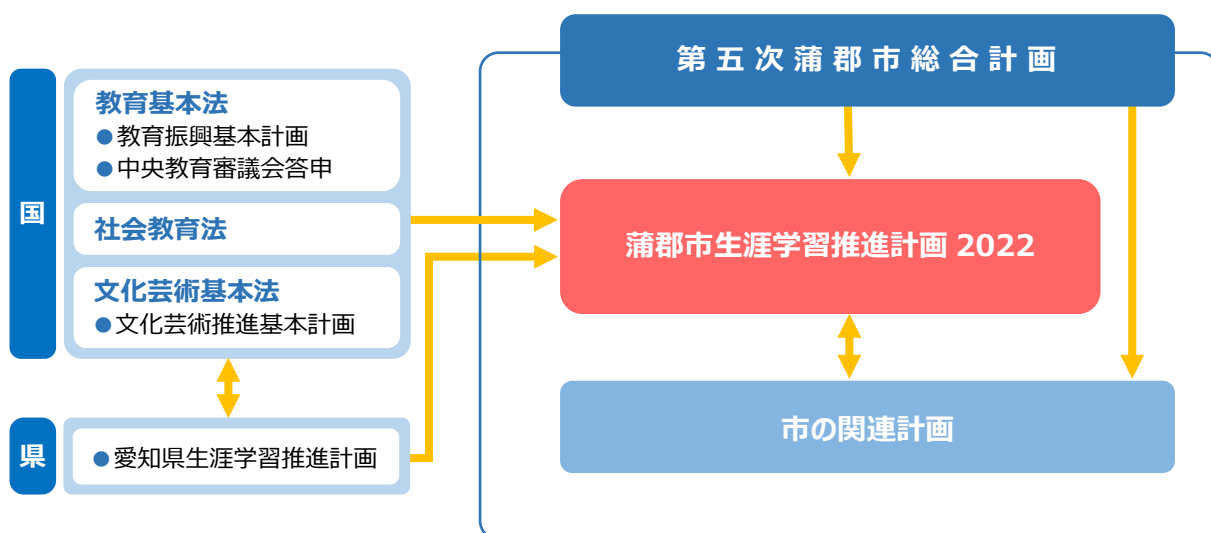
平成 31 年 3 月には、文部科学省の有識者会議によって「障害者の生涯学習の推進方策について 一誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して一」がまとめられ、共生社会の実現がうたわれています。

(2) 近年における県の動向

愛知県においては、平成 25 年に「愛知県生涯学習推進計画」が策定され、その基本理念として「自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会」が掲げられています。

その後、平成 30 年に「愛知県生涯学習推進計画」の基本理念を継承した「第 2 期愛知県生涯学習推進計画」が策定されています。第 2 期計画では、基本理念を実現するための 3 つの視点として、「個人の自立を促し、学びを生かす機会の充実」、「地域の絆（きずな）づくり・ネットワークづくりの促進」、「多様な主体による連携・協働の強化」が設定されており、「長寿社会を豊かに生きる生涯学習」、「家庭と地域の教育力を高める生涯学習」、「持続可能な社会づくりを進める生涯学習」、「職業的自立を高める生涯学習」、「生涯学習推進体制づくり」が生涯学習施策を展開する 5 つの基本的な柱として掲げられています。

他計画との関連性イメージ



(3) 蒲郡市の取組

「蒲郡市生涯学習推進計画」の策定

本市では平成7年に「蒲郡市生涯学習推進計画」を策定し、「がまごおり ゆたかな海と緑の学園都市構想」を軸として「市民大学構想」、「生涯学習センターの設置」、「ミニ博物館構想」、「コミュニティースクール整備」の4つのプロジェクトを提示しました。同年から平成17年まで「市民大学講演会」をシリーズ化して開催し、市民に文化講演の機会を提供しました。公民館や体育館など社会教育施設においても講座や教室などを開催しました。また、市民に市の仕事を知ってもらうことを目的に、平成13年には「なんでも出前講座」を開始しました。そのほか、市民への生涯学習情報として、市内で活動する「団体・サークル紹介誌」の発行や市民ボランティアで生涯学習活動の指導を担う「GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー」登録制度を確立し、市民の生涯学習活動への機会づくりを推進しました。

「蒲郡市生涯学習推進計画 2005」の策定

平成17年には第2期目の計画となる「蒲郡市生涯学習推進計画 2005」を策定しました。引き続き「がまごおり ゆたかな海と緑の学園都市構想」の実現のため、平成17年度から平成26年度までの10年間を計画期間としていましたが、2年間延長して平成28年度までとしています。音楽をテーマにした様々な事業の開催を契機に、まちづくりの一環として音楽を中心とした市民の自主的な活動が盛んになってきました。また、児童館などで親子参加型の講座開催や公民館で多岐にわたる分野の講座を開催するなど、生涯学習講座数は飛躍的に増えるなど成果をあげています。

「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」の策定

平成29年には第3期目の計画として「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」を策定しました。この計画は平成29年度から令和3年度までの5年間を計画期間とし、基本理念を「一人ひとりの学びから 未来のひとづくり いえづくり まちづくり」として「GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー」による市民企画講座や成果発表会の実施などに取り組みました。また、蒲郡市文化協会創立50周年記念となる令和2年度の市民文化祭については、令和元年度末から流行が始まった新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部オンライン開催とするなど、新しい生活様式に対応した形で行いました。

その他近年の取組

市民にとって最も身近な学習拠点である公民館についても整備を進めており、最も老朽化が進んでいた府相公民館を移転し、竹島小学校敷地内に新築しました。学校敷地内に公民館を建築したのは市内初で、学校と地域の交流の促進を目的とした初めての取組となります（令和2年4月より運用開始）。その後の令和3年3月には、市の公民館の将来を見据えた施設のあり方・考え方についてとりまとめた「蒲郡市公民館のあり方について（公民館ランドデザイン）※」を策定しています。

生涯学習をめぐる近年の主な動き

年	国	愛知県	蒲郡市
平成 7年			・「蒲郡市生涯学習推進計画」策定
平成 17年			・「蒲郡市生涯学習推進計画 2005」 策定
平成 18年	・「教育基本法」改正 生涯学習の理念が示される		
平成 20年	・「教育振興基本計画」閣議決定 (7月)		
平成 25年	・「第2期教育振興基本計画」閣議 決定(6月)	・「愛知県生涯学習推進計画」策 定	
平成 29年	・「文化芸術振興基本法」改正、 「文化芸術基本法」成立(6月)		・「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」 策定
平成 30年	・「第3期教育振興基本計画」閣議 決定(6月) ・中央教育審議会答申「人口減少 時代の新しい地域づくりに向けた社 会教育の振興方策について」(12 月)	・「第2期愛知県生涯学習推進計 画」策定	
平成 31年	・「障害者の生涯学習の推進方策に ついて ―誰もが、障害の有無にかか わらず共に学び、生きる共生社会を 目指して―」報告(3月)		
令和 2年	・「第10期中央教育審議会生涯学 習分科会における議論の整理」報 告(9月)		・府相公民館を移転、竹島小学校 敷地内に新築
令和 3年			・「蒲郡市公民館のあり方について (公民館グランドデザイン)」策定
令和 4年			・「蒲郡市生涯学習推進計画 2022」 策定

用語解説

※蒲郡市公民館のあり方について（公民館グランドデザイン）

市の現状と課題を踏まえ、これからの蒲郡市の公民館の将来を見据え検討したもの（令和3年策定）。
公民館の機能を主として「社会教育機能」と「地域交流拠点機能」という2つの機能に分けることで、それぞれの機能を十分に発揮させることや、公民館の利用範囲の拡大、施設配置等について考え方を示している。

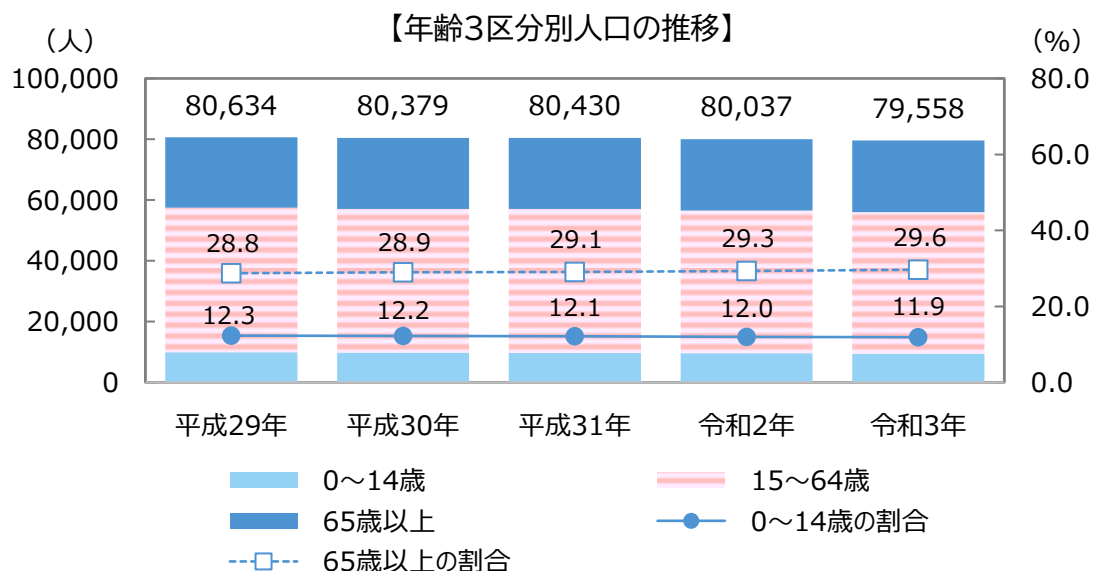
1 蒲郡市の現状

(1) 人口等の動向

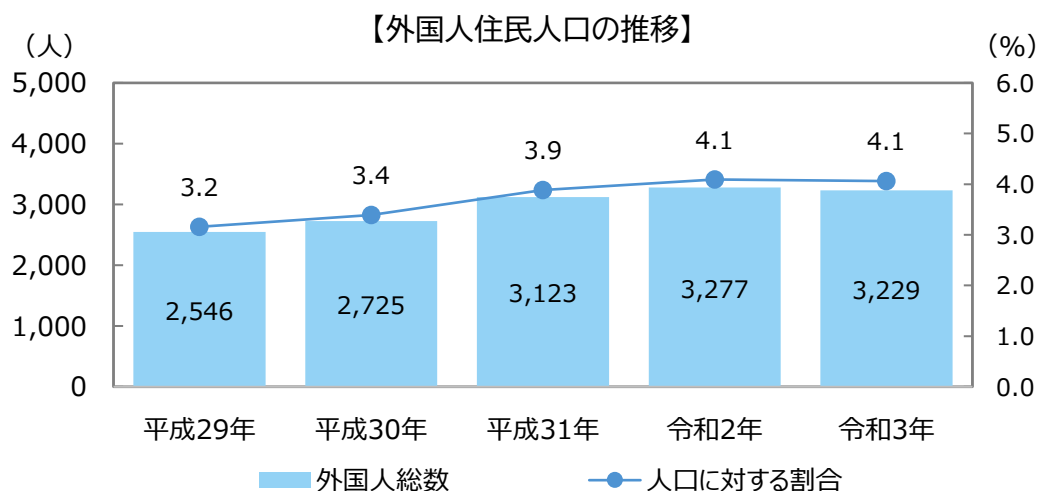
① 人口の推移

蒲郡市の人口は年々減少傾向にあり、令和3年4月1日現在の住民基本台帳人口は8万人を下回り、79,558人となっています。高齢化は年々進み、令和3年4月1日現在の住民基本台帳人口から算出すると、29.6%となっています。

外国人住民人口についてはおおむね増加傾向にあり、令和3年4月1日現在では3,229人となっており、人口の4.1%を占めています。

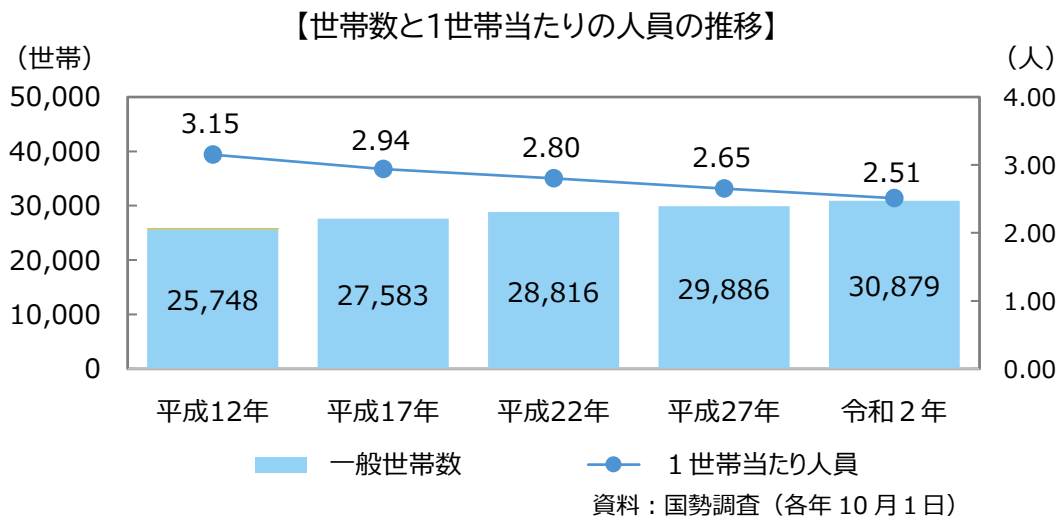


資料：住民基本台帳（各年4月1日）



資料：住民基本台帳（各年4月1日）

蒲郡市の一般世帯数は増加している一方で、1世帯当たり人員は減少し、令和2年では一般世帯数が30,879世帯に対し、1世帯当たり人員は2.51人となっており、世帯の小規模化が進んでいることがうかがえます。



② 地域の状況

【常会加入世帯・加入率の推移】

	H29	H30	R1	R2	R3
加入世帯数※ (件)	26,506	-	26,814	-	27,036
加入率	87.6%	-	87.5%	-	86.9%

※2年に1回調査を実施。数値には外国人世帯・混合世帯（1つの世帯に外国人と日本人が含まれる世帯）を含まない。

【友愛クラブ（老人クラブ）数・会員数の推移】

	H29	H30	R1	R2	R3
クラブ数 (クラブ)	55	55	55	55	54
会員数 (人)	3,244	3,127	3,081	2,946	2,868

※対象はおおむね60歳以上

【小学校児童数・子ども会加入率の推移】

	H29	H30	R1	R2	R3
加入児童数 (人)	4,118	4,096	4,035	3,979	3,874
加入率	74.7%	71.3%	68.0%	64.2%	54.6%

【公民館登録団体数の推移】

	H29	H30	R1	R2	R3
登録団体数 (団体)	343	345	349	362	319

【文化協会加盟団体数・登録者数の推移】

	H29	H30	R1	R2	R3
加盟団体数 (団体)	128	127	119	112	109
登録者数 (人)	1,968	1,890	1,846	1,664	1,346

(2) 主な生涯学習関連施設の配置状況

蒲郡市には、11の公民館と7の児童館、市民会館、生命の海科学館、博物館、図書館をはじめとした生涯学習関連施設が整備されています。



(3) 市民の生涯学習に対する意識や活動の状況

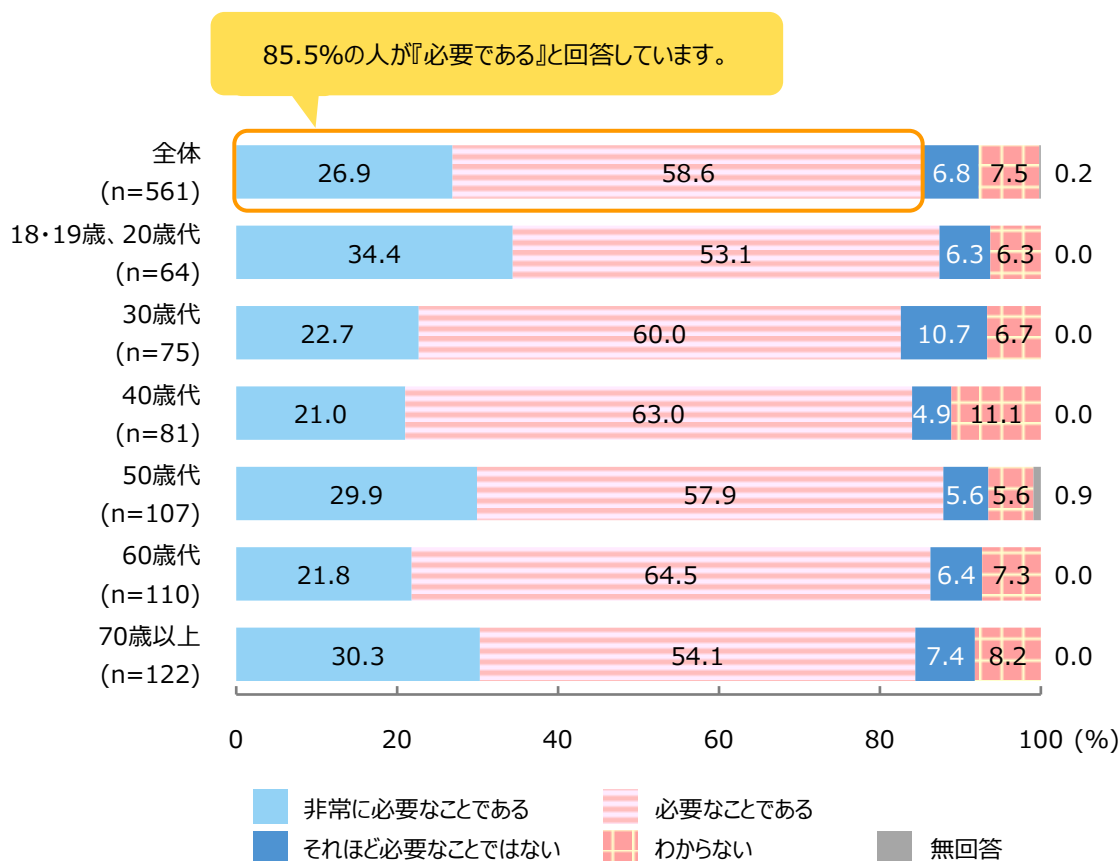
※nは回答者数。ただし、全体のnには年齢不詳の人の回答も含まれるため、各年代のnの合計と全体のnは一致しない。
また、小数点処理（四捨五入）により割合の合計は100%とならないものもある。

① 生涯学習に対する意識

生涯学習の必要性については、「必要なことである」が58.6%と最も高く、次いで、「非常に必要なことである」が26.9%、「それほど必要なことではない」が6.8%となっており、『必要』（「非常に必要なことである」+「必要なことである」）については85.5%となっています。

『必要』の割合を年代別で見ると、どの年代も8割以上となっていますが、《18・19歳、20歳代》（87.5%）、《50歳代》（87.8%）、《60歳代》（86.3%）での割合が高い傾向にあります。

【生涯学習の必要性に対する考え】



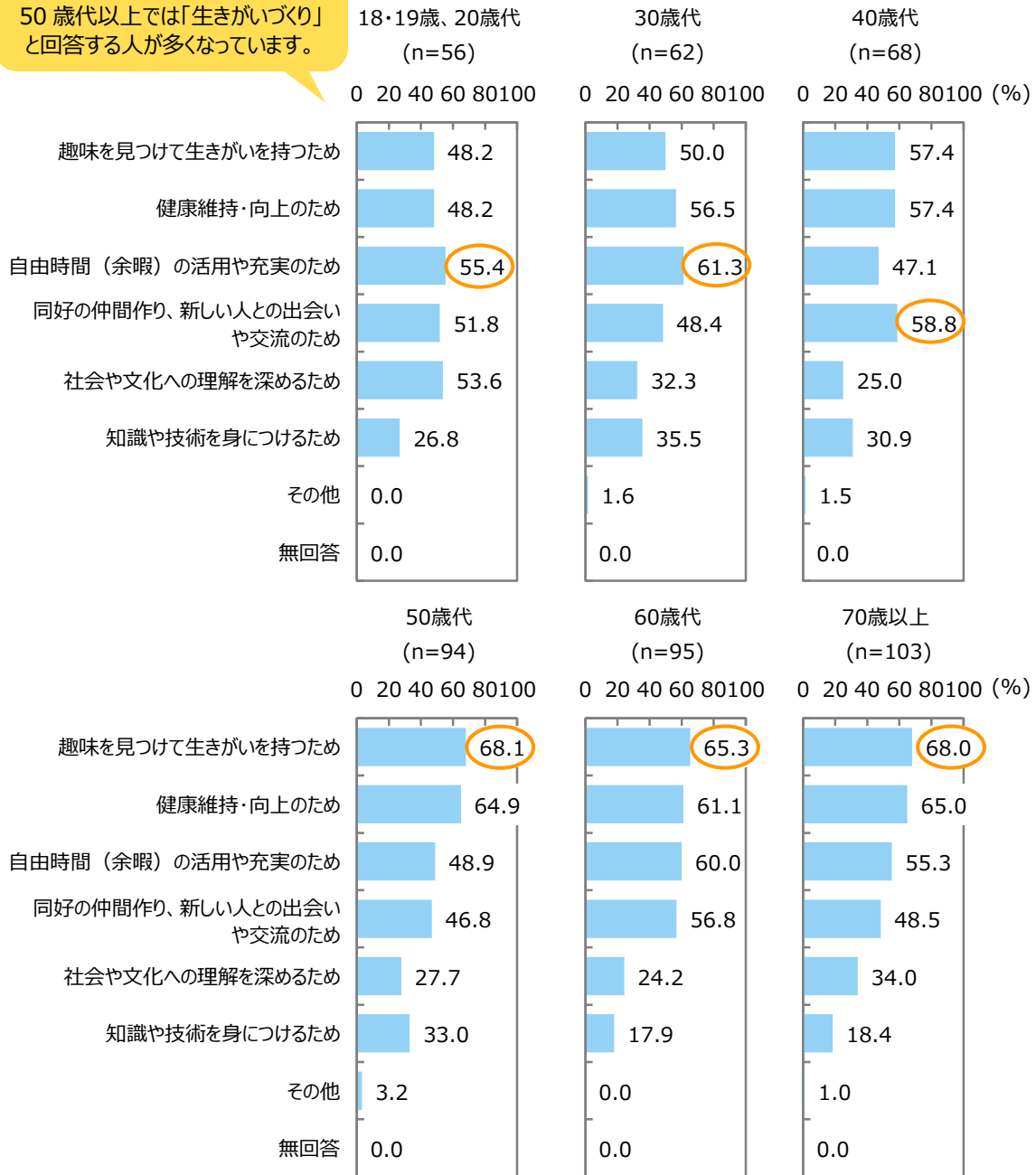
資料：令和2年度生涯学習に関する市民アンケート調査

生涯学習が必要だと思う理由について年代別でみると、《18・19 歳、20 歳代》、《30 歳代》では「自由時間（余暇）の活用や充実のため」が最も高くなっていますが、《40 歳代》では「同好の仲間作り、新しい人との出会いや交流のため」、《50 歳代》、《60 歳代》、《70 歳以上》では「趣味を見つけて生きがいを持つため」が最も高くなっています。

また、《18・19 歳、20 歳代》では他の年代に比べて「社会や文化への理解を深めるため」の割合が高い傾向にあります。

30 歳代までは「余暇の活用・充実」、40 歳代では「仲間づくり」、50 歳代以上では「生きがいづくり」と回答する人が多くなっています。

【生涯学習が必要だと思う理由】

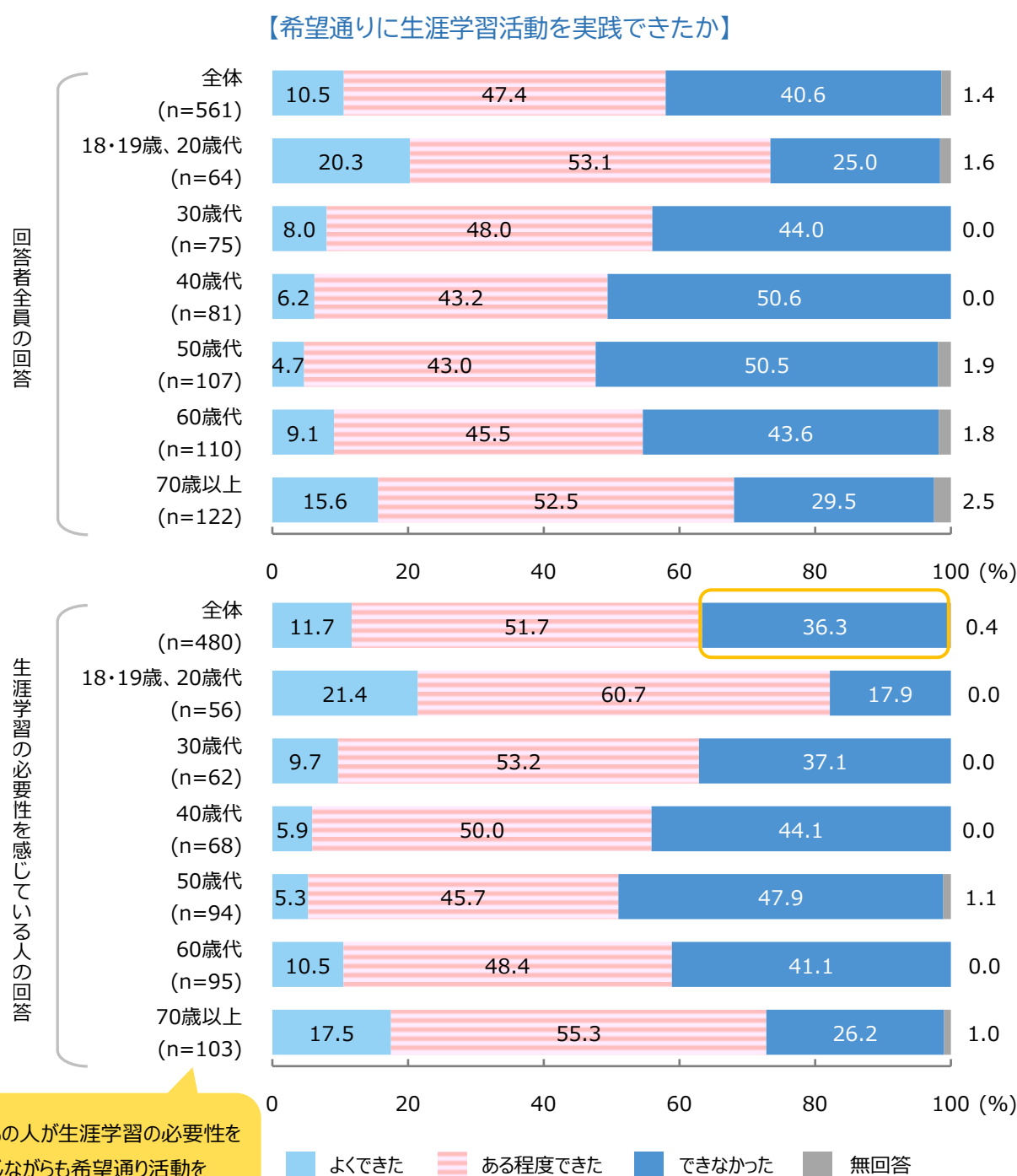


資料：令和2年度生涯学習に関する市民アンケート調査（回答は複数回答）

② 生涯学習活動の状況

生涯学習活動をしたいと思った時に希望通りに生涯学習活動を実践できたかについて、『できた』（「よくできた」+「ある程度できた」）の割合を年代別でみると、「18・19歳、20歳代」が73.4%と最も高くなっています。「30歳代」、「60歳代」、「70歳以上」についても5割以上と高くなっていますが、「40歳代」「50歳代」については「できなかった」の割合の方が高くなっています。

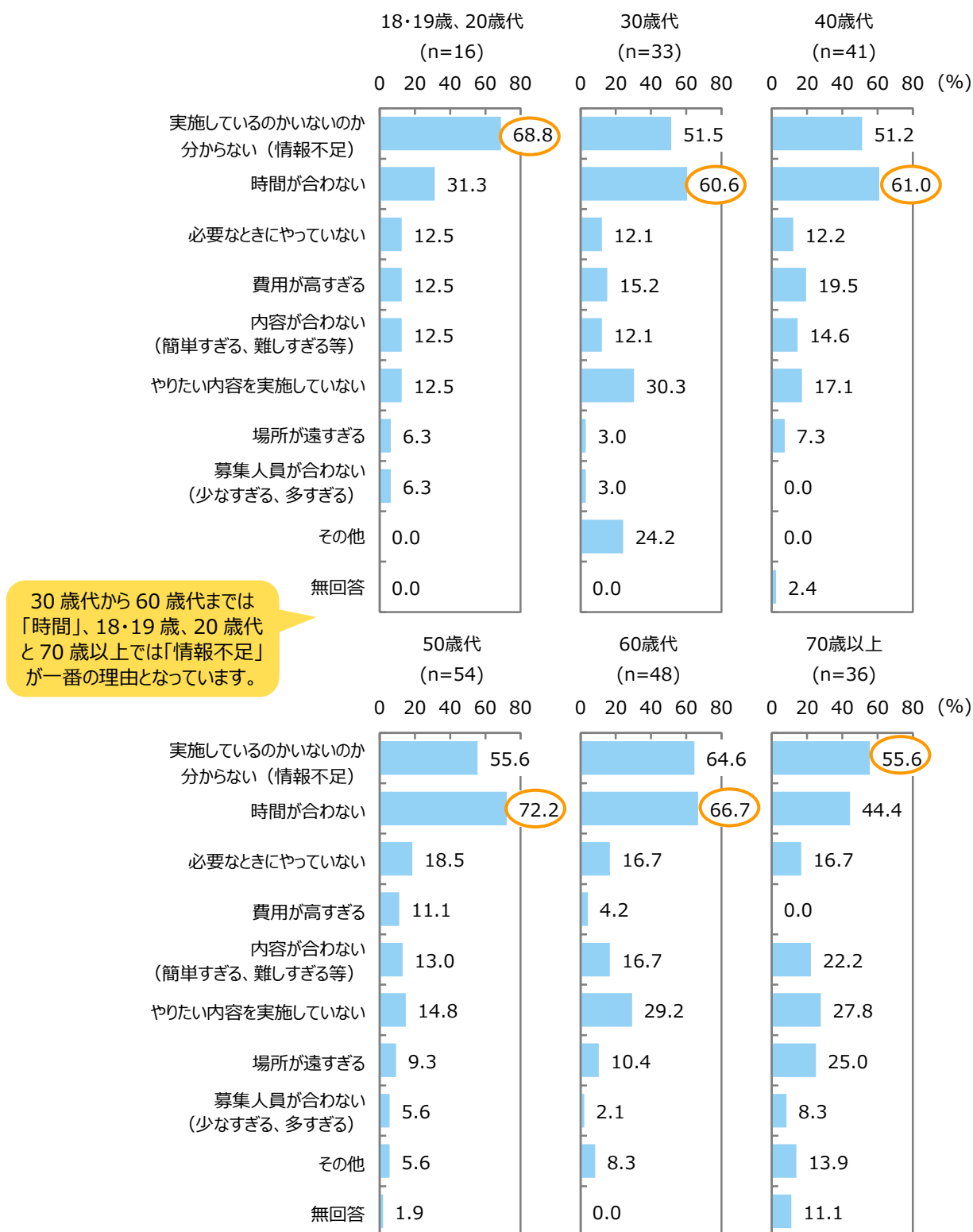
また、生涯学習の必要性を感じながらも希望通り活動を実践できていない人は全体の36.3%となっており、年代別でみると、「40歳代」（44.1%）、「50歳代」（47.9%）、「60歳代」（41.1%）での割合が高い傾向にあります。



資料：令和2年度生涯学習に関する市民アンケート調査

活動したいと思ったにもかかわらず、希望通りに実践できなかった理由について年代別でみると、どの年代も「時間が合わない」、「実施しているのかわからない（情報不足）」が上位2位となっていますが、「時間が合わない」の割合は、《30歳代》から《60歳代》で高い傾向にあり、《50歳代》では72.2%と、特に高くなっています。また、《18・19歳、20歳代》では他の年代に比べて「実施しているのかわからない（情報不足）」の割合が高い傾向にあります。

【希望通りに生涯学習活動が実践できなかった理由】

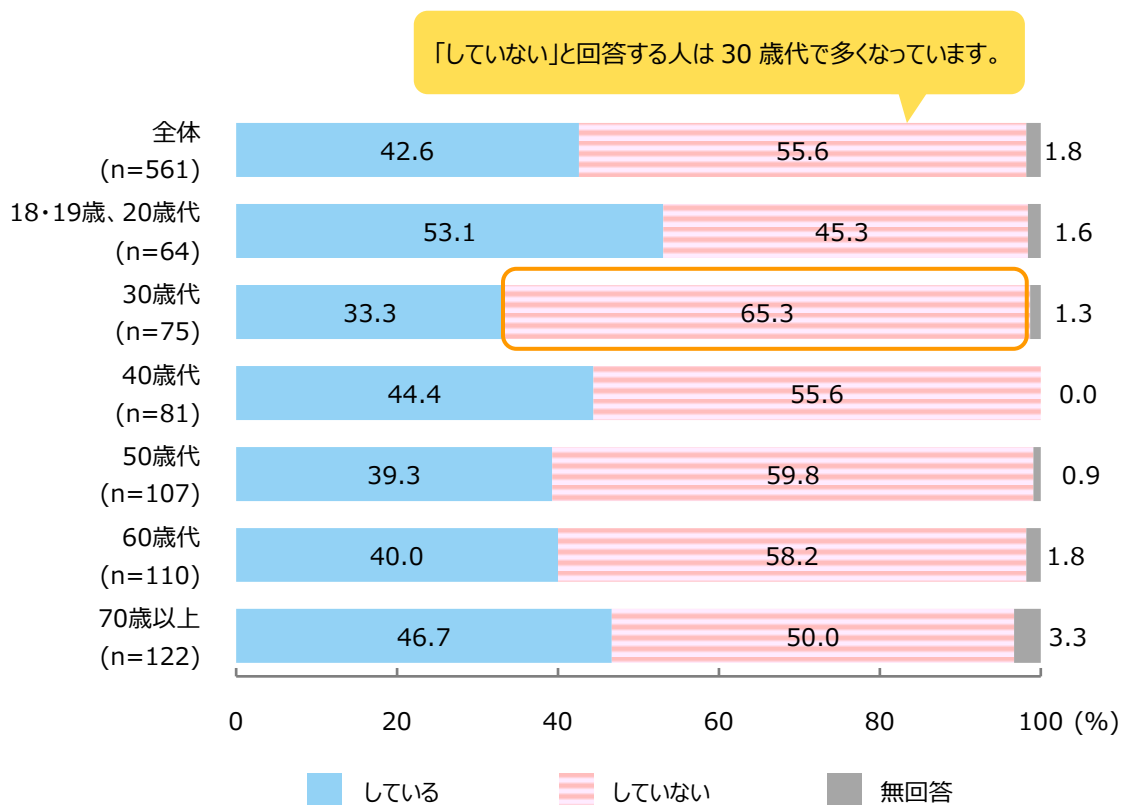


資料：令和2年度生涯学習に関する市民アンケート調査（回答は複数回答）

この2～3年間に生涯学習活動をしているかについては、「している」が42.6%、「していない」が55.6%となっています。

「している」の割合を年代別で見ると、「18・19歳、20歳代」で最も高く、53.1%となっています。割合が低いのは「30歳代」で、「30歳代」では「していない」が65.3%となっています。また、「18・19歳」、「20歳代」を除く年代については、「していない」の割合が5割を超えています。

【この2～3年間の生涯学習活動の有無】

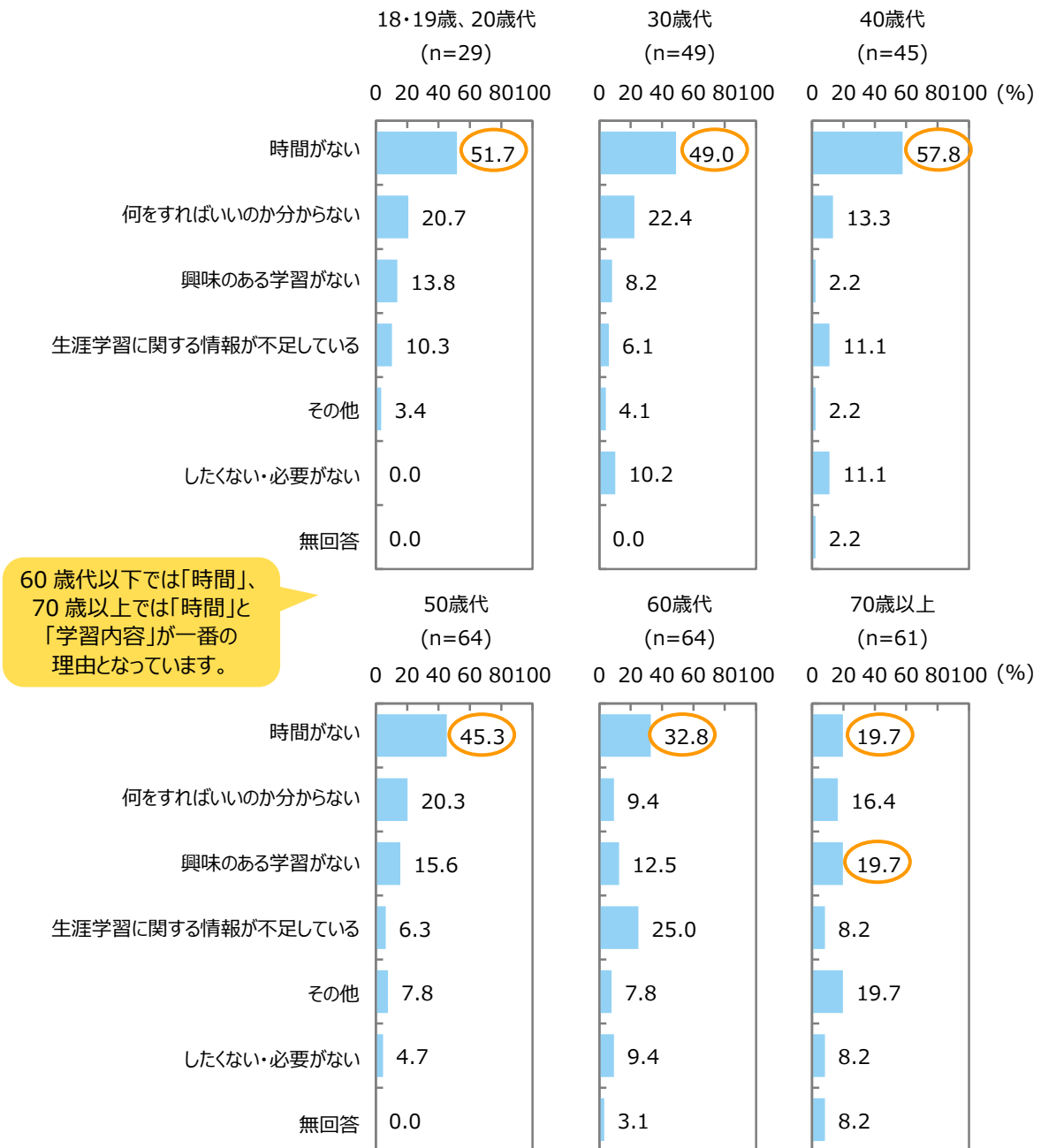


資料：令和2年度生涯学習に関する市民アンケート調査



この2～3年間に生涯学習活動をしていない人の活動をしていない理由について年代別でみると、《60歳代》以下は「時間がない」が最も高くなっています。《70歳以上》については「時間がない」と「興味のある学習がない」が同率となっています。また、《60歳代》を除く年代については、「何をすればいいのか分からない」の割合も比較的高くなっています。《60歳代》については「生涯学習に関する情報が不足している」の割合が他の年代に比べて高い傾向にあります。

【この2～3年間に生涯学習活動をしていない理由】

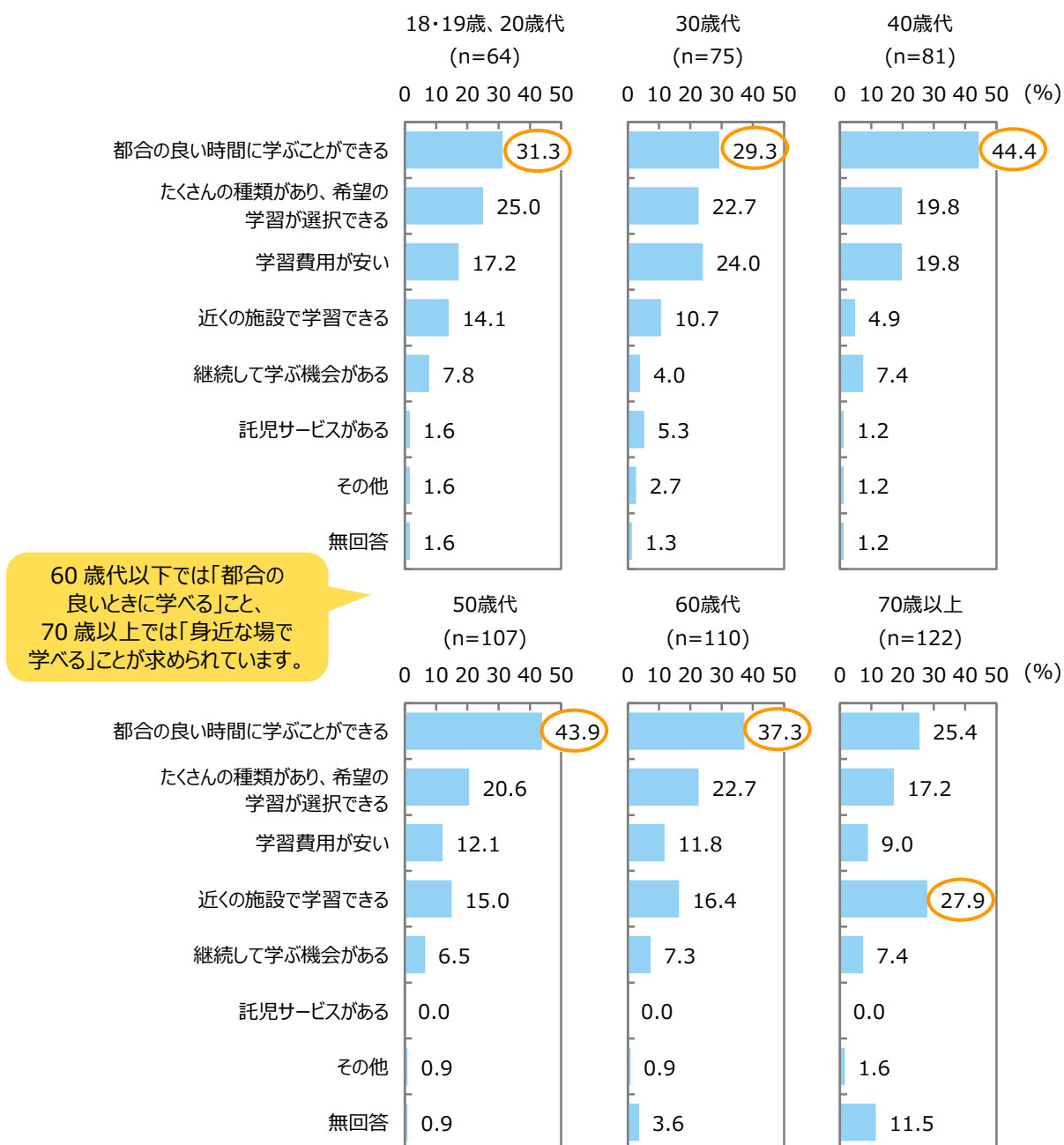


資料：令和2年度生涯学習に関する市民アンケート調査

③ 市の講座・教室に求めること

市の講座・教室に参加する上で重視することについて年代別でみると、《60 歳代》以下は「都合の良い時間に学ぶことができる」が最も高く、特に《40 歳代》、《50 歳代》で高い傾向にあります。一方で、《70 歳以上》では、「近くの施設で学習できる」が最も高くなっています。また、《30 歳代》では「学習費用が安い」の割合も比較的高くなっています。

【市の講座・教室に参加する上で重視すること】



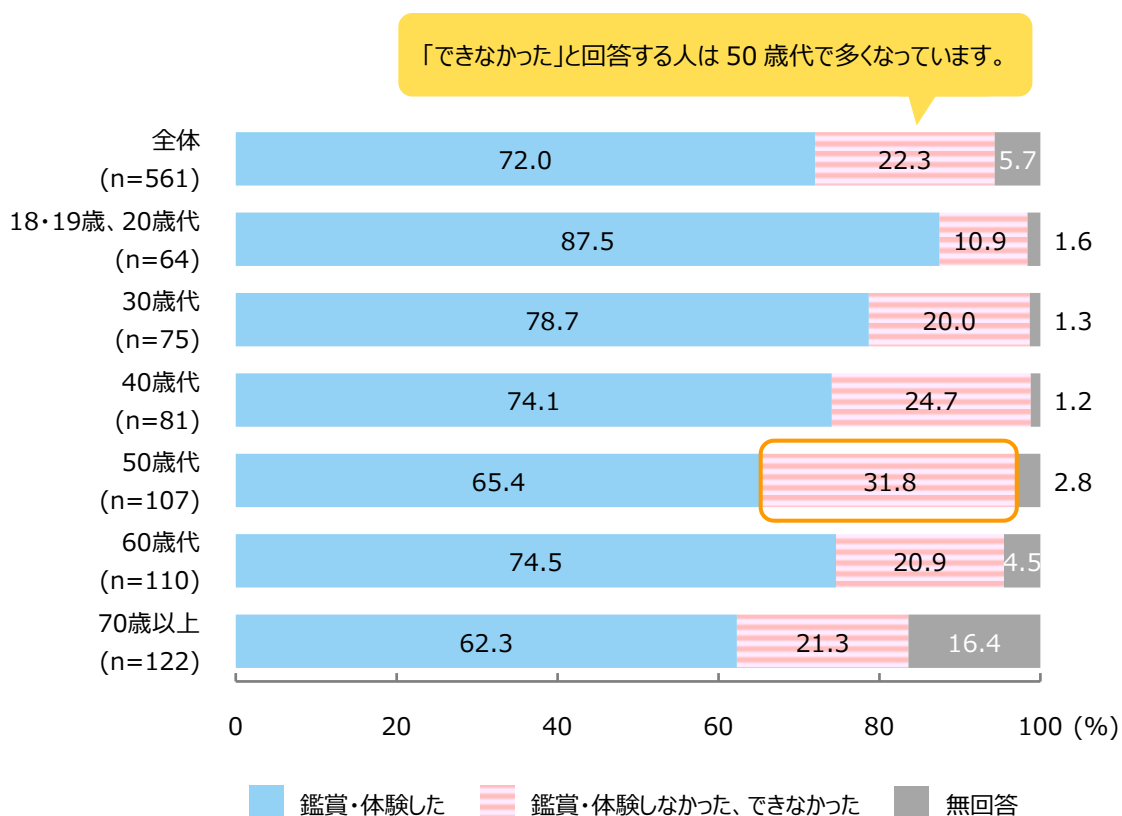
資料：令和2年度生涯学習に関する市民アンケート調査

④ 文化芸術活動の状況

この2～3年間の文化芸術の鑑賞・体験の有無については、「鑑賞・体験した」が72.0%と、「鑑賞・体験しなかった・できなかった」が22.3%となっています。

「鑑賞・体験した」の割合を年代別でみると、「18・19歳、20歳代」での割合が最も高く、87.5%となっています。割合が低いのは「50歳代」で、「50歳代」については「鑑賞・体験しなかった・できなかった」(31.8%)が3割以上となっています。

【この2～3年間の文化芸術の鑑賞・体験の有無】



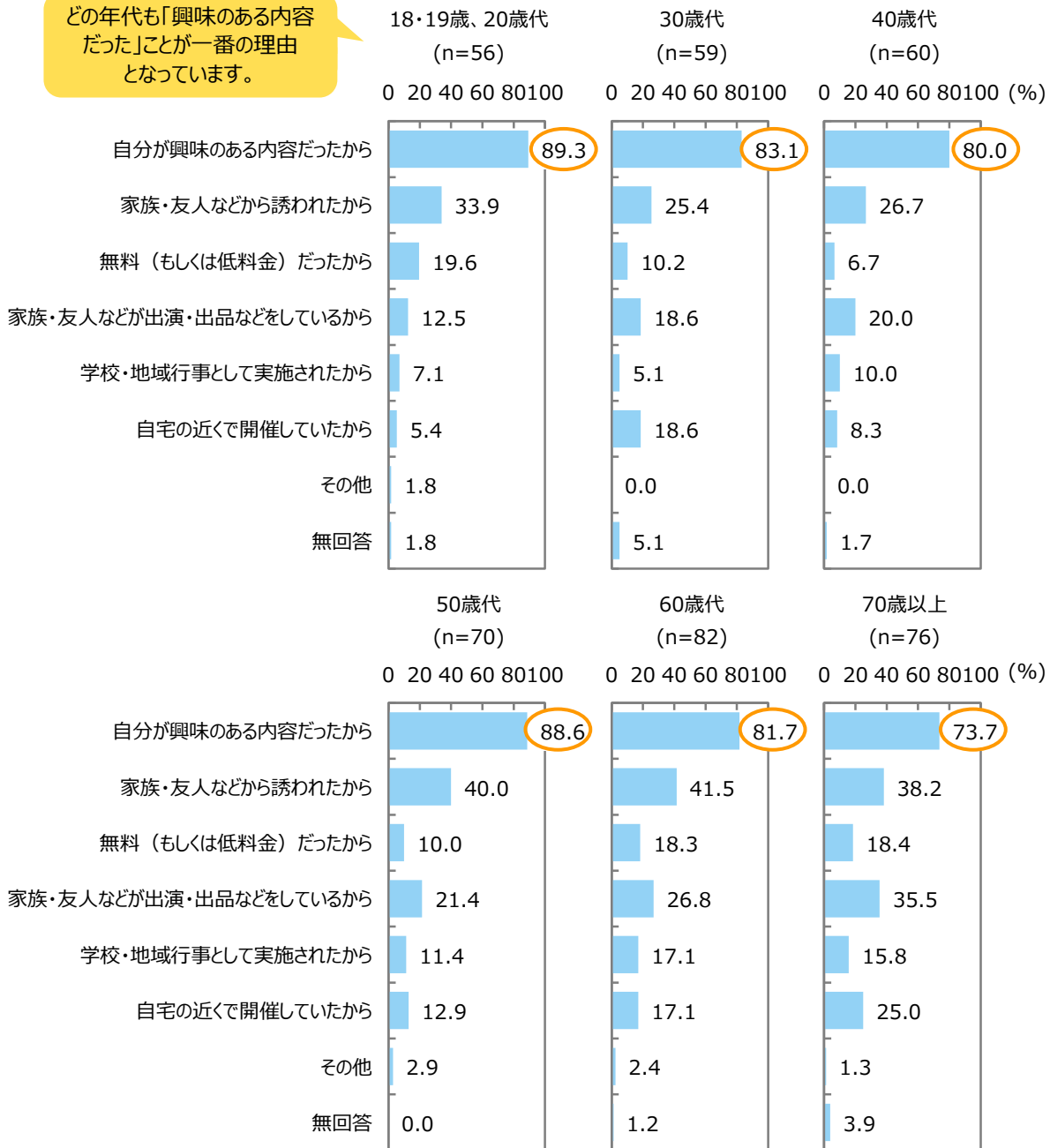
資料：令和2年度生涯学習に関する市民アンケート調査



この2～3年間に文化芸術を鑑賞・体験した理由について年代別で見ると、どの年代も「自分が興味のある内容だったから」が最も高くなっています。次いで割合が高いのは「家族・友人などから誘われたから」となっており、特に《50歳代》以上での割合が高い傾向にあります。

【この2～3年間に文化芸術を鑑賞・体験した理由】

どの年代も「興味のある内容だった」ことが一番の理由となっています。



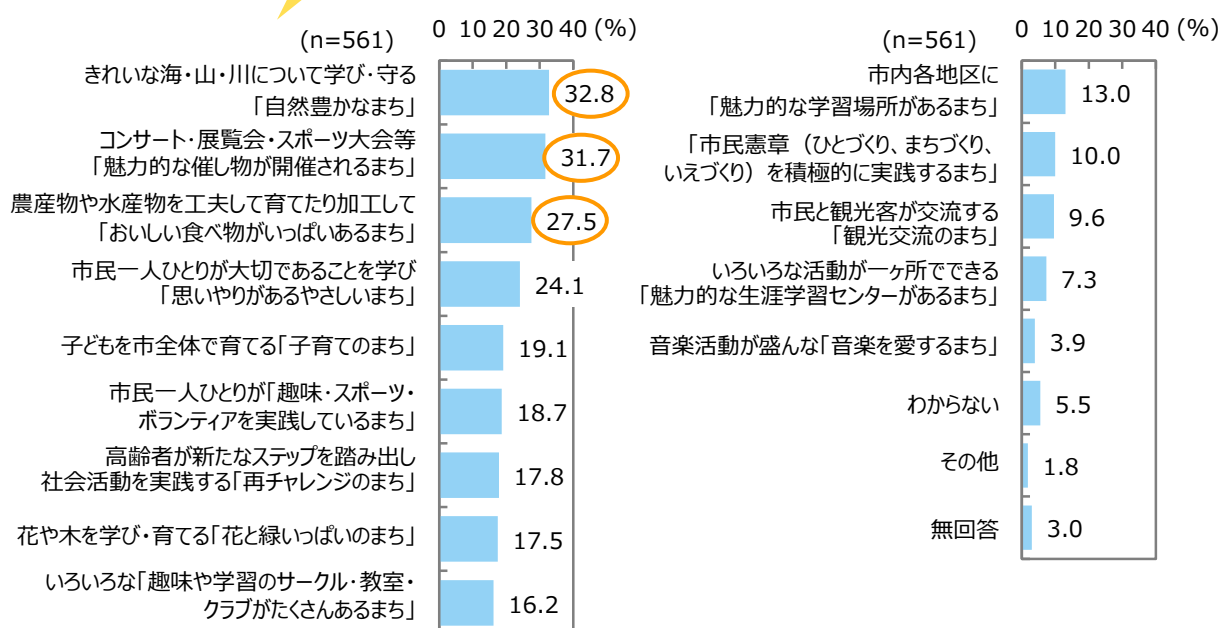
資料：令和2年度生涯学習に関する市民アンケート調査（回答は複数回答）

⑤ 蒲郡市の将来像

将来の蒲郡のイメージについては、「きれいな海・山・川について学び・守る「自然豊かなまち」」が32.8%と最も高く、次いで、「コンサート・展覧会・スポーツ大会等「魅力的な催し物が開催されるまち」」が31.7%、「農産物や水産物を工夫して育てたり加工して「おいしい食べ物がいっぱいあるまち」」が27.5%となっており、蒲郡市の自然・文化に関連した学習や魅力的なイベント等に関する項目が上位を占めています。

【将来の蒲郡のイメージ】

「自然豊かなまち」、「魅力的な催し物が開催されるまち」、「おいしい食べ物がいっぱいあるまち」を望む人が多くなっています。



資料：令和2年度生涯学習に関する市民アンケート調査（回答は複数回答）



2 「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」の進捗状況

基本目標1 学びの場づくり

■ 基本施策1 学習の情報提供

情報提供については、広報がまごおり、ホームページ、ポスター、チラシ等による講座やイベント開催などの周知を引き続き行ってきました。

そのほか、市民に分かりやすく情報を伝えられるよう、「蒲郡市生涯学習ガイドブック」や「団体・サークル紹介誌」を作成・配布しました。より多くの人々が市内の講座やイベントを知ることができるよう、ガイドブックの情報はホームページにも掲載しています。スポーツに関する情報発信としては、令和元年度に市内の公園やスポーツができる施設、スポーツ少年団等の情報を掲載した「がまごおり・運動スポーツマップ」を作成し、地域の公民館に設置するとともに子育て世代に配布しています。

学習ニーズの把握としては、講座開催時におけるアンケートや市民アンケートの実施、市民ワークショップの実施等に取り組みました。

■ 基本施策2 学習機会の拡充

各ライフステージに応じた様々な学習機会の提供を行っていますが、内容によっては参加者の確保が難しい場合もあり、ニーズの把握と参加しやすい環境づくりが求められました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和元年度、令和2年度については参加人数に制限を設けたり、オンラインでの開催に切り替えるなどの工夫により各種講座・教室を開催しました。オンライン開催については、「遠方に住んでいる人も視聴できる」、「リアルタイムで気軽に質問できる」といった肯定的な意見もあがっています。

■ 基本施策3 生涯スポーツ活動の推進

誰もが気軽にスポーツに親しめるように、三河湾健康マラソン大会をはじめとした各種大会や各種スポーツ教室の開催を通じ、様々な運動機会の提供を行いました。また、親子ふれあいひろばや幼児教室では体を動かす内容を実施したり、公民館におけるクラブ・サークル活動では仲間と一緒にスポーツを楽しむ場の提供をするなど、生涯スポーツの推進を行ってきました。

施設整備面では、令和2年7月から令和3年8月まで市民体育センター競技場の耐震・長寿命化改修工事を行いました。その他の体育施設についても改修工事や修繕を計画的に行っています。また、令和3年度から学校体育施設開放事業の利用申請をインターネット予約に移行し、市民の利便性の向上を図りました。

■ 基本施策4 文化芸術活動の充実

宝くじ文化公演や NHK 関連の事業を活用するなど、多種多様な文化関連の事業を実施し、優れた芸術作品や芸術活動を鑑賞する機会の提供を行いました。文化芸術をより身近に感じてもらうための取組として、蒲郡市文化協会の活動を支援することにより学習機会を創出しています。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動が大きく制限されています。

そのほか、蒲郡市文化協会との共催による市民文化祭や春の文協まつりなど、市民団体等の活動成果の発表の場の提供や、まちへの愛着や誇りの形成につながるよう、博物館によるまちの歴史等を学ぶための出前講座の実施などに取り組みました。

基本目標2 学びを生かす体制づくり

■ 基本施策1 活動団体への支援

地区ごとの公民館での代表者会議において各クラブ間で情報交換を行ったり、公民館まつりにおいて相互の活動を鑑賞し合うなど、公民館内の利用者同士の情報共有を図っています。

また、蒲郡市文化協会などの文化芸術団体が実施する事業が円滑に遂行できるよう助言、指導を行っています。

そのほか、「蒲郡市生涯学習ガイドブック」や「団体・サークル紹介誌」を毎年更新し、市内の活動団体を広く紹介しています。また、活動団体向けに GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダーの派遣も行っています。

■ 基本施策2 公民館活動の充実

様々な年代の人に対し、教養講座や家庭教育学級、地域課題対応学習等、多様な学習の機会の提供を行っていますが、趣味の講座が多く、地域課題対応の学習が少ない状況にあります。現在は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年より講座開催数や参加者数が全体的に減少しています。

また、市民の公民館に対する多様なニーズに対応できる体制の構築や、より身近に気軽に利用できる公民館をめざして、令和3年3月に「蒲郡市公民館のあり方について（公民館グランドデザイン）」を策定しました。

■ 基本施策3 学習成果の発表機会

市民文化祭や公民館まつり、春の文協まつりなどに加えて生涯学習成果発表会をスタートさせ、日頃活動している生涯学習の成果を発表する機会や、参加団体の紹介をする機会の充実に取り組んでおり、回を重ねるごとに参加団体が増えつつあります。

基本目標3 学びの環境づくり

■ 基本施策1 生涯学習指導者やボランティアの育成・活用

指導者やボランティアの育成に向けては、市民の自主的な生涯学習を推進する GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダーの登録制度を継続し、パンフレットを作成して各課公所へ配布し活動の周知を図るとともに、講師の派遣を行っています。また平成 30 年度にクルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が蒲郡港へ寄港した際は、ステージイベントの出演や文化体験講座を提供し、乗客におもてなしをしました。平成 29 年度・30 年度には、市民が気軽に講座を体験できるよう講座を一堂に集めた「GCSL 体験講座」を実施しました。令和元年度からは GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダーの活躍の場を広げることができるよう、会員が活動を企画する「蒲郡市民企画講座」を実施しています。

■ 基本施策2 社会教育施設の整備充実

社会教育施設の老朽化が進んでいるため、令和 2 年度から個別施設計画を作成し、順次施設や設備の保全・更新をするなどの整備を進めています。また、令和 3 年 8 月に塩津地区・西浦地区の「地区個別計画に基づく基本計画書」が策定され、学校や公民館などの施設を複合化することが計画されています。ここでは、学校の特別教室を地域住民と共用することによる社会教育施設の充実が見込まれています。

市民会館においては指定管理者と協力し、通常の修繕や改修に加え、利用者の利便性向上や生涯学習活動に有効な設備の設置・改修工事を行っています。今後、市民会館の将来ビジョンに基づいて整備計画を立てていく必要があります。

そのほか、学校施設を一般利用向けに活用する学校体育施設開放及び学校開放事業を行っています。学校体育施設開放事業では令和 2 年度から新たに西浦中学校を追加したことにより、全小中学校において学校体育施設開放が行われるようになりました。また、学校施設を利用して講座を開催する学校開放事業では、形原小学校、中部中学校、塩津中学校、三谷中学校の 4 校で講座を実施しました。

■ 基本施策3 関係機関との連携による学習の促進

地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動ができるよう、令和元年度より、幅広い地域住民等の参画を得て地域全体で子どもたちの学びや成長を支える「地域学校協働活動事業」を開始しています。活躍する地域人材は少しずつ増えており、公民館との協力体制の構築を進めながら、「放課後子ども教室」を含めた活動を推進しています。また、愛知大学や愛知工科大学、市内の企業との連携により、専門的な学習機会の提供を行っています。

市民の生涯学習活動の中心拠点としての生涯学習センター機能の整備については、「蒲郡市公民館のあり方について（公民館グランドデザイン）」により、主に社会教育機能を担う中央公民館の機能を併せ持つ方向性が示されました。

3 生涯学習の推進にあたっての課題

統計データやアンケート調査結果、ワークショップ、団体・企業ヒアリングから把握した現状や課題は以下のとおりです。

(1) 統計データから見た現状・課題

- 人口減少、少子高齢化が進行しており、世帯の小規模化が進んでいる。一方で、外国人住民人口はおおむね増加傾向にある。
- 子ども会加入率や友愛クラブ（老人クラブ）会員数は減少傾向にある。

(2) アンケート調査結果からみた現状・課題

【生涯学習の必要性に対する意識】

- 生涯学習を必要だと感じている人は約 86%と高くなっている。
- 働き盛り世代（30 歳代、40 歳代）では、生涯学習が必要だという意識が他の世代に比べて低い傾向にある。
- 生涯学習が必要だと考える理由は、30 歳代以下の若い世代では余暇の活用や充実のため、40 歳代では仲間づくりや出会い・交流のため、50 歳代以上では生きがいを持つためと回答する人が多い。

【生涯学習活動の状況】

- 生涯学習の必要性を感じながらも希望通りに活動を実践できていない人は約 36%となっており、特に 40 歳代、50 歳代で多い傾向にある。
- 希望通りに活動が実践できなかった主な理由は、「時間が合わない」や「実施しているのかいないのかわからない（情報不足）」で、特に 30 歳代～60 歳代といった、仕事や家庭で忙しい人が多い世代にとっては時間が合わないことが一番の課題となっている。18・19 歳代、20 歳代の若い世代では生涯学習に関する情報不足が一番の課題となっている。
- この 2～3 年間の生涯学習活動については、約 43%の人が実施していると回答しているが、30 歳代では約 33%となっており、他の年代に比べて割合が低くなっている。
- この 2～3 年間に生涯学習活動をしていない理由としては、「時間がない」と回答する人が多いものの、何をすればいいのかわからないという人も比較的多く、気軽に始められるきっかけが必要になっている。また、60 歳代では活動に関する情報が不足しているという人が他の年代に比べて多くなっている。
- 市の講座・教室に求めることとしては、「都合のよい時に学べる環境」、「たくさんの種類があり、希望の学習が選択できる」といった回答が多い。

【文化芸術】

- この 2～3 年間に何らかの文化芸術を鑑賞・体験した人は 72%となっている。
- この 2～3 年間に文化芸術を鑑賞・体験した理由としては、「自分が興味のある内容だったから」、「家族・友人などから誘われたから」をあげる人が多くなっており、自分の興味以外では、家族や友人の誘いがきっかけとなったケースが多い。

(3) ワークショップでの意見

【生涯学習に対する意識】

- 生涯学習と言われてもピンとこない。今まで生涯学習について知る機会がなかった。
- 「生涯学習」は身近な言葉ではないので、「生涯学習とは何か」から始める必要がある。

【生涯学習活動への参加】

- 参加したいと思える活動がない。参加型の講座の対象者（募集人数）が少ない。
- 何かをしたいと思ってもどこへ問い合わせをしたらいいのかわからない。
- たくさんの人が参加することが大切で、参加者が偏らないようにしてほしい。
- 現役世代も無理なく参加できる環境があるとよい。
- 子どもと親と一緒に楽しめて学べる企画があるとよい。

【生涯学習施設の利用】

- 公民館はいつも使っている人がいるので気軽に使えない。
- 他市町村に比べて、公民館など利用制限が厳しい。学習成果を発表する場が少ない。
- 科学館の講座は市外、県外からの参加者が多い。蒲郡市民の参加を促すことが大事だと思う。

【必要な生涯学習活動】

- 地域との連携と生涯学習を結びつけた活動がほしい。まちづくりにつながる生涯学習活動が必要。
- まちを活気づけられるような取組を市が提案し、年齢・性別を超えて一緒に活動ができるとよい。
- 地域とのつながりを大切にしたい企画があればよい。他所から来た人にとって蒲郡市は馴染みにくいところがあるので、生涯学習の場が、転入してきた人にとってコミュニティ構築の場となるようにしたい。
- 学習成果を披露する場、ほかの地区で活動している内容を体験できる場として、生涯学習まつりのようなものを作ってはどうか。
- 公民館で活動している人は発表の機会があるが、公民館に属していない人は発表の場が少ない。
- オンラインでも講座の受講などできるが、仲間づくりは実際に会った方がよい。

【情報提供】

- 自治会に入っていないと広報が配布されないなど、転入者は情報を入手しづらい。
- インターネットや SNS*とアナログを併用して、もっと情報発信してほしい。

市民ワークショップでは活発な意見交換がされました

用語解説

※SNS

Social networking service の略。スマホやパソコンを使って人間関係を構築することのできるオンライン上のコミュニティサービスの総称をいう。



(4) 団体・企業ヒアリングでの意見

- 色々な視点を持つと、どの団体・企業とも協力して活動を行えると思う。つながりや交流・情報交換の場をつくることが大事。
- 公民館で各活動団体の紹介はしているが、それが行き渡っていないように思う。活動をつなげるには情報を行き渡らせることが大切。
- 市民が市で行っている生涯学習活動を知る機会があると参加が進むと思う。
- 蒲郡と言えば「魚」だが、住む地域によっては意識の差がある。蒲郡の産業について知る場があればよい。
- 市民を対象とした活動をしていても参加する人が減少している傾向にある。
- 他所から嫁いできた人は周りに助けてくれる人が少なく、活動が地域とのつながりとなっている人が多い。
- 企業が提供する学習活動の取組に外部の金銭的補助があると活動しやすい。営利目的の企業では活動に限界がある。
- 蒲郡市はコロナ禍における活動制限の基準が厳しいように思う。
- 蒲郡市の活性化につながる学習活動ができればよい。

(5) 「蒲郡市生涯学習推進計画 2017」の進捗状況から見た現状・課題

- デジタルツールを活用した情報発信に対するニーズが高まっていることを踏まえ、今後は多様なツールを積極的に活用し、効果的な発信を行っていく必要がある。
- 学習活動に参加していない世代のニーズの把握が難しいといった課題があるため、若い世代のアンケート回収率を上げるなど、幅広い年代のニーズを把握できる方法を検討していく必要がある。
- 誰もが参加しやすい環境に向けて、学習内容や開催方法等の検討を進める必要がある。
- より気軽に学習活動に参加できるよう、生涯学習施設の利用手続きの簡素化が求められる。
- 「なんでも出前講座」を受講した人のさらなる学びにつながる仕組みが必要となっている。
- 市の特色ある産業をはじめとした郷土への興味・理解を深めるため、大学や企業との連携により専門的な学習機会を提供していくことが必要である。
- 地域課題対応学習の充実を図り、生涯学習を生かしたまちづくりを進める必要がある。
- 文化芸術活動のさらなる充実と、文化芸術を担う人材の育成に取り組んでいく必要がある。
- 団体に所属していなくても学習の成果を発表でき、市で活動している人たちとつながることができる場の創出が求められている。また、団体間の交流の場の拡充にも取り組む必要がある。

4 生涯学習の推進に必要な視点

社会潮流や蒲郡市の現状・課題を踏まえると、生涯学習の推進に必要な主な視点は以下のとおりです。

(1) 「人生 100 年時代」・「Society5.0」に向けた学習活動

我が国の人口減少・高齢化はますます進行しており、本市の高齢化率も令和 3 年では 29.6%と、3 割に迫っています。「人生 100 年時代」の到来が予想される中、長い人生をより豊かに充実したものにするためには、生涯にわたる多様な学習の機会や優れた文化芸術に親しむ機会が重要となります。さらには急速な技術革新によって、「Society5.0」という新たな時代が到来すると言われています。そのような中、めまぐるしく変化し続ける社会に対応しながら、デジタル・ディバイド[※]の解消に努めるとともに、それぞれの多様な価値観や個性を伸ばす「ひとづくり」の推進がますます必要になっています。

(2) 誰もが参加しやすい学習機会

市民が学習したり、文化芸術に親しむためには、身近な場で気軽に参加できる環境づくりが不可欠です。ワークショップでは「生涯学習という言葉自体になじみがない」といった意見も出ており、生涯学習の意義を周知していくほか、参加するきっかけづくり、魅力ある多様な学習機会、ライフスタイルにあった学習環境の提供が求められています。また、多様な学習機会から気軽に選択ができるという生涯学習に関する情報提供の方法にも工夫が必要です。

しかしながら令和元年度末に発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、生涯学習施設の利用や学習活動への参加が難しい状況にあります。感染対策を意識した「新しい生活様式」が求められる中、今後どのように生涯学習活動を推進していくのかも重要な視点となります。

(3) 利用しやすい生涯学習施設

市内には市民会館や公民館、勤労福祉会館、生きがいセンターなど生涯学習に関連する施設が数多くあります。ワークショップでは、特に「市民会館や公民館が利用しにくい、施設が古い」といった意見があがっており、生涯学習施設については、市民が利用しやすい環境を整備していく必要があります。公民館においては、令和 3 年 3 月に策定した「蒲郡市公民館のあり方（公民館グランドデザイン）」に基づき、主として「社会教育機能」を果たす公民館（中央公民館）と、主として「地域交流拠点機能」を果たす公民館（地区公民館）のそれぞれが、役割に応じた機能を発揮していく必要があります。

用語解説

※デジタル・ディバイド

コンピュータやインターネットといった情報技術を使える人と、そうでない人との間で生じる格差のこと。

(4) 多世代・多文化交流によるつながりづくりと地域活性化の推進

生涯学習活動を通じて地域住民が交流することは、新たな地域のとがなりときずなを生み出すなど、地域の活性化において重要な役割を担っています。多様な世代が参加できる機会や、異なる活動を行う団体同士が交流する機会を提供することで、世代や分野を超えた縦横のつながりも生み出し、お互いの視点を生かして地域に対する認識を共有することも期待できます。地域の活性化に向けては、本市の特色ある産業と生涯学習をつなげる取組を推進していくことも重要です。

また、少子化に伴う労働者の減少やグローバル化の進展等により、外国人住民人口のさらなる増加が予想される中においては、多文化共生の視点から生涯学習を推進する必要があります。

さらに、少子高齢化や人口減少、地域コミュニティの衰退、貧困と格差など社会を取り巻く環境の変化に伴い、地域の課題が多様化・複雑化する中において、生涯学習が市民の地域参加のきっかけとなり、地域課題解決の一翼を担うことが期待されています。

蒲郡市生涯学習推進計画とSDGs

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略であり、平成27年9月の国連サミットにおいて採択された、持続可能な世界を実現するための国際社会全体の普遍的な目標で、17のゴール（目標）と169のターゲットから構成されています。

SDGsの推進にあたっては、誰一人取り残さない世の中の実現や、経済・社会・環境の統合が実現された未来をめざすことが重要であるとされており、国においても、その達成に向けた取組が進められています。

本市においても地方創生に向けた取組の推進とあわせてSDGsの推進に取り組んでおり、「第五次蒲郡市総合計画」の各施策分野に17のゴールを関連づけることにより、全庁的な推進を図っています。本計画の推進をすることにより、「目標4 質の高い教育をみんなに」、「目標11 住み続けられるまちづくりを」の達成をめざします。



1 基本理念

豊かな学びと文化でつなぐ 地域のきずな

～ 一人ひとりの学びから 未来のひとづくり いえづくり まちづくり ～

「第五次蒲郡市総合計画」における将来都市像のキーワードとして「一人ひとり輝く」、「つながりあう」が掲げられています。「一人ひとり輝く」ためには自発的・主体的な学びは不可欠であり、文化芸術に親しむことは一人ひとりに夢と活力を与えてくれます。また、本市の特徴である地域に根ざした公民館を活用し一人ひとりが学んだ知識や経験が地域で生かされることで、学びを軸とした交流が生まれ、仲間ができ、つながりが生まれ、地域住民が一体となったまちづくりが展開されます。

本市には、ほかに誇れる豊かな自然や観光、優れた地元産業、音楽をはじめとした文化芸術があり、このような特性を学習活動につなげることで、新しいかたちでのひとづくり・まちづくりへの可能性を広げることができると考えます。一人ひとりが私たちのまちについて主体的に学び、その学びによりまちへの愛着が生まれ、活力のあるまちづくりへとつながります。

こうした考え方にに基づき、蒲郡市民憲章を踏まえた上で、本計画の基本理念を「豊かな学びと文化でつなぐ 地域のきずな ～ 一人ひとりの学びから 未来のひとづくり いえづくり まちづくり ～」とし、蒲郡らしい生涯学習のまちづくりを推進していきます。

蒲郡市民憲章

(昭和47年11月3日制定)

蒲郡市は、美しい自然にめぐまれ、先人の努力によって育ってきました。

私たち市民は、この誇りをもって、さらに、教養と文化を高め、産業を振興し、明るい豊かな郷土をつくるために、三つの誓いを定めます。

三つの誓い

- 1 「はい」「ありがとう」「すみません」、愛のことばでひとづくり
- 2 心と体をすこやかに、笑顔で働きいえづくり
- 3 海と空を美しく、みんなの力でまちづくり

2 基本方針

基本理念の実現に向けて、次の4つを基本方針とします。

基本方針 1 学びの場づくり

～ 多様な学習活動の充実 ～

ライフスタイルや価値観の多様化、「人生100年時代」、「Society5.0」の到来に向け、市民一人ひとりのニーズやこれからの社会に必要な視点に対応した学習の機会の提供に取り組みます。

基本方針 2 学びの環境づくり

～ 学びに出会い、誰もが参加しやすい環境の整備 ～

学びの情報を効果的に発信し、また性別や年齢、障がいの有無等にかかわらず、誰もが学習活動等に参加できるよう、すべての人がいつでも・どこでも学ぶことのできる環境づくりに取り組みます。

基本方針 3 学びを支える基盤づくり

～ 生涯学習を推進する団体の育成、体制の整備 ～

公民館機能の強化や生涯学習施設の整備充実、社会情勢や「新しい生活様式」など時々に応じた柔軟な施設対応に取り組みます。

また、地域の活動団体や企業等の生涯学習活動を支援するとともに、学習成果を発表できる場の創出や互いの活動がにつながる仕組みづくりに取り組みます。

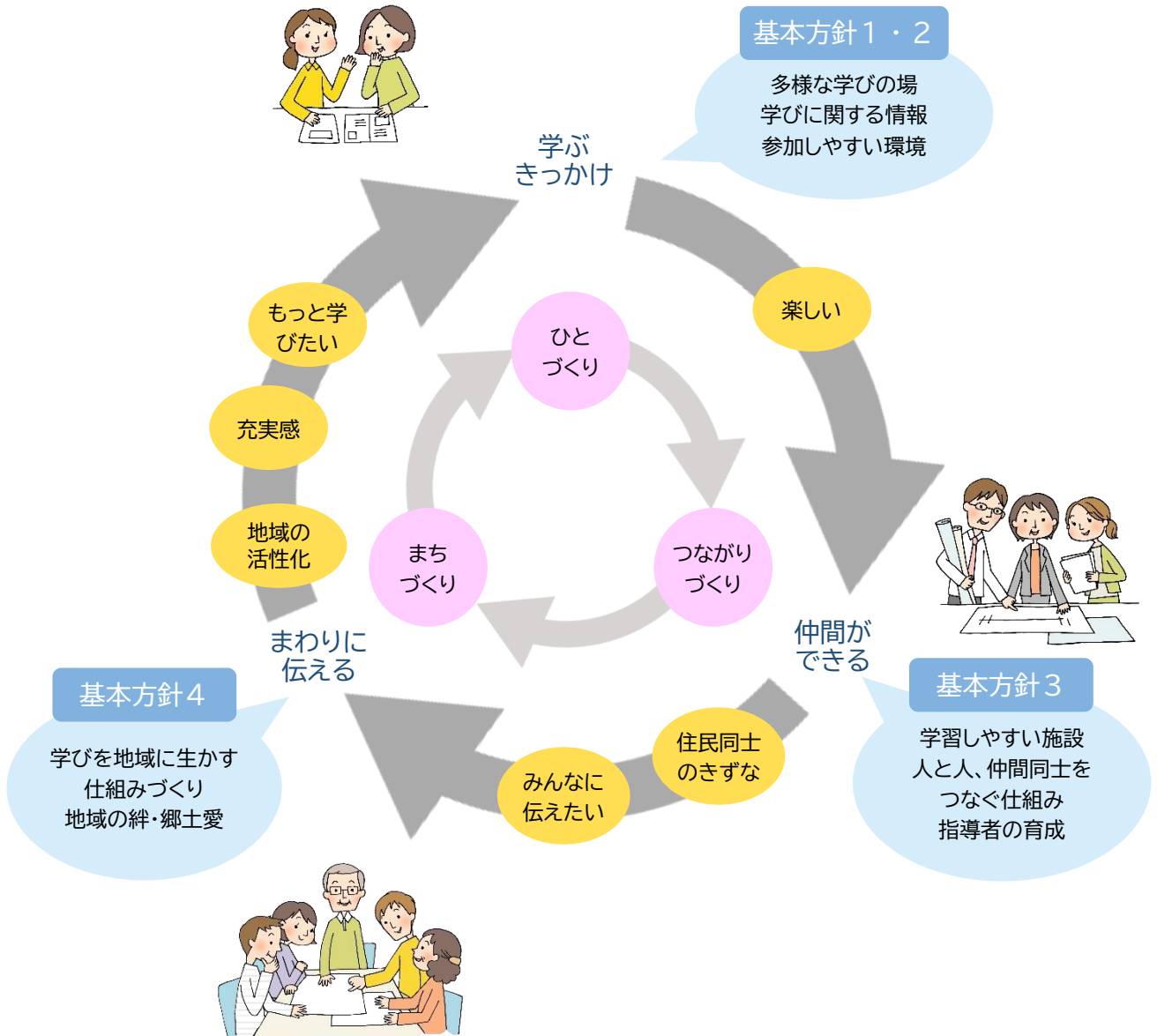
基本方針 4 学びを通じたまちづくり

～ 学びを地域に生かす仕組みの構築 ～

一人ひとりの学びの成果が地域課題の解決やまちの活性化に役立つものとなるよう、その仕組みづくりに取り組みます。また、生涯学習が地域コミュニティの基盤となるまちづくりを進めます。



【学びの循環のイメージ】



ひとづくり

： 「自発的・主体的」な学びによる充実感、自己実現

➡ 「一人ひとり輝く」

つながりづくり

： 学びを通じた地域交流、新しい仲間との活動による学習意欲の向上

➡ 「つながりあう」

まちづくり

： 地域のつながりへの意識の醸成、地域活動の活性化、住民の主体的な参加による地域課題の解決、地域への愛着

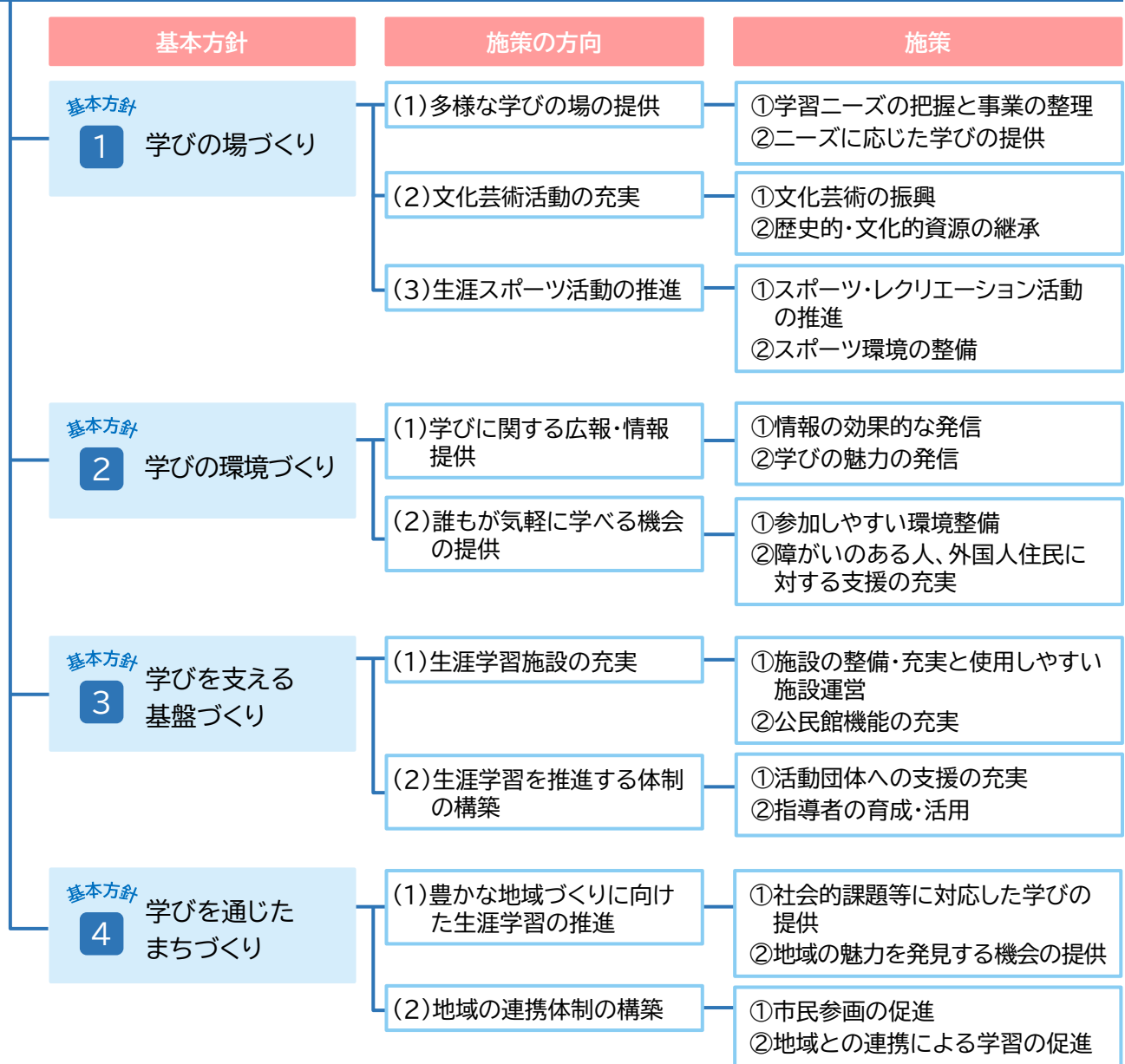
➡ 活力のあるまち・自主自立のまちづくり

3 施策体系

基本理念

豊かな学びと文化でつなぐ 地域のきずな

～ 一人ひとりの学びから 未来のひとづくり いえづくり まちづくり ～



基本方針 1 学びの場づくり

～ 多様な学習活動の充実 ～

推進目標

生涯学習関連情報を集約する仕組みの構築

行動指標

指標	基準値	目標値
生涯学習課、市民会館、文化協会、公民館、生命の海科学館が主催する講座・ワークショップの実施回数	805回 (令和元年度)	900回
生涯学習課、市民会館、文化協会が主催する文化・芸術公演、文化・芸術に関するイベント開催数	10回 (令和元年度)	12回

(注) 令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの講座・イベント等が中止となったため、令和元年度の実績を基準値としている(目標値は令和8年度の数値)

(1) 多様な学びの場の提供

- 市民の学習ニーズの把握と生涯学習事業の整理を行います。
- 多様な学習の機会の提供を行います。

施策① 学習ニーズの把握と事業の整理

本市では様々な学習の機会を提供していますが、市民アンケートでは市の講座・教室の実施に対し「たくさん種類があり、希望の学習が選択できること」を望む人も多く、市民ワークショップでは「参加したいと思える活動がない」といった意見もあがっています。市民の生涯学習への参加が進むよう、ライフスタイルや価値観の変化、社会経済状況の変化等により多様化する市民のニーズをしっかりと把握していきます。また、行政が実施している生涯学習関連事業の整理をすることにより、効率的・効果的な事業の推進、市民に分かりやすい事業展開をめざします。

具体的施策	内容
市民の学習ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもから高齢者までのライフステージごとのニーズに応じた学習、時代のニーズに即した学習が提供できるよう、講座開催時のアンケートや市民アンケート等の様々な機会を捉えて学習ニーズの把握に努めます。

具体的施策	内容
生涯学習関連事業の整理	<ul style="list-style-type: none"> ●本市の各部局が実施する生涯学習関連事業の一元管理をめざし、事業の洗い出し、整理を行います。 ●市の生涯学習関連事業の情報を必要に応じて整理・統合し、一体的な推進を図ります。

施策② ニーズに応じた学びの提供

市民一人ひとりがいきいきと充実した心豊かな生活を送るためには、乳幼児期から高齢期まで生涯にわたり、主体的に学ぶことが大切です。ライフステージごとのニーズ・課題に応じた学習や趣味・教養を深めるための学習、時代の変化に対応した学習等、多様な学習の機会の提供を行います。

具体的施策	内容	
ライフステージに応じた学習機会の提供	乳幼児期（子育て期）	<ul style="list-style-type: none"> ●親子で楽しんだり、子育て期の親子が交流できるイベント、子育て講座等の場を提供します。 ●学習内容の充実に努め、子どもの健全育成と保護者の子育て力・家庭の教育力の向上を図ります。
	学童期・青少年期	<ul style="list-style-type: none"> ●学校や地域との連携により、豊かな人間性や協調性を培うための体験活動や世代間の交流活動の機会を提供するとともに、児童・生徒が興味を持てる内容となるよう工夫を行います。 ●学生が地域で力を発揮することができるよう、学生による地域課題解決型学習の機会を提供します。
	成人期	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てや介護、家庭生活に関する講座をはじめ、自身のキャリアアップやライフワークの充実につながる学習の提供を行います。
	高齢期	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢期において、健康で活力ある毎日を過ごすことができるよう、身近な場における健康、趣味、生きがいづくりに関する講座・教室の拡充を図ります。
趣味・教養のための学びの提供	<ul style="list-style-type: none"> ●自分らしくいきいきと豊かな人生を過ごすことができるよう、趣味や教養を深めるための学習機会の提供を行います。 	
新しい知識・技術に関する学びの提供	<ul style="list-style-type: none"> ●ICT[※]等の新しい知識や技術を学ぶ機会の創出・提供に努めます。 ●ICTの活用が難しい人に対する支援を推進し、デジタル・デバイドの解消に努めます。 	

用語解説

※ICT

Information & Communication Technology の略で、情報通信技術と訳される。コンピュータやデータ通信に関する技術を総称的に表す言葉としては、これまで「IT」が用いられてきたが、国際的には ICT という呼称が定着している。IT は技術そのものを指すのに対し、ICT ではその技術の使い方や活用方法なども含むことが一般的となっている。

(2) 文化芸術活動の充実

- 文化芸術活動の活性化をめざします。
- 文化芸術活動や郷土の歴史伝統を生かし、まちづくりへとつなげます。
- 郷土の歴史と伝統の継承により、郷土への愛着や誇りを醸成します。

施策① 文化芸術の振興

本市においては蒲郡市文化協会による春の文協まつりや市民文化祭、GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダーによる市民企画講座をはじめ、各団体が文化講座や演奏会などの多彩な活動を行っています。

さらなる文化芸術の振興に向けて、市民が優れた文化や芸術に触れる機会や異文化交流の充実を図り、市民の主体的な文化芸術活動の活性化を推進するとともに、発表の機会の拡大や文化団体への活動支援の強化を行っていきます。

具体的施策	内容
多彩な文化芸術にふれる機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な環境で文化芸術にふれ、親しむことができるよう、市民会館をはじめ博物館や図書館等において、優れた音楽や芸術作品、文化芸術活動を鑑賞する機会の充実を図ります。 ● 市民の文化芸術への興味・関心が高まるよう、学校等と連携し、子どもの頃から文化芸術にふれる機会の提供に努めます。
文化芸術活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化芸術活動を担う個人や蒲郡市文化協会をはじめとする団体が活動しやすい環境の整備を図るとともに、様々な施設を活用して、活動の成果を発表する機会の充実を図ります。 ● 障がいのある人が気軽に文化芸術にふれることができるよう、障がいのある人の活動を支える人材の育成を図るとともに、文化芸術鑑賞のためのバリアフリー化、自由に表現活動が行える環境の整備に取り組みます。
様々な文化交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な文化を持った人、多様な世代や活動団体同士が交流する機会の充実を図り、文化芸術活動への参加の裾野を広げ、活動の活性化を図ります。
文化芸術活動と連携したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の文化芸術や歴史を学んだ人が、観光分野などで活躍する仕組みをつくることで、市民の成果発表の場を提供するとともに、本市ならではの魅力や新たな価値の創出につなげます。



施策② 歴史的・文化的資源の継承

本市には今日まで受け継がれてきた数多くの歴史文化遺産が存在し、これらは郷土の歴史と伝統を伝え、これからの文化を創造する上で欠くことのできない財産であり、地域の宝物ともいえるものです。

こうした市の豊かな歴史・文化を次世代に引き継いでいくために、市の文化財の保護・保全と担い手の育成に取り組むとともに、本市の歴史や伝統にふれる機会やまちの良さを再発見する機会の充実を図り、歴史文化を生かしたまちづくりをめざします。

具体的施策	内容
まちの歴史を知る機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の地域への愛着心やまちへの誇りの醸成につながるよう、学校教育において歴史的・文化的資源の価値を学ぶ機会を提供します。 ● 公民館だより等を通じて、地元の伝統行事の紹介、周知をするほか、公民館の講座や出前講座等によって郷土の歴史や伝統を学ぶ機会を提供します。
文化財の保護・保全と担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化財の計画的な保護・保全を図るとともに、市及び各地域にまつわる伝統文化や郷土芸能を支援・保護し、後継者の育成に努めます。



蒲郡市無形民俗文化財 三谷祭



塩津中 竹谷城跡発掘調査見学



国天然記念物 清田の大クス保全活動

(3) 生涯スポーツ活動の推進

- 市民のニーズや年齢、体力に応じた生涯スポーツの推進をめざします。
- 市民が地域で身近にスポーツ活動に取り組めるよう、環境の整備を進めます。

施策① スポーツ・レクリエーション活動の推進

スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものにしてくれるだけでなく、健康づくりやストレス解消にも大きな役割を果たしています。急激な高齢化や便利な生活によって体を動かす機会が減少する中において、「スポーツインライフ」が大きな意義を持っていることを踏まえながら、誰もが気軽にスポーツに参加することができるよう、市民のニーズに応じた様々な教室や各種イベント等を通じて、生涯スポーツの推進をめざします。

また、地域のつながりづくり、まちの活性化という視点からもスポーツは重要な要素となるため、市民のスポーツ機会の創出やスポーツ環境の整備を通じて、スポーツの持つ魅力を発信し、スポーツやレクリエーション活動を通じた交流により、元気な声援が響きあうまちを実現します。

具体的施策	内容
スポーツ・レクリエーション活動の推進	● 様々なスポーツをそれぞれのレベルに合わせて参加できる環境を整備し、スポーツ・レクリエーション活動を推進します。
ニュースポーツの普及促進	● 子どもから高齢者まで、それぞれの体力や障がいの有無にかかわらず誰もが気軽にスポーツに親しみ、楽しむことができるよう、多世代が楽しめるニュースポーツの普及を促進します。
スポーツを通じた地域交流の促進	● スポーツを通じた交流の場の提供など、市民がコミュニティ活動の一環としてスポーツを楽しむことのできる機会を提供します。

施策② スポーツ環境の整備

市民が気軽にスポーツを楽しみ、いつでも、どこでも、誰でもスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、スポーツ施設の機能・設備の充実を図るとともに、スポーツ施設やスポーツ環境の情報提供を行います。

また、施設の大規模改修時にはバリアフリー化を進めるとともに、施設利用に関する手続きの簡素化を図るなど、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組みます。

具体的施策	内容
スポーツ施設の充実等	● 計画的にスポーツ施設の整備を進めます。 ● 各地域においてニュースポーツに気軽に取り組めるよう、備品・用具を充実させることで、生涯にわたり快適にスポーツを楽しめる環境を整えます。 ● すべての市民が安心してスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるよう、スポーツ施設の大規模改修時にはバリアフリー化を推進します。
地域資源の有効活用	● 市民が地域で身近にスポーツ活動に取り組むことができるよう、学校体育施設の利用促進を図ります。

具体的施策	内容
がまごおり・運動スポーツマップの配布	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民が身近な場で気軽に運動やスポーツができるよう、運動スポーツマップを配布し、市内の公園やウォーキングロード等、個別で運動できる場所等を紹介します。



基本方針 2 学びの環境づくり

～ 学びに出会い、誰もが参加しやすい環境の整備 ～

推進目標

生涯学習活動に対する満足度の向上

行動指標

指標	基準値	目標値
生涯学習課による SNS などを利用した情報発信回数	22 回 (令和元年度)	400 回
市が実施する土・日曜日や夜間に開催した講座数	272 講座 (令和元年度)	300 講座

(注) 令和 2 年度、3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの講座・イベント等が中止となったため、令和元年度の実績を基準値としている（目標値は令和 8 年度の数値）

(1) 学びに関する広報・情報提供

- 市が実施する講座・イベント等の情報を発信します。
- 活動内容や参加することのメリット等の周知に取り組みます。

施策① 情報の効果的な発信

市民の生涯学習活動への参加を促すためには、ニーズにあった魅力的な学習プログラムを提供するだけでなく、その情報を広く行き渡らせることが重要になります。

インターネットの普及や ICT の発展等を背景に情報発信のデジタル化が進み、多くの世代で SNS などの利用が浸透している中、従来の情報発信のみならず、多様で効果的な情報発信ができるよう取組を進めます。

具体的施策	内容
多様なツール・手段による情報発信	● 広報がまごおりや市ホームページ等の既存のツールのほか、SNS 等の情報伝達ツールを積極的に活用し、市内で行っている生涯学習に関する情報を発信します。
公民館ホームページの充実	● 生涯学習課のホームページで公民館の概要や利用方法について紹介するとともに SNS などにより、活動内容等を紹介します。
公民館だよりの活用	● 公民館だよりに、各公民館が実施している講座情報が掲載されています。現在は対象の地区のみに回覧・配布していますが、今後は市内全域の人に見てもらえるように工夫をします。

施策② 学びの魅力の発信

学ぶことの楽しさを知ることが生涯学習活動への参加の第一歩となります。生涯学習活動が市民一人ひとりにとって身近に感じることができるよう、また学びへの興味・関心から実践へとつながるよう、様々な機会・手法を活用して生涯学習の魅力を発信していきます。

具体的施策	内容
情報紙・SNS 等による情報発信	●生涯学習活動に参加していない市民にも活動に興味を持ってもらえるよう、生涯学習の魅力や学習して得られること、参加した人の声などを、公民館だよりや文化協会機関紙、SNS 等を活用して市民に紹介します。
GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダーによる情報発信	●スポーツ、レクリエーション、文化活動の分野で、市民の活動を支援するボランティアである「GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー」の活動を通じ、生涯学習活動の魅力発信を行います。



生涯学習ガイドブック

蒲郡市生命の海科学館 Twitter

(2) 誰もが気軽に学べる機会の提供

- 忙しい人でも参加できる学習の機会の提供に取り組みます。
- 障がいのある人や外国人住民が生涯学習活動に参加するための支援を行います。

施策① 参加しやすい環境整備

市民アンケートの結果では、時間がないという理由で生涯学習活動に参加できない人が多く、忙しい世代を中心に「都合の良い時間に学びたい」というニーズが高くなっています。

すべての市民が積極的に生涯学習活動に参加することができるよう、多様な学習スタイルの提供を行うとともに、活動する上での悩みなどに対する相談体制の充実を図ります。

具体的施策	内容
多様な学習スタイルの提供	<ul style="list-style-type: none">● 仕事や家庭に忙しい人が学習活動に参加しやすいよう、夜間や休日の講座の開催の拡充を進めます。● 子育て中の人々が気軽に学習活動に参加できるよう、託児付き講座の開催の拡充を進めます。● 新型コロナウイルス等の感染症防止対策への配慮、若い世代や多忙な世代の参加促進の観点から、オンライン講座やインターネット配信による学習など、新しい学習スタイルの提供を進めます。
相談窓口の充実	<ul style="list-style-type: none">● 生涯学習課等において、活動団体からの相談に応じるとともに、生涯学習を始めたい人に対する情報提供などを行います。

施策② 障がいのある人、外国人住民に対する支援の充実

生涯学習社会の実現には、誰もがいつでも気軽に学べる環境づくりが不可欠ですが、障がいのある人や外国人住民に対するサポート体制が十分でないことなどが課題となっています。

障がいのある人や外国人住民のニーズに応じた学習機会の提供、学習情報へのアクセスへの支援、参加への多様な支援を充実させるなど、性別や年齢、障がいの有無、国籍等にかかわらず、すべての市民がそれぞれのライフスタイルに合わせながら、学びたいときに学べる環境づくりに取り組みます。

具体的施策	内容
障がいのある人の生涯学習活動への支援	<ul style="list-style-type: none">● 障がいのある人が積極的に生涯学習に参加できるよう、学習方法や活動内容、情報提供方法を工夫します。● 関係課と連携して手話通訳者の派遣等を行うとともに、生涯学習に関する情報提供や参加手続きの際においても、障がいに合わせた合理的配慮が行えるよう、職員同士の連携を図ります。
外国人住民の生涯学習活動への支援	<ul style="list-style-type: none">● 多文化共生に向け、外国人住民に対する日本人住民の理解を促進するとともに、外国人住民が生涯学習活動に参加できるよう、外国人相談窓口の周知を図ります。

基本方針 3 学びを支える基盤づくり

～ 生涯学習を推進する団体の育成、体制の整備 ～

推進目標

生涯学習活動に関係する団体同士の活動報告や意見交換をする交流会を毎年実施

行動指標

指標	基準値	目標値
主な社会教育施設※利用者数	770,355 人 (令和元年度)	924,000 人
GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー企画講座実施数	8 講座 (令和元年度)	10 講座

(注) 令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの講座・イベント等が中止となったため、令和元年度の実績を基準値としている（目標値は令和8年度の数値）

※公民館、市民会館、博物館、図書館、生命の海科学館

(1) 生涯学習施設の充実

- 生涯学習施設の老朽化対策を進めるとともに、利用しやすい施設運営をめざします。
- 公民館の効果的な活用を推進します。

施策① 施設の整備・充実と使用しやすい施設運営

本市においては、公民館や市民会館をはじめ、博物館、図書館、生命の海科学館など様々な生涯学習施設があります。市民に学習活動の場や機会を提供し、幅広い学習活動を支えるなど重要な役割を担っています。

市民が身近な地域で生涯学習活動を行えるよう、施設や設備の整備・充実やバリアフリーの推進、施設運営の効率化などに引き続き取り組むとともに、生涯学習施設が市民にとってより親しみやすく利用しやすいものとなるよう、利用環境の改善を図っていきます。

具体的施策	内容
施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none">● 継続した学習活動が行えるよう、公民館や市民会館、博物館、図書館、生命の海科学館など、生涯学習施設の適切な維持管理を行います。● 各施設が市民にとってより使いやすくなるよう、バリアフリー化など、必要に応じて整備・改修を進め、施設の充実を図ります。

具体的施策	内容
利用環境の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の生涯学習施設が市民に積極的に利用されるよう、利用環境の見直し、改善を行うとともに、各種施設の利用方法や事業等について広く周知を行います。

施策② 公民館機能の充実

公民館は地域における生涯学習の中核的な施設として地域の実情に応じた多様な学習機会の提供が行われていますが、時代とともに公民館に求められる役割は変化してきています。

「蒲郡市公民館のあり方について（公民館グランドデザイン）」に基づき、「魅力的な講座の実施・多様な学習機会の提供」、「交流を生み出し、地域と人がつながる機能」という2つの視点から各公民館のさらなる活用を進め、公民館それぞれの役割に応じた機能の強化を図ります。

具体的施策	内容
中央公民館の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 主に社会教育機能を担う公民館として、市民会館内などに中央公民館の設置をめざします。 ● 市民会館のホールや広い会議室を利用した全市民向けの大規模な講座や専門性の高い分野の講座、「GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー」や地元企業との連携講座など、多種多様な講座を実施します。 ● 地区公民館へのサポートや公民館同士の連携により、市内全域の社会教育活動を充実させます。
地区公民館の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 各地区の公民館を、主に地域の交流拠点機能を担う公民館として位置付けます。 ● 住民が気軽に利用できるよう、利用制限を緩和します。「おいでん、いこまい、いってみりん」と住民が声をかけ合い自然と人が集まる施設をめざします。 ● 地区の公民館においては、講座開催やクラブ・サークルなどの活動を維持しつつ、高齢者の居場所、地域住民のふれあい活動、地域での子育て機能といった地域交流拠点機能の充実を図ります。 ● 小中学校との連携により地域学校協働活動の拠点のひとつとして、地区公民館を活用し、世代間交流の機会をつくり出します。 ● 学校区よりも小さなコミュニティの活動拠点である集会所が果たしている役割を踏まえ、集会所の機能と連動した公民館の機能を、地区ごとの実情を踏まえて検討していきます。

(2) 生涯学習を推進する体制の構築

- 市で生涯学習活動を行う団体やサークル等の情報を、広く市民に発信します。
- 生涯学習活動に関する支援体制の充実を図ります。
- 生涯学習活動を行う団体やサークル同士の情報交換の機会をつくります。

施策① 活動団体への支援の充実

本市では、市民の活動へのきっかけづくりとして「生涯学習ガイドブック 団体・サークル紹介誌」や「蒲郡文化・スポーツリーダーパンフレット」を毎年更新し、公共施設で配布するなどの支援を行っていますが、活動団体ヒアリングでは「活動の情報が行き渡っていない」といった意見があがっています。また、市民ワークショップでは「施設の利用制限が厳しい」、「学習成果を発表する場が少ない」といった意見があり、活動情報の周知とともに、活動しやすい環境整備が求められています。

今後は市の社会教育機能を担う「中央公民館」に社会教育主事などの専門職員を配置することで、活動団体への支援体制の強化を図ります。また、活動団体同士が交流を深めることができるよう、様々な活動主体との交流の機会の提供に努めるなど、地域における学びのつながりを築くことをめざします。

具体的施策	内容
団体・サークルに関する情報の発信	● 市民が主体となって活躍している団体やサークルの活動状況を把握し、「生涯学習ガイドブック」等を活用して活動状況を広く市民に紹介します。
団体・サークル間の交流の促進	● 市民がそれぞれの活動に参加するきっかけとなる場の提供などにより、市内で活動する生涯学習関係団体やサークル活動への支援を行います。また、公民館において、各クラブ・サークル間の情報交換の場を設け、交流促進を図ります。
学習の成果を発表できる場の提供	● 市民が講座やサークル活動などで学んで得た知識や成果を発表できるよう「成果発表会」などの披露する場をつくります。



成果発表会でのサークル活動展示

施策② 指導者の育成・活用

生涯学習の推進には、市民の学習活動を指導・助言するリーダーの存在が不可欠であり、多様な学習活動を展開するためには、様々な分野での指導者の発掘・育成を行っていく必要があります。

指導者がスキルを高める場や指導者同士の情報交換の場の提供等により、指導者の育成に取り組むとともに、先進事例等を参考に指導者の活用を進める仕組みづくりを進めます。

具体的施策	内容
生涯学習活動指導者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域における生涯学習活動の活発化を図るため、文化やスポーツ活動のリーダーである「GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー」の育成支援をはじめ、地域の生涯学習活動のリーダーの育成、市民が能力を生かす場の創出に取り組みます。
生涯学習活動指導者の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民に様々な生涯学習の機会を提供できるよう、「GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー」として登録した人が専門的な知識や技能、経験を生かした体験イベントの企画を実施するなど、人材を活用する仕組みづくりを進めます。



GCSL 企画 ドライフラワー講座



GCSL 企画 盆石講座

基本方針 4 学びを通じたまちづくり

～ 学びを地域に生かす仕組みの構築 ～

推進目標

市民の主体的な地域づくりに向けた意識の醸成

行動指標

指標	基準値	目標値
生涯学習課が主催する大学・企業との連携講座の実施回数	23回 (令和元年度)	25回
地域学校協働活動ボランティア延べ参加者数	79人 (令和元年度)	5,400人

(注) 令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの講座・イベント等が中止となったため、令和元年度の実績を基準値としている(目標値は令和8年度の数値)

(1) 豊かな地域づくりに向けた生涯学習の推進

- 市民の地域の課題への関心を深める学習を充実します。
- 蒲郡市への誇りと愛着を持った人を増やします。
- 市の産業の活性化につながる学習の機会を充実します。

施策① 社会的課題等に対応した学びの提供

人口減少・少子高齢化が進む中において、市民生活を支えるために必要な支援のすべてを行政が提供することは難しく、市民、地域、行政による自助・共助・公助の連携と協働が不可欠となっており、市民協働のまちづくり、地域共生社会の実現といった面からも生涯学習は重要なものとなっています。

本市では地域共生社会の実現に向けて、地域の福祉課題や安全・安心なまちづくりをテーマとした学習や市民ワークショップなどの地域課題解決型学習の機会の提供に努めていますが、参加者が少ない、参加者が固定化されているといった課題があります。

市民一人ひとりが地域に対して関心を持ち、地域の課題を自分ごととして考えていくことができるよう、市民の意識向上・行動の変容につながる学習の充実や、市民自らが身近な課題解決に取り組んでいけるような学習の充実を図ります。

具体的施策	内容
共生社会の実現に向けた学びの充実	● 年齢、性別、障がいの有無、国籍等にかかわらず、誰もが自らの能力を発揮し、誰もが地域の担い手として地域を支えていく社会、誰もが排除されない社会の実現に向けて、人権や男女共同参画への理解、障がいや多文化共生への理解を深めるための学習の機会を提供します。

具体的施策	内容
健康づくりに関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民が健康でいきいきと働き、暮らせるよう、健康や生活習慣病予防に関する正しい知識を身につける機会や、地域で健康づくりを実践する機会の提供に取り組みます。また、働く人の健康の維持・増進に向けて事業所等に対する情報の発信に努めます。
環境に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球温暖化やごみ問題、生物多様性の危機などが問題となる中、一人ひとりが環境問題について正しい認識を持ち、環境に配慮した生活が過ごせるよう、環境問題や日々の暮らしと環境との接点について学ぶ機会を提供します。
防犯・防災に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のボランティアや警察等と協力して、安心して市民生活を送るために必要な防犯についての学習機会を提供します。 ● 近年、毎年のように全国各地で自然災害が頻発していることを踏まえ、より多くの人々が日頃から災害に対する備えができるよう、防災に関する学習機会を提供します。
生活に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活に役立つ知識、生活の安全に関する知識を学ぶ機会の提供や市の施設見学の機会の提供を行います。
地域課題解決型学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民が身近な課題に対して解決に取り組んでいくための学習活動を支援するとともに、市民が気軽に意見交換をし、知恵を出し合って地域の課題と解決方法を考える体験型学習の推進に取り組みます。

施策② 地域の魅力を発見する機会の提供

活力あるまちの実現には、市民一人ひとりが地域に関心を持つことが大切であり、地域に関心を持つためには、地域を知り、まちの魅力を発見・再認識することが重要です。

市民のまちへの愛着を深め、地域参加を進めるために、様々なジャンルからまちの魅力を学ぶ機会の提供を行います。

具体的施策	内容
学びを通じた交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座・イベントなどを活用し、生涯学習に参加する人同士の交流を促進するための機会の提供に取り組みます。 ● 生涯学習活動が新たな仲間づくりの場となるよう、子育て中の人や転入者、退職後の生活を過ごしている人などに対して、活動の紹介を積極的に行います。 ● 活動団体、企業等がお互いの学びについて意見交換が行える機会の提供に努めます。
地域を学ぶ学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の魅力の再発見やよりよいまちづくりのきっかけづくりに向けて、蒲郡に縁のある人物や身近なまちの歴史、蒲郡の自然や産業の魅力などを楽しみながら学ぶ機会を提供します。 ● 次世代の担い手となる子どもたちに蒲郡の企業や産業について知ってもらう機会を提供します。

(2) 地域の連携体制の構築

- 市民の学びの成果をまちづくりに生かすことができる場の創出に取り組みます。
- 専門的な知識・技術を学ぶ機会の充実を図ります。

施策① 市民参画の促進

地域のつながりの希薄化が進み、地域コミュニティの活性化や人と人との支え合いがこれまで以上に重要な課題となっている中において、生涯学習が個人の学習活動として終わるのではなく、地域コミュニティやまちづくりの基盤となることが期待されています。

また、学習で得られた知識や技術を地域に還元することは、学習をしている市民にもやりがいや喜びをもたらし、さらなる学習の動機づけにつながるため、自分が「学ぶ」だけでなく、自分が「教える」楽しみや生きがいを感じることができる場をつくるなど、市民が主体となった生涯学習の推進を図ります。

さらに、まちの活性化、持続的な発展をめざし、まちの魅力を市外に発信する人材の発掘・育成などに取り組みます。

具体的施策	内容
地域ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none">● 生涯学習関係団体やサークルとの連携により、自らの知識や技能を生かして地域活動を行うボランティアの育成に取り組みます。● 各ボランティアが地域で活動ができるよう、ニーズの把握や各課との連携に取り組みます。● 学生や若者と連携したボランティア活動の機会の創出に努めます。
学びの成果を地域に生かす仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none">● 市民が生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験などを発表する機会の提供を行います。● 市民が学ぶだけでなく市民講師として活躍するなど、その学習成果を地域で生かし、地域の担い手として活躍できる場の創出に取り組みます。● 地域の魅力を学んだ人が観光分野などで活躍する仕組みをつくるなど、成果発表の場を提供するとともに、本市ならではの魅力や新たな価値の創出につなげます。また、市内外に向けて町の魅力を発信する機会を提供します。



クルーズ客船 おもてなし日本文化体験

施策② 地域との連携による学習の促進

本市においては、地域住民が学校の活動を応援することで、地域ぐるみで子どもたちを育てる取組である「地域学校協働活動」が令和元年度より始まっています（モデル校において実施）。この活動により、多世代の地域住民が集まれる機会や場所をつくり出し、つながりづくりができることが期待されます。

また、地元企業や大学と連携し、専門的見地を生かした生涯学習活動を地域で推進しており、さらなる活動の活性化に向けて、引き続き学校や関係団体、地域の大学・企業等との連携をより一層深め、様々な場面における多様な活動のつながりづくりを進めます。

具体的施策	内容
学校と地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校や公民館を拠点とした地域学校協働活動により、子どもたちには多世代交流の機会や様々な体験を提供し、地域住民には生きがいややりがい、地域課題解決について話し合う機会を提供します。これにより、地域のつながりづくりを進めます。
関係団体や大学・企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学習関係団体や各サークル等による企画講座等、市民参加型の生涯学習事業の展開を図ります。 ● 多様化する市民の学習ニーズに対応するため、大学や企業と連携し、専門知識やノウハウを活用した専門的な学習機会の充実を図ります。



西浦小 地域の方の麦畑で体験学習



蒲郡南部小 放課にコカリナの演奏会



地元企業による「ゴマレッスン」

1 計画の推進体制

生涯学習のまちづくりにあたっては、市民の主体的な活動に加えて、地域団体や企業、教育機関などがそれぞれの強みを生かして連携・協働していくことが不可欠です。

本計画の推進に向けては、各主体が以下のような役割を担っていくことが求められます。

■ 市民の役割

主体的に生涯学習活動に取り組むとともに、自らがまちづくりの担い手である意識を持ち、地域との交流を深め、学習した成果を地域のために生かしていくことが求められます。

また、家庭はすべての教育の出発点となるため、子どもが基本的な生活習慣や基本的倫理観、自制心や自立心などを身につける上で、家庭教育は重要な役割を担っています。

■ 地域(常会、子ども会、友愛クラブ等)の役割

常会や子ども会、友愛クラブ等は地域の「学びの場」と「学びの成果を生かす場」となることが期待されるため、地域のつながりの中で活力あるまちづくりに向けた学びを実践していくことが求められます。

■ 生涯学習活動団体(蒲郡市文化協会、GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー等)の役割

蒲郡市文化協会、GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー等の生涯学習活動団体は市における多様な学習活動を支える上で大きな役割を担っています。市民の生涯学習活動を支援するとともに、市民と市とのつなぎ役として、学びの成果をまちづくりに生かすという学びの循環の一翼を担うことが期待されています。

■ 企業の役割

企業は地域住民のひとりとして、社会貢献活動（CSR 活動）が求められており、企業で働く人に対しても健康維持についての学習を含め多様な学習機会の提供を行うほか、地域住民に対して企業の特色を生かした学習活動を提供していくことが期待されています。

■ 教育機関の役割

各学校は地域に開かれた学びの場として、それぞれの専門性や特色を生かし、市民の学びを生かす場となる役割が求められます。また、大学、専門学校等の高等教育機関は、生涯学習機関として社会人の学び直しの機会の提供のほか、地域課題の解決に資する人材育成、地域貢献などの役割が期待されています。

■ 蒲郡市の役割

市は、市民ニーズを踏まえた生涯学習の場の提供とともに、学習へのきっかけづくり、学習に参加しやすい環境の整備、学習成果を生かせる場づくりなどに取り組み、気軽に「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境整備を行います。

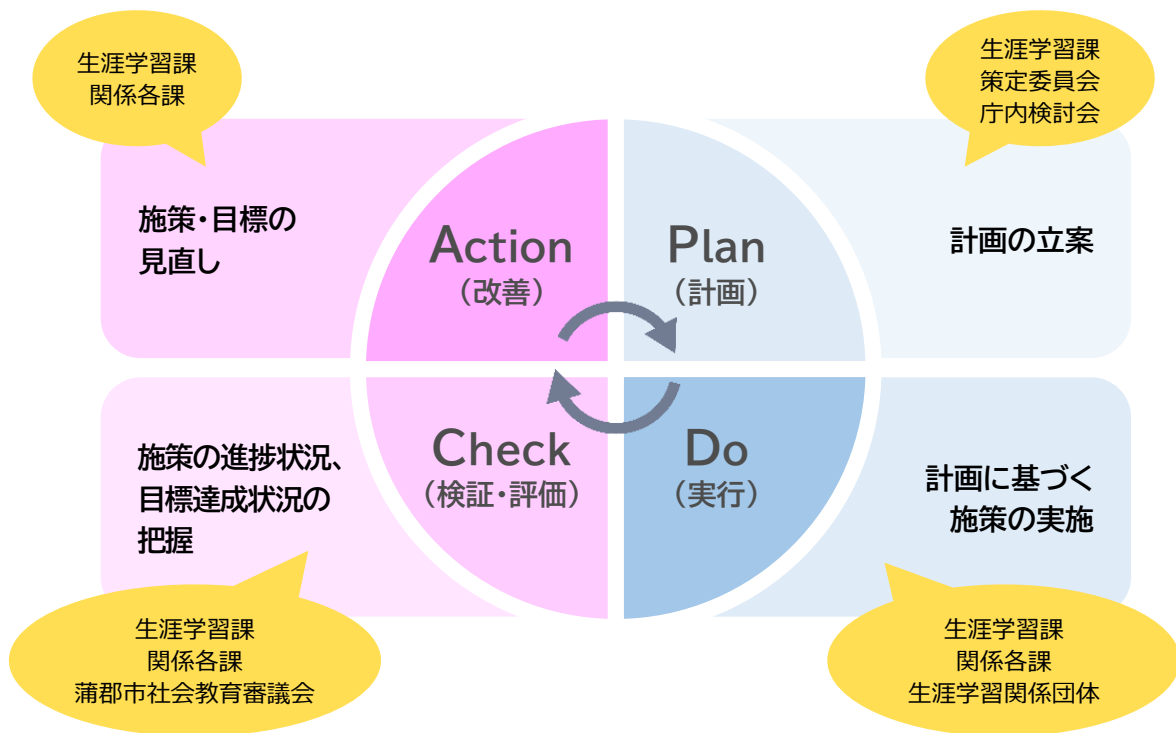
また、市の生涯学習関連施設や関係各課、国・県などの関係機関と連携を図りながら、生涯学習施策を効果的に推進していきます。

2 計画の進行管理

本計画における取組の推進に向けては、蒲郡市教育委員会生涯学習課が中心となり、計画の周知を行うとともに、関係各課との連携を図りながら、全庁的な推進を図ります。

また、本計画を効果的に推進し目標を達成するため、PDCA サイクルに基づき取組の進捗状況を把握し、蒲郡市社会教育審議会が適切に評価を行います。その結果を受けて生涯学習課が関係各課と情報共有しながら適宜改善を図っていくことにより計画の進行管理を行います。

また、進捗状況の把握にあたっては、年度毎の庁内各課への取組状況調査のほか、本計画の4つの基本方針で定めた行動指標の達成状況等から評価します。そのほか、市民意識調査や講座終了後アンケート等による講座の募集方法や運営方法、受講講座に対する満足度などを参考として、推進目標の達成状況を多面的に評価していきます。



1 蒲郡市生涯学習推進計画 2022 策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 蒲郡市の特性を生かした生涯学習を推進する施策の方針として蒲郡市生涯学習推進計画 2022 (以下「推進計画」という。)を策定するため、蒲郡市生涯学習推進計画 2022 策定委員会 (以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 推進計画の策定に関すること。
- (2) その他推進計画の策定上必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員 13 人で組織する。

2 委員は次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 市社会教育委員
- (2) 各種団体の代表者
- (3) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、当該委員の委嘱の日から推進計画策定の日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長各 1 名を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により選出し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長が指名した者とし、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議 (以下「会議」という。)は、委員長が召集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(庁内検討会)

第7条 委員会に、推進計画の策定に関する検討事項に係る内容等の調整を行うため、庁内検討会を置く。

- 2 庁内検討会は、別表に掲げる課又は公所の長を持って構成する。
- 3 庁内検討会に座長を置き、座長は教育委員会生涯学習課長をもって充てる。
- 4 座長は、庁内検討会の事務を掌理し、その経過及び結果を委員会に報告する。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会生涯学習課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和3年5月20日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、蒲郡市生涯学習推進計画2022の策定の日限り、その効力を失う。

別表 (第7条関係)

(庁内検討会)

企画政策課
協働まちづくり課
福祉課
子育て支援課
長寿課
観光商工課
教育政策推進室
生涯学習課
生命の海科学館
博物館

2 蒲郡市生涯学習推進計画 2022 策定委員会名簿

任期：令和3年7月26日～令和4年3月31日

	所属		氏名	備考
1	愛知教育大学	准教授	中山 弘之	学識経験者
2	社会教育審議会	会長	足立 泰敏	元教員
3	社会教育審議会	副会長	鈴木 庸子	ガールスカウト
4	社会教育審議会	委員	石川 たづ子	ボランティア・各種委員
5	社会教育審議会	委員	小林 浩子	子ども会、子育てネットワーカー
6	社会教育審議会	委員	松山 照夫	公民館長
7	社会教育審議会	委員	丸山 いづみ	保育協会
8	蒲郡市立図書館	館長	新井 麻利子	蒲郡市立図書館の推薦する者
9	社会福祉協議会	係長	大須賀 めぐみ	社会福祉協議会の推薦する者
10	蒲郡市文化協会	会長	中村 達	蒲郡市文化協会の推薦する者
11	蒲郡市吹奏楽団	団長	稲吉 初美	蒲郡市吹奏楽団の推薦する者
12	蒲郡商工会議所	総務課長	青木 宣貴	蒲郡商工会議所の推薦する者
13	蒲郡青年会議所	理事長	伊藤 健二	蒲郡青年会議所の推薦する者

敬称略・順不同



策定委員会の様子

3 計画策定の経過

年	月	項目	内容
令和 2年	10月～ 11月	● 生涯学習に関する市民アンケート調査の実施	蒲郡市在住の18歳以上の市民（1,500人）とGCSL蒲郡市文化・スポーツリーダー（77人）を対象に実施
		● 生涯学習に関する団体アンケート調査の実施	蒲郡市文化協会に加盟する団体（112団体）、蒲郡市の公民館で活動する団体（316団体）を対象に実施
令和 3年	7月	● 第1回庁内検討会の実施	計画策定のスケジュールについての説明、アンケート調査結果の共有と課題の抽出
		● 第1回蒲郡市生涯学習推進計画2022策定委員会の実施	委員長、副委員長選出、計画策定のスケジュールについての説明、アンケート調査結果の共有と課題の抽出
	8月	● 第1回市民ワークショップの開催	生涯学習に関する講習会の開催、グループトークによる生涯学習にかかる課題の抽出
		● 第2回市民ワークショップの開催（オンライン開催）	グループトークによる課題解決アイデアの検討
	9月	● 団体・企業ヒアリング	生涯学習活動団体（3団体）と生涯学習の機会を提供いただいている企業（2社）を対象に活動の状況や活動上の課題、市の生涯学習環境に対する意見についてのヒアリングを実施
		● 第3回市民ワークショップの開催（オンライン開催）	グループトークによる課題解決に向けての各主体（個人、地域、行政）の役割の検討、今後必要な生涯学習活動の検討
		● 第2回庁内検討会の実施	進捗状況の報告、計画骨子案の検討
		● 第2回蒲郡市生涯学習推進計画2022策定委員会の実施（オンライン開催）	進捗状況の報告、計画骨子案の検討
	10月	● 第3回庁内検討会の実施	進捗状況の報告、計画素案の検討
	11月	● 第3回蒲郡市生涯学習推進計画2022策定委員会の実施	進捗状況の報告、計画素案の検討
		● 第4回庁内検討会の実施	計画最終案の検討
12月	● 第4回蒲郡市生涯学習推進計画2022策定委員会の実施	計画最終案の検討	
令和 4年	1月	● パブリックコメントの実施	
	3月	● 蒲郡市生涯学習推進計画2022策定	

4 蒲郡市の取組一覧

基本方針1 学びの場づくり ～ 多様な学習活動の充実 ～

(1) 多様な学びの場の提供

施策① 学習ニーズの把握と事業の整理

具体的施策	主な取組	担当課
市民の学習ニーズの把握	● 講座終了時におけるアンケートの実施	関係各課
	● 市民アンケート・意見交換会等の実施	生涯学習課
生涯学習関連事業の整理	● 生涯学習関連事業の把握・整理	生涯学習課

施策② ニーズに応じた学びの提供

具体的施策	主な取組	担当課
ライフステージに応じた学習機会の提供	● 幼児教室、親子ふれあいひろば	生涯学習課
	● パパママ教室 ● 赤ちゃんサロン	健康推進課
	● うみのご広場 ● 1歳児教室	
	● 2歳児教室	
	● 親子遊び ● 育児講座	子育て支援課
	● おはなし会、「おはなし玉手箱」、「本となかよくするために」	図書館
	● あかちゃんタイムでのおすすめ本紹介	
	● ママ文庫	
	● 幼児交通安全教室	交通防犯課
	● 発達障がい講演会	福祉課
学童期・青少年期	● 保育園・幼稚園への出前講座	生命の海科学館
	● 子ども交流事業の支援	生涯学習課
	● 少年少女発明クラブ	
	● 親子料理教室	
	● 高校生・大学生等による地域課題解決型学習	
	● 成人式実行委員会の支援	
	● 地域学校協働活動事業	
	● 蒲郡市子ども会連絡協議会の支援	
	● 里山自然観察会	環境清掃課
	● 「若者に多い消費者トラブルから身を守ろう」	観光商工課
	● 自転車バス利用教室	交通防犯課
	● 「がまごおりの景観について考えてみよう」	都市計画課
	● 多文化共生推進講座、男女共同参画推進講座	協働まちづくり課
● 小中学校向け理科授業講座、ワークショップやサイエンスショー	生命の海科学館	
● 読書感想文教室 ● おはなし会	図書館	
● じどうしゅ d e ブックトーク ● 職場体験		
● 高卒認定試験等の学習支援	青少年センター	
● 「インターネットを安全に使うために」		
● 「家庭の日」親子教室		
● 地域ふれあい活動		

具体的施策		主な取組	担当課
ライフステージに応じた学習機会の提供	成人期	● 公民館家庭教育学級推進事業、公民館補助学級	生涯学習課
		● 愛知大学との共催講座	
		● 認知症支援講座	健康推進課
		● 保護者を対象としたネットトラブルに関する学習講座	青少年センター
	高齢期	● 「オジョ先生の英会話教室」、男女共同参画に関する講演会やサテライトセミナーの開催	協働まちづくり課
		● 公民館高齢者教室（健康教室・料理教室）	生涯学習課
趣味・教養のための学びの提供	高齢期	● 高齢者サロンでの健康教育	健康推進課
		● 友愛クラブ（老人クラブ）教養講座	長寿課
		● 介護予防教室	
		● 「いこいの場」ガイドブックの配布	
		● 公民館生涯学習講座	生涯学習課
		● GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー企画講座	
新しい知識・技術に関する学びの提供	高齢期	● 音訳ボランティア養成講座	図書館
		● よみきかせボランティア養成講座	
		● よみきかせボランティアステップアップ講座	
		● 図書館文学講座 ● 図書館企画講座	
		● 英文多読相談会・講演会	
		● 古文書を読む会	博物館
生涯学習課	高齢期	● 科学講座 ● 講演会	生命の海科学館
		● 市民パソコン教室、スマホ講座	生涯学習課
		● 高齢者デジタルサポーター（県事業）の活用促進 ● デジタル活用支援推進事業等実施団体への活動支援	デジタル行政推進課

(2) 文化芸術活動の充実

施策① 文化芸術の振興

具体的施策	主な取組	担当課
多彩な文化芸術にふれる機会の充実	● 東三河連携講座 ● GCSL 企画講座	生涯学習課
	● 市民文化祭 ● 春の文協まつり ● 蒲郡市吹奏楽団コンサート ● 「スタインウェイピアノを弾こう！」 ● 文化協会による学校への出前講座（箏曲・舞踊・民謡等） ● 公民館生涯学習講座 ● 俊成短歌大会	
文化芸術活動への支援	● 各種展示会（写真、絵てがみ、墨彩画、切り絵、篆刻、書、手づくり人形やおもちゃ、切手収集、アルミホイールでつくられた作品、その他芸術作品）	図書館
	● 公民館まつり ● 生涯学習成果発表会 ● 文協まつりや文化講演事業への支援 ● 地域学校協働活動事業 ● 自費出版の表彰制度 ● 展示会（作品発表の場の提供）	生涯学習課 図書館
様々な文化交流の促進	● 公民館のクラブ・サークルと GCSL、文化協会などの会員同士の意見交換会の開催	生涯学習課
	● 市民活動団体や地域づくりに取り組まれている人の交流の場の提供	協働まちづくり課
	● 国際交流協会による国際交流イベントの開催	

具体的施策	主な取組	担当課
文化芸術活動と連携したまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 竹島観光ボランティアガイド養成講座 ● 「観光交流立市のまち育て」 	観光商工課

施策② 歴史的・文化的資源の継承

具体的施策	主な取組	担当課
まちの歴史を知る機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 郷土の歴史・民俗に関する出前講座、講演等 ● 学校向け出張講座 ● 「古文書寺子屋」 	博物館
	<ul style="list-style-type: none"> ● 竹島観光ボランティアガイド養成講座 	観光商工課
文化財の保護・保全と担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティ助成事業・市文化財保存事業補助金等 	博物館
	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史研究や保存を目的としたクラブ・サークルの制作物の展示（公民館まつり等） 	生涯学習課

(3) 生涯スポーツ活動の推進

施策① スポーツ・レクリエーション活動の推進

具体的施策	主な取組	担当課
スポーツ・レクリエーション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種スポーツ関係団体の育成・支援 ● 各種スポーツ大会・教室の開催・支援 	スポーツ推進課
	<ul style="list-style-type: none"> ● GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー企画講座 	生涯学習課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 親子ふれあいひろば ● 公民館高齢者教室（健康教室） 	観光商工課 生涯学習課 長寿課
	<ul style="list-style-type: none"> ● グラウンドゴルフ大会 	
ニュースポーツの普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ● ニュースポーツの普及促進 	スポーツ推進課
スポーツを通じた地域交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者スポーツ大会 	スポーツ推進課 生涯学習課

施策② スポーツ環境の整備

具体的施策	主な取組	担当課
スポーツ施設の充実等	<ul style="list-style-type: none"> ● 体育施設整備事業 ● 体育施設維持管理事業 	スポーツ推進課
地域資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校体育施設開放事業 	スポーツ推進課
がまごおり・運動スポーツマップの配布	<ul style="list-style-type: none"> ● 「がまごおり・運動スポーツマップ」の作成・配布 	健康推進課

基本方針2 学びの環境づくり ～ 学びに会い、誰もが参加しやすい環境の整備 ～

(1) 学びに関する広報・情報提供

施策① 情報の効果的な発信

具体的施策	主な取組	担当課
多様なツール・手段による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報がまごおり、市ホームページ等による情報提供 ● SNS を活用した情報提供 	関係各課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「生涯学習ガイドブック」の配布 ● 市役所各課の講座情報の集約・広報 ● 公民館だよりの活用 	生涯学習課

具体的施策	主な取組	担当課
多様なツール・手段による情報発信	● 「図書館だより」、Y A だより「今月のY A」、「じどうしつだより」の配布	図書館
	● 「がまごおり・運動スポーツマップ」の配布	健康推進課

施策② 学びの魅力の発信

具体的施策	主な取組	担当課
情報紙・SNS 等による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館だより、文化協会機関紙による周知 ● SNS を活用した情報発信 ● GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダーパンフレットの作成 	生涯学習課
GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダーによる情報発信	● GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダーを活用した活動の魅力発信	生涯学習課

(2) 誰もが気軽に学べる機会の提供

施策① 参加しやすい環境整備

具体的施策	主な取組	担当課
多様な学習スタイルの提供	● オンライン講座・インターネット配信による学習の実施	関係各課
相談窓口の充実	● 中央公民館の新設へむけた取組	生涯学習課

施策② 障害のある人、外国人住民に対する支援の充実

具体的施策	主な取組	担当課
障がいのある人の生涯学習活動への支援	● 障がいのある人が参加しやすい情報が入ったチラシづくりの指導	生涯学習課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 点字付き資料の提供 ● デイジー図書作成と提供 ● 図書館だより音訳版、点訳版の作成と提供 	図書館
	● 市主催の日本語教室や蒲郡国際交流協会のボランティアによる日本語教室	協働まちづくり課
外国人住民の生涯学習活動への支援	● 多文化共生の推進	協働まちづくり課
	● 日本人住民向けの外国語講座	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国語資料（絵本含む）の提供 ● 日本語学習用資料の提供を含む多文化コーナーの設置・充実 	図書館

基本方針3 学びを支える基盤づくり ～ 生涯学習を推進する団体の育成、体制の整備 ～

(1) 生涯学習施設の充実

施策① 施設の整備・充実と使用しやすい施設運営

具体的施策	主な取組	担当課
施設の整備・充実	● 計画的な施設整備 ● 指定管理者との連携	関係各課
	● セルフ貸出機、インターネット検索性 PC、各種データベースの利用ができる PC の設置	図書館
利用環境の見直し	● 施設予約システムの見直し ● 託児付き講座	関係各課
	● 公民館の利用基準の緩和	生涯学習課

具体的施策	主な取組	担当課
利用環境の見直し	● インターネット予約利用の年齢制限撤廃	図書館

施策② 公民館機能の充実

具体的施策	主な取組	担当課
中央公民館の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 中央公民館の新設へ向けた取組 ● 専門職員（社会教育主事等）の配置 ● 地区公民館や市役所各課で実施している講座や講師の情報の集約化 ● 地区公民館の支援 	生涯学習課
地区公民館の機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民同士が集まり、つながりをつくり出す空間の設置 ● 地域学校協働活動事業との連携 ● SNSなどを活用した情報発信による多世代の参加促進 	生涯学習課
	● コミュニティバスの運行による交通環境の整備	交通防犯課

(2) 生涯学習を推進する体制の構築

施策① 活動団体への支援の充実

具体的施策	主な取組	担当課
団体・サークルに関する情報の発信	● 「生涯学習ガイドブック」など活用した情報発信	生涯学習課
	● 川柳サークルの会報による情報提供	図書館
	● がまごおり市民まちづくりセンターでの情報提供	協働まちづくり課
団体・サークル間の交流の促進	● 公民館のクラブ・サークルと GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー、文化協会などの会員同士の意見交換会の開催	生涯学習課
	● 公民館代表者会議における情報共有	
	● よみきかせボランティア活動をしている人の交流の場の提供（ブックスタート会議の時のもの）	図書館
	● 市民活動団体や地域づくりに取り組まれている人の交流の場の提供	協働まちづくり課
学習の成果を公表できる場の提供	● 生涯学習成果発表会、GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー企画講座、企画講座体験会の開催	生涯学習課

施策② 指導者の育成・活用

具体的施策	主な取組	担当課
生涯学習活動指導者の育成	● 若い世代の研究者講師の発掘	生涯学習課
生涯学習活動指導者の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 蒲郡市文化協会からの講師派遣 ● GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー登録制度 ● 地区公民館や市役所各課で実施している講座や講師の情報の集約化 	生涯学習課

基本方針4 学びを通じたまちづくり ～ 学びを地域に生かす仕組みの構築 ～

(1) 豊かな地域づくりに向けた生涯学習の推進

施策① 社会的課題等に対応した学びの提供

具体的施策	主な取組	担当課
共生社会の実現に向けた学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 男女共同参画に関する講演会やサテライトセミナーの開催 ● 人権、性的マイノリティに関する研修や講座の実施 ● 多文化共生の推進 	協働まちづくり課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい理解に関する啓発講座 	福祉課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 男女共同参画に関する資料を集めた特集コーナーの設置 ● SDGs コーナー設置 	図書館
健康づくりに関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康教室・健康大学の実施 ● 健康づくりに関する出前講座 ● 企業・事業所に向けた健康出張講座 ● 介護予防に向けた健康教室 ● 運動サポートセンター ● がんセミナー 	健康推進課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民館高齢者教室（健康教室・料理教室） 	生涯学習課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症を知るための特集設置 ● おうち時間応援コーナー ● 睡眠をテーマにした特集（健康推進課との協働事業） 	図書館
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「食育とは」 	農林水産課
環境に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 「体感！地球46億年の歴史」 	生命の海科学館
	<ul style="list-style-type: none"> ● 三河湾環境チャレンジ 	生命の海科学館 学校教育課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「温暖化対策講座」 ● 「遊んで学ぼう！リサイクル」 ● 「ごみ処理施設を見てみよう」 ● クリーンキャンペーンの実施 	環境清掃課
防犯・防災に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 防犯活動に関する出前講座 	交通防犯課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災・減災に関する体験型出前講座 ● 防災教育の催事 	危機管理課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「わが家の耐震診断」 	建築住宅課
生活に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 各保育園での幼児交通安全教室 ● 各小学校での交通安全教室（自転車利用・バス利用教室） 	交通防犯課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校給食センター施設案内 	学校給食課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「普通救命講習」 ● 来て見て触れて消防署の見学 	総務課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「蒲郡市の水道水」 	水道課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 下水道浄化センター小学生用施設見学 	下水道浄化センター
	<ul style="list-style-type: none"> ● 実践！ゴミ出しマナー教室 	環境清掃課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「花苗育成講座」 	都市計画課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「消費生活相談員による寺子屋講座」 	観光商工課

具体的施策	主な取組	担当課
生活に関する学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 「やってみよう！ 図書ボラ」 ● 「調べ学習の達人になろう」 ● 各種特集コーナーの設置 ● 施設見学受入れ（図書館探検ツアー） 	図書館
	<ul style="list-style-type: none"> ● 選挙のしくみ ● 「情報公開」ってなあに？ 	行政課
	<ul style="list-style-type: none"> ● ようこそ市議会へ 	議会事務局
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「年金講座」、「後期高齢者医療のはなし」、「国民健康保険のはなし」 	保険年金課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地・建物の税金教室 	税務課
地域課題解決型学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域支え合い座談会 	長寿課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民ワークショップの開催 	関係各課
	<ul style="list-style-type: none"> ● がまごおり市民まちづくりセンターでの情報提供 	協働まちづくり課
	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりの本コーナー設置・充実 	図書館

施策② 地域の魅力を発見する機会の提供

具体的施策	主な取組	担当課
学びを通じた交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民文化祭の開催 ● 公民館のクラブ・サークルの紹介 ● SNSなどを活用した情報発信による多世代の参加促進 ● 市役所各課の講座情報の集約・広報 ● 住民同士が集まり、つながりをつくり出す空間の設置 	生涯学習課
地域を学ぶ学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域学校協働活動事業 	生涯学習課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 竹島観光ボランティアガイド養成講座 ● 「観光交流立市のまち育て」 	観光商工課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 親子魚料理教室 ● 蒲郡子ども農業教室 ● 「蒲郡の農業」、「蒲郡の水産業」 	農林水産課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「再生医療のまち蒲郡」に関する講座（小・中学生、市民対象） 	産業政策課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 郷土の歴史・民俗に関する出前講座、講演等 	博物館
	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の協力によるワークショップやサイエンスショー 	生命の海科学館
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「道路整備計画について」 	道路建設課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「蒲郡市のまちづくりについて」 	秘書広報課

(2) 地域の連携体制の構築

施策① 市民参画の促進

具体的施策	主な取組	担当課
地域ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ボランティア養成講座 	生涯学習課
	<ul style="list-style-type: none"> ● GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー登録制度 	
	<ul style="list-style-type: none"> ● よみかせボランティア育成 	図書館
	<ul style="list-style-type: none"> ● 音訳ボランティア育成 	

具体的施策	主な取組	担当課
地域ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> ● こんにちは赤ちゃん訪問員の育成 ● 多胎妊産婦サポーター養成講座 ● 食生活改善推進員の育成 ● 「健康づくりいっしょにやろまい会」の活動支援 ● 介護予防サポーター養成講座 ● 「愛知県健康づくりリーダー」登録研修会の周知及び活動支援 	健康推進課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉実践教室（ボランティア体験）の実施 ● 「ふれあい蒲郡」会員養成講座 ● 手話奉仕員養成講座 ● 音訳ボランティア養成講座 ● 点訳ボランティア養成講座 ● 要約筆記ボランティア養成講座 ● 「ゲートキーパーとは」 ● 「手話で日常会話をしてみよう」 	福祉課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症サポーター養成講座 	長寿課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民活動に対する助成事業の実施 	協働まちづくり課
学びの成果を地域に生かす仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域学校協働活動事業 ● 発表の場の充実（市民文化祭、公民館まつり、生涯学習成果発表会等） ● GCSL 蒲郡市文化・スポーツリーダー企画講座 	生涯学習課

施策② 地域との連携による学習の促進

具体的施策	主な取組	担当課
学校と地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域学校協働活動事業 	生涯学習課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 高等学校の取組を紹介する展示（蒲郡高等学校、三谷水産高等学校） 	図書館
関係団体や大学・企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 学芸員実習（博物館、生命の海科学館） ● 市民教養講座への講師派遣（愛知大学） ● 愛知大学豊橋校舎における教養セミナーの開催（愛知大学） ● 少年少女発明クラブ講師派遣と学習場所の提供（愛知工科大学） ● 学生ボランティアサークル部員によるワークショップの開催（愛知工科大学） 	生涯学習課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 津波体験ドライビングシュミレータや拡張現実アプリによる災害疑似体験の提供（愛知工科大学） 	危機管理課
	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の協力によるワークショップやサイエンスショー 	生命の海科学館
	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛知工科大学図書館との相互協力に関する協定書締結 	図書館

5 アンケート調査結果

- n は回答者数。ただし、全体のnには年齢不詳の人の回答も含まれるため、各年代のnの合計と全体のnは一致しない。また、小数点処理（四捨五入）により割合の合計は100%とならないものもある。
- 集計表の網掛けについては以下のとおり（無回答と「その他」、「わからない」、「特になし」を除く順）。
 - 青・白抜き文字 : 最も割合が高いもの
 - 水色 : 2番目に割合が高いもの : 網掛け（1位が同率の場合は2番目の網掛けはなし）

(1) 一般調査

① 回答者の属性

質問1 あなたの性別、年齢、職業、家族構成、居住校区についておたずねします。

【性別】

	（%）			
	男性	女性	その他	無回答
全体 (n=561)	43.1	56.5	-	0.4
18・19歳、20歳代 (n=64)	46.9	53.1	-	-
30歳代 (n=75)	33.3	66.7	-	-
40歳代 (n=81)	48.1	51.9	-	-
50歳代 (n=107)	40.2	59.8	-	-
60歳代 (n=110)	45.5	54.5	-	-
70歳以上 (n=122)	45.1	54.9	-	-

【年齢】

	（%）							
	18・19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体 (n=561)	2.3	9.1	13.4	14.4	19.1	19.6	21.7	0.4
18・19歳、20歳代 (n=64)	20.3	79.7	-	-	-	-	-	-
30歳代 (n=75)	-	-	100.0	-	-	-	-	-
40歳代 (n=81)	-	-	-	100.0	-	-	-	-
50歳代 (n=107)	-	-	-	-	100.0	-	-	-
60歳代 (n=110)	-	-	-	-	-	100.0	-	-
70歳以上 (n=122)	-	-	-	-	-	-	100.0	-

【職業】

	（%）							
	会社員・公務員	自営業	自由業	農林水産業	主婦・主夫	パート・アルバイト	学生	無職
全体 (n=561)	33.7	7.7	1.4	1.8	15.0	18.7	4.1	15.3
18・19歳、20歳代 (n=64)	46.9	-	-	-	3.1	7.8	35.9	4.7
30歳代 (n=75)	53.3	8.0	-	-	18.7	18.7	-	1.3
40歳代 (n=81)	49.4	8.6	1.2	-	13.6	22.2	-	3.7
50歳代 (n=107)	46.7	8.4	0.9	-	8.4	29.0	-	4.7
60歳代 (n=110)	22.7	11.8	2.7	4.5	18.2	19.1	-	18.2
70歳以上 (n=122)	3.3	6.6	2.5	4.1	23.0	13.1	-	44.3

	その他	無回答
全体 (n=561)	1.8	0.5
18・19歳、20歳代 (n=64)	1.6	-
30歳代 (n=75)	-	-
40歳代 (n=81)	1.2	-
50歳代 (n=107)	1.9	-
60歳代 (n=110)	1.8	0.9
70歳以上 (n=122)	3.3	-

【家族構成】

(%)

	一世代 (夫婦の み)	二世 代 (親と 子)	三世 代 (親子・ 孫)	単身	その他	無回答
全体 (n=561)	21.4	55.3	13.9	6.6	2.3	0.5
18・19歳、20歳代 (n=64)	4.7	65.6	17.2	10.9	1.6	-
30歳代 (n=75)	10.7	74.7	10.7	2.7	1.3	-
40歳代 (n=81)	6.2	76.5	11.1	3.7	1.2	1.2
50歳代 (n=107)	16.8	57.0	18.7	5.6	1.9	-
60歳代 (n=110)	33.6	40.9	16.4	5.5	3.6	-
70歳以上 (n=122)	40.2	35.2	9.8	10.7	3.3	0.8

【居住校区】

(%)

	大塚	三谷	三谷東	蒲郡東部	蒲郡南部	竹島	中央	蒲郡北部
全体 (n=561)	5.7	7.8	5.9	7.0	9.8	6.6	8.4	6.4
18・19歳、20歳代 (n=64)	10.9	4.7	3.1	9.4	6.3	9.4	4.7	3.1
30歳代 (n=75)	1.3	5.3	4.0	9.3	10.7	9.3	13.3	9.3
40歳代 (n=81)	7.4	13.6	7.4	3.7	8.6	6.2	12.3	4.9
50歳代 (n=107)	2.8	7.5	4.7	4.7	16.8	2.8	5.6	7.5
60歳代 (n=110)	3.6	10.9	7.3	9.1	8.2	7.3	10.0	9.1
70歳以上 (n=122)	9.0	4.9	7.4	6.6	7.4	5.7	5.7	4.1

	蒲郡西部	塩津	形原北	形原	西浦	無回答
全体 (n=561)	2.5	11.2	9.1	11.8	5.7	2.1
18・19歳、20歳代 (n=64)	-	14.1	15.6	10.9	7.8	-
30歳代 (n=75)	2.7	8.0	5.3	16.0	2.7	2.7
40歳代 (n=81)	2.5	7.4	9.9	8.6	4.9	2.5
50歳代 (n=107)	2.8	8.4	10.3	14.0	9.3	2.8
60歳代 (n=110)	2.7	13.6	6.4	6.4	2.7	2.7
70歳以上 (n=122)	3.3	13.9	9.0	14.8	6.6	1.6

② 生涯学習について

質問 2 (1) あなたは生涯学習の必要性についてどのように考えていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(%)

	非常に必要 なことで ある	必要な こと である	それほど 必要 な こと で ない	わからない	無回答
全体 (n=561)	26.9	58.6	6.8	7.5	0.2
18・19歳、20歳代 (n=64)	34.4	53.1	6.3	6.3	-
30歳代 (n=75)	22.7	60.0	10.7	6.7	-
40歳代 (n=81)	21.0	63.0	4.9	11.1	-
50歳代 (n=107)	29.9	57.9	5.6	5.6	0.9
60歳代 (n=110)	21.8	64.5	6.4	7.3	-
70歳以上 (n=122)	30.3	54.1	7.4	8.2	-

【質問 2（1）で「非常に必要なことである」「必要なことである」と回答した人のみ】

質問 2（2） それほどの理由からですか。主なものを 3 つ以内で選んでください。

(%)

	趣味を見つけて生きがいを持つため	健康維持・向上のため	自由時間（余暇）の活用や充実のため	同好の仲間作り、新しい人との出会いや交流のため	社会や文化への理解を深めるため	知識や技術を身につけるため	その他	無回答
全体 (n=480)	61.3	59.8	54.8	51.5	31.5	26.3	1.3	-
18・19歳、20歳代 (n=56)	48.2	48.2	55.4	51.8	53.6	26.8	-	-
30歳代 (n=62)	50.0	56.5	61.3	48.4	32.3	35.5	1.6	-
40歳代 (n=68)	57.4	57.4	47.1	58.8	25.0	30.9	1.5	-
50歳代 (n=94)	68.1	64.9	48.9	46.8	27.7	33.0	3.2	-
60歳代 (n=95)	65.3	61.1	60.0	56.8	24.2	17.9	-	-
70歳以上 (n=103)	68.0	65.0	55.3	48.5	34.0	18.4	1.0	-

質問 3（1） あなたは今までに生涯学習活動（学習、趣味、スポーツ、ボランティア等の活動）をしたいと思った時、それを実践することができましたか。あてはまるものを 1 つ選んでください。

(%)

	よくできた	ある程度できた	できなかった	無回答
全体 (n=561)	10.5	47.4	40.6	1.4
18・19歳、20歳代 (n=64)	20.3	53.1	25.0	1.6
30歳代 (n=75)	8.0	48.0	44.0	-
40歳代 (n=81)	6.2	43.2	50.6	-
50歳代 (n=107)	4.7	43.0	50.5	1.9
60歳代 (n=110)	9.1	45.5	43.6	1.8
70歳以上 (n=122)	15.6	52.5	29.5	2.5

【質問 3（1）で「できなかった」と回答した人のみ】

質問 3（2） それほどの理由からですか。あてはまるものを 3 つ以内で選んでください。

(%)

	実施しているのかわからないのか分からない（情報不足）	時間が合わない	必要などきにやっていない	費用が高すぎる	内容が合わない（簡単すぎる、難すぎる等）	やりたい内容を実施していない	場所が遠すぎる	募集人員が合わない（少なすぎる、多すぎる）
全体 (n=228)	57.0	60.1	15.4	10.1	15.4	22.4	10.5	3.9
18・19歳、20歳代 (n=16)	68.8	31.3	12.5	12.5	12.5	12.5	6.3	6.3
30歳代 (n=33)	51.5	60.6	12.1	15.2	12.1	30.3	3.0	3.0
40歳代 (n=41)	51.2	61.0	12.2	19.5	14.6	17.1	7.3	-
50歳代 (n=54)	55.6	72.2	18.5	11.1	13.0	14.8	9.3	5.6
60歳代 (n=48)	64.6	66.7	16.7	4.2	16.7	29.2	10.4	2.1
70歳以上 (n=36)	55.6	44.4	16.7	-	22.2	27.8	25.0	8.3

	その他	無回答
全体 (n=228)	8.8	2.6
18・19歳、20歳代 (n=16)	-	-
30歳代 (n=33)	24.2	-
40歳代 (n=41)	-	2.4
50歳代 (n=54)	5.6	1.9
60歳代 (n=48)	8.3	-
70歳以上 (n=36)	13.9	11.1

③ 生涯学習活動について

質問4（1） あなたはここ2～3年間で、生涯学習活動（学習、趣味、スポーツ、ボランティア等の活動）をしていますか。あてはまるものを1つ選んでください（新型コロナウイルス感染症拡大前の状況でお答えください）。

(%)

	している	していない	無回答
全体 (n=561)	42.6	55.6	1.8
18・19歳、20歳代 (n=64)	53.1	45.3	1.6
30歳代 (n=75)	33.3	65.3	1.3
40歳代 (n=81)	44.4	55.6	-
50歳代 (n=107)	39.3	59.8	0.9
60歳代 (n=110)	40.0	58.2	1.8
70歳以上 (n=122)	46.7	50.0	3.3

【質問4（1）で「している」と回答した人のみ】

質問4（2） それはどのような学習に参加していますか。主なものを3つ以内で選んでください。

(%)

	県や市主催の講座等	公民館主催の講座等	学校開放講座（形原小学校・中学校・塩津中学校・三谷中学校で実施）	出前講座（市職員が地域などで行う講座）	学校や地域主催の講座等	民間の学習機関主催の講座等	市民団体・グループが主催の講座等	教室・クラブ・サークル等のグループでの自主学習・活動
全体 (n=239)	18.8	18.0	5.9	3.3	10.5	10.9	14.2	54.8
18・19歳、20歳代 (n=34)	11.8	2.9	5.9	-	17.6	5.9	-	64.7
30歳代 (n=25)	16.0	4.0	4.0	4.0	16.0	12.0	4.0	28.0
40歳代 (n=36)	22.2	8.3	8.3	2.8	5.6	19.4	11.1	44.4
50歳代 (n=42)	14.3	11.9	4.8	-	11.9	11.9	16.7	64.3
60歳代 (n=44)	25.0	27.3	4.5	4.5	6.8	9.1	20.5	61.4
70歳以上 (n=57)	21.1	36.8	7.0	7.0	8.8	7.0	22.8	56.1

	自宅や図書館など近くの公共施設等における個人学習・活動	その他	無回答
全体 (n=239)	30.1	6.7	0.8
18・19歳、20歳代 (n=34)	44.1	5.9	2.9
30歳代 (n=25)	52.0	8.0	-
40歳代 (n=36)	22.2	5.6	-
50歳代 (n=42)	21.4	14.3	-
60歳代 (n=44)	29.5	4.5	-
70歳以上 (n=57)	22.8	3.5	1.8

【質問4（1）で「している」と回答した人のみ】

質問4（3） それほどのような内容ですか。主なものを3つ以内で選んでください。

(%)

	趣味・教養・実技に関するもの	外国語の学習など国際交流に関するもの	歴史・伝統芸能・芸術に関するもの	職業・資格取得に関するもの	地球環境の保護に関するもの	ボランティアに関するもの	育児・家庭教育・学校教育など子どもに関するもの	スポーツ・レクリエーションに関するもの
全体 (n=239)	60.7	4.6	11.7	8.4	2.9	15.9	6.3	50.2
18・19歳、20歳代 (n=34)	61.8	11.8	8.8	17.6	2.9	8.8	-	50.0
30歳代 (n=25)	72.0	-	8.0	16.0	-	4.0	28.0	36.0
40歳代 (n=36)	50.0	-	5.6	8.3	-	5.6	8.3	55.6
50歳代 (n=42)	47.6	7.1	9.5	9.5	7.1	21.4	4.8	61.9
60歳代 (n=44)	61.4	6.8	15.9	2.3	2.3	20.5	6.8	45.5
70歳以上 (n=57)	70.2	1.8	17.5	1.8	3.5	24.6	-	49.1

	保健・福祉・医療に関するもの	消費生活など生活に関するもの	お祭りなど多くの市民が参加できる行事・イベントに関するもの	心(ストレス)の問題等に関するもの	地震や自然災害等の防災に関するもの	その他	無回答
全体 (n=239)	5.4	2.5	12.1	4.6	2.1	-	0.8
18・19歳、20歳代 (n=34)	5.9	-	5.9	5.9	-	-	-
30歳代 (n=25)	-	8.0	8.0	8.0	4.0	-	-
40歳代 (n=36)	5.6	-	11.1	5.6	-	-	-
50歳代 (n=42)	2.4	-	19.0	2.4	-	-	-
60歳代 (n=44)	9.1	-	13.6	-	2.3	-	2.3
70歳以上 (n=57)	7.0	7.0	12.3	7.0	5.3	-	1.8

【質問4（1）で「していない」と回答した人のみ】

質問4（4） なぜしていないのか、あてはまるものを1つ選んでください。

(%)

	時間が少ない	何をすればいいのか分からない	興味のある学習がない	生涯学習に関する情報が不足している	その他	したくない・必要がない	無回答
全体 (n=312)	40.7	16.7	12.5	11.5	8.3	7.7	2.6
18・19歳、20歳代 (n=29)	51.7	20.7	13.8	10.3	3.4	-	-
30歳代 (n=49)	49.0	22.4	8.2	6.1	4.1	10.2	-
40歳代 (n=45)	57.8	13.3	2.2	11.1	2.2	11.1	2.2
50歳代 (n=64)	45.3	20.3	15.6	6.3	7.8	4.7	-
60歳代 (n=64)	32.8	9.4	12.5	25.0	7.8	9.4	3.1
70歳以上 (n=61)	19.7	16.4	19.7	8.2	19.7	8.2	8.2

質問5 あなたは今後どのような内容の学習をしたいと思いますか。主なものを3つ以内で選んでください。

(%)

	趣味・教養・実技に関するもの	外国語の学習など国際交流に関するもの	歴史・伝統芸能・芸術に関するもの	職業・資格取得に関するもの	地球環境の保護に関するもの	ボランティアに関するもの	育児・家庭教育・学校教育など子どもに関するもの	スポーツ・レクリエーションに関するもの
全体 (n=561)	59.2	15.9	16.2	18.0	10.5	11.6	8.2	29.9
18・19歳、20歳代 (n=64)	42.2	32.8	15.6	40.6	7.8	12.5	12.5	25.0
30歳代 (n=75)	61.3	20.0	8.0	32.0	6.7	8.0	32.0	30.7
40歳代 (n=81)	54.3	19.8	13.6	18.5	8.6	11.1	4.9	39.5
50歳代 (n=107)	71.0	20.6	21.5	20.6	9.3	11.2	5.6	29.0
60歳代 (n=110)	64.5	10.9	19.1	8.2	14.5	12.7	3.6	31.8
70歳以上 (n=122)	54.9	2.5	16.4	3.3	13.1	13.1	-	25.4

	保健・福祉・医療に関するもの	消費生活など生活に関するもの	お祭りなど多くの市民が参加できる行事・イベントに関するもの	心(ストレス)の問題等に関するもの	地震や自然災害等の防災に関するもの	その他	無回答
全体 (n=561)	14.1	9.4	11.4	12.8	15.2	1.8	4.5
18・19歳、20歳代 (n=64)	10.9	-	15.6	7.8	10.9	-	1.6
30歳代 (n=75)	6.7	8.0	10.7	14.7	16.0	2.7	1.3
40歳代 (n=81)	11.1	6.2	14.8	11.1	11.1	3.7	1.2
50歳代 (n=107)	12.1	8.4	8.4	12.1	17.8	0.9	2.8
60歳代 (n=110)	16.4	14.5	13.6	15.5	16.4	0.9	1.8
70歳以上 (n=122)	22.1	13.9	8.2	13.1	16.4	2.5	13.1

質問6 新型コロナウイルス感染症が終息または対策がされているとした上で、あなたが市の講座・教室を受けようとするとき、何を一番に重視して考えますか。1つ選んでください。

(%)

	都合の良い時間に学ぶことができる	たくさんの種類があり、希望の学習が選択できる	学習費用が安い	近くの施設で学習できる	継続して学ぶ機会がある	託児サービスがある	その他	無回答
全体 (n=561)	35.1	21.0	14.6	15.9	6.8	1.1	1.4	4.1
18・19歳、20歳代 (n=64)	31.3	25.0	17.2	14.1	7.8	1.6	1.6	1.6
30歳代 (n=75)	29.3	22.7	24.0	10.7	4.0	5.3	2.7	1.3
40歳代 (n=81)	44.4	19.8	19.8	4.9	7.4	1.2	1.2	1.2
50歳代 (n=107)	43.9	20.6	12.1	15.0	6.5	-	0.9	0.9
60歳代 (n=110)	37.3	22.7	11.8	16.4	7.3	-	0.9	3.6
70歳以上 (n=122)	25.4	17.2	9.0	27.9	7.4	-	1.6	11.5

質問 7 あなたはどのような方法で学習情報を得ていますか。主なものを 2 つ以内で選んでください。

(%)

	広報がまごおり	公民館だより・回覧板	生涯学習課発行の情報誌	公民館等身近な施設のポスター・チラシ・パンフレット	テレビ（ケーブルテレビ含む）・ラジオ	新聞・雑誌	メール配信サービス	市のホームページ
全体 (n=561)	62.7	28.9	1.2	8.0	8.0	11.6	3.7	7.5
18・19歳、20歳代 (n=64)	43.8	18.8	1.6	4.7	9.4	9.4	1.6	9.4
30歳代 (n=75)	65.3	18.7	-	8.0	9.3	9.3	5.3	8.0
40歳代 (n=81)	61.7	18.5	-	6.2	6.2	4.9	6.2	12.3
50歳代 (n=107)	73.8	25.2	1.9	10.3	3.7	10.3	4.7	5.6
60歳代 (n=110)	70.0	32.7	2.7	10.0	11.8	13.6	3.6	8.2
70歳以上 (n=122)	55.7	47.5	0.8	7.4	8.2	18.0	1.6	4.1

	SNS	友人・知人などからの口コミ	その他	無回答
全体 (n=561)	9.8	23.5	3.6	2.3
18・19歳、20歳代 (n=64)	37.5	25.0	1.6	1.6
30歳代 (n=75)	10.7	16.0	9.3	4.0
40歳代 (n=81)	8.6	27.2	2.5	1.2
50歳代 (n=107)	10.3	23.4	4.7	-
60歳代 (n=110)	2.7	21.8	1.8	-
70歳以上 (n=122)	0.8	27.0	1.6	6.6

質問 8 (1) インターネットを利用したオンライン講座などで関心のある講座が開催された場合、参加したいと思いますか。1 つ選んでください。

(%)

	参加したい	参加しない	わからない	無回答
全体 (n=561)	21.2	31.9	45.1	1.8
18・19歳、20歳代 (n=64)	23.4	15.6	60.9	-
30歳代 (n=75)	29.3	33.3	36.0	1.3
40歳代 (n=81)	17.3	28.4	54.3	-
50歳代 (n=107)	28.0	18.7	53.3	-
60歳代 (n=110)	20.0	35.5	44.5	-
70歳以上 (n=122)	11.5	50.8	30.3	7.4



プログラミング体験講座

【質問 8 (1) で「参加しない」と回答した人のみ】

質問 8 (2) それほどの理由ですか。主なものを 3 つ以内で選んでください。

(%)

	インター ネット環境 がない	パソコンや タブレット がない	参加方 法・操作 方法がわ からない	自宅だと やる気が 持続しな い	講座を通 じた講師 や受講生 同士の交 友関係が 築けない	個人情報 などセキュ リティに不 安がある	関心がな い	その他
全体 (n=179)	36.3	33.5	35.2	26.8	21.8	22.3	29.1	4.5
18・19歳、20歳代 (n=10)	20.0	10.0	20.0	50.0	40.0	10.0	40.0	-
30歳代 (n=25)	20.0	12.0	20.0	36.0	20.0	28.0	28.0	12.0
40歳代 (n=23)	8.7	26.1	17.4	43.5	30.4	13.0	30.4	-
50歳代 (n=20)	30.0	30.0	15.0	25.0	15.0	35.0	35.0	-
60歳代 (n=39)	43.6	46.2	51.3	17.9	20.5	23.1	28.2	5.1
70歳以上 (n=62)	53.2	41.9	46.8	19.4	19.4	21.0	25.8	4.8

	無回答
全体 (n=179)	1.1
18・19歳、20歳代 (n=10)	-
30歳代 (n=25)	-
40歳代 (n=23)	-
50歳代 (n=20)	-
60歳代 (n=39)	5.1
70歳以上 (n=62)	-



「蒲郡ミュージッキング」練習風景



親子スイーツ教室

④ 生涯学習関連施設について

質問 9 (1) あなたはここ2～3年間で、市内の下記の施設を利用したことがありますか。利用した施設のうち、主なものを5つ以内で選んでください（新型コロナウイルス感染症拡大前の状況でお答えください）。

(%)

	公民館	市民会館	図書館	博物館	市民体育センター (野外も含む)	蒲郡文化広場	公園グラウンド (野球場・陸上競技場)	野外・運動施設 (野球場・テニスコート・さがらの森等)
全体 (n=561)	28.7	29.8	33.7	9.3	16.2	2.9	5.7	7.3
18・19歳、20歳代 (n=64)	10.9	29.7	40.6	9.4	28.1	1.6	10.9	6.3
30歳代 (n=75)	18.7	14.7	52.0	5.3	9.3	2.7	2.7	9.3
40歳代 (n=81)	22.2	30.9	43.2	12.3	27.2	2.5	14.8	12.3
50歳代 (n=107)	24.3	31.8	27.1	4.7	16.8	3.7	5.6	2.8
60歳代 (n=110)	40.0	33.6	26.4	7.3	12.7	2.7	2.7	7.3
70歳以上 (n=122)	42.6	32.8	25.4	15.6	9.8	3.3	1.6	7.4

	地域の公園・運動広場	学校施設 (体育館・運動場・特別教室)	竹島水族館	海辺の文学記念館	生命の海科学館	勤労福祉会館	生きがいセンター	老人福祉センター「寿楽荘」
全体 (n=561)	21.7	10.0	26.9	3.2	9.6	7.5	4.6	1.2
18・19歳、20歳代 (n=64)	28.1	17.2	31.3	3.1	9.4	1.6	-	-
30歳代 (n=75)	45.3	6.7	42.7	2.7	28.0	5.3	1.3	1.3
40歳代 (n=81)	11.1	17.3	22.2	2.5	8.6	3.7	6.2	-
50歳代 (n=107)	15.9	3.7	17.8	2.8	5.6	4.7	-	-
60歳代 (n=110)	20.9	10.9	30.9	2.7	2.7	8.2	6.4	1.8
70歳以上 (n=122)	17.2	8.2	23.0	4.9	9.0	16.4	10.7	3.3

	ユトリーナ蒲郡	児童館	デイサービスセンター	民間のカルチャーセンター	利用していない	その他	無回答
全体 (n=561)	5.2	7.8	1.8	2.5	17.5	1.6	4.1
18・19歳、20歳代 (n=64)	3.1	4.7	-	3.1	17.2	1.6	-
30歳代 (n=75)	8.0	26.7	-	-	10.7	-	2.7
40歳代 (n=81)	3.7	11.1	-	-	14.8	2.5	2.5
50歳代 (n=107)	5.6	2.8	1.9	5.6	28.0	1.9	2.8
60歳代 (n=110)	5.5	4.5	1.8	2.7	17.3	0.9	4.5
70歳以上 (n=122)	4.9	3.3	4.9	2.5	14.8	2.5	8.2



蒲郡市生命の海科学館

【質問9（1）で「利用していない」と回答した人のみ】

質問9（2） それはどのような理由からですか。主なものを2つ以内で選んでください。

(%)

	施設に魅力がない	施設の催し物に魅力がない	一緒に行く仲間がいない	開館時間に行けない	どこにどんな施設があるか分からない	託児サービスがない	施設が遠くて不便	駐車場がない・少ない
全体 (n=98)	11.2	22.4	21.4	17.3	14.3	-	4.1	1.0
18・19歳、20歳代 (n=11)	27.3	18.2	9.1	18.2	18.2	-	9.1	-
30歳代 (n=8)	12.5	37.5	25.0	12.5	-	-	-	-
40歳代 (n=12)	25.0	8.3	25.0	8.3	25.0	-	-	-
50歳代 (n=30)	10.0	26.7	30.0	16.7	6.7	-	6.7	3.3
60歳代 (n=19)	5.3	31.6	15.8	42.1	15.8	-	5.3	-
70歳以上 (n=18)	-	11.1	16.7	-	22.2	-	-	-

	利用したいと思わない	その他	無回答
全体 (n=98)	35.7	12.2	4.1
18・19歳、20歳代 (n=11)	18.2	9.1	-
30歳代 (n=8)	62.5	25.0	-
40歳代 (n=12)	41.7	-	8.3
50歳代 (n=30)	26.7	6.7	3.3
60歳代 (n=19)	31.6	15.8	-
70歳以上 (n=18)	50.0	22.2	11.1

質問10 生涯学習センターを設置する場合、あなたはどのようなセンターを必要だと思いますか。主なものを3つ以内で選んでください。

(%)

	多様かつ高度な（大学の講座など）講座や催しが実施されている	各種の創作活動（音楽練習、調理、パソコン等）が実施できる	学習に関する多様な情報が得られる	本格的な音楽、演劇等が鑑賞できる	展示など市民の発表の場所がある	市民が自由に活用できる場所がある	安心して学習できる託児機能がある	学習について相談ができる場所がある
全体 (n=561)	22.8	41.5	26.2	26.2	15.9	50.4	14.3	15.3
18・19歳、20歳代 (n=64)	31.3	51.6	26.6	23.4	9.4	48.4	17.2	17.2
30歳代 (n=75)	21.3	32.0	30.7	24.0	8.0	50.7	36.0	14.7
40歳代 (n=81)	23.5	35.8	21.0	25.9	4.9	50.6	11.1	18.5
50歳代 (n=107)	30.8	46.7	30.8	30.8	14.0	43.9	11.2	15.9
60歳代 (n=110)	19.1	43.6	22.7	30.0	24.5	58.2	13.6	12.7
70歳以上 (n=122)	14.8	39.3	26.2	22.1	25.4	50.8	4.9	14.8

	その他	設置する必要はない。	無回答
全体 (n=561)	2.7	4.6	4.6
18・19歳、20歳代 (n=64)	4.7	3.1	-
30歳代 (n=75)	4.0	9.3	2.7
40歳代 (n=81)	2.5	6.2	1.2
50歳代 (n=107)	1.9	2.8	3.7
60歳代 (n=110)	0.9	6.4	0.9
70歳以上 (n=122)	3.3	1.6	13.9

⑤ 文化芸術について

質問 11 (1) あなたがここ2～3年間で、鑑賞したり体験したりした文化芸術はどれですか。主なものを5つ以内で選んでください（新型コロナウイルス感染症拡大前の状況でお答えください）。

(%)

	クラシック音楽 (吹奏楽、管弦楽など)	ポピュラー音楽 (ポップス、ジャズ、ロックなど)	美術 (絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など)	演劇 (現代劇、ミュージカルなど)	バレエ、ダンス	伝統芸能 (歌舞伎、文楽、能、狂言など)	地域の伝統芸能 (山車行事、神楽、チャラボコ、民謡、七福神踊りなど)	琴、三味線、尺八
全体 (n=561)	18.0	22.6	21.2	13.2	4.5	6.1	17.3	3.9
18・19歳、20歳代 (n=64)	21.9	31.3	14.1	18.8	7.8	1.6	15.6	3.1
30歳代 (n=75)	10.7	33.3	25.3	10.7	6.7	2.7	8.0	2.7
40歳代 (n=81)	16.0	18.5	7.4	11.1	3.7	3.7	13.6	2.5
50歳代 (n=107)	14.0	25.2	20.6	19.6	6.5	5.6	17.8	2.8
60歳代 (n=110)	21.8	20.9	28.2	14.5	1.8	4.5	27.3	4.5
70歳以上 (n=122)	21.3	13.1	25.4	6.6	2.5	13.9	17.2	6.6

	日本舞踊	写真	映画、映像	茶道、華道	文学 (小説、詩、俳句、短歌など)	書道	演芸 (落語、講談、漫才など)	ポップカルチャー (アニメ、コスプレなど)
全体 (n=561)	2.0	9.4	40.3	7.1	11.1	6.2	7.7	8.2
18・19歳、20歳代 (n=64)	-	15.6	62.5	6.3	21.9	6.3	1.6	26.6
30歳代 (n=75)	-	5.3	57.3	2.7	12.0	4.0	5.3	20.0
40歳代 (n=81)	1.2	4.9	48.1	3.7	7.4	6.2	4.9	3.7
50歳代 (n=107)	0.9	4.7	39.3	4.7	9.3	3.7	8.4	7.5
60歳代 (n=110)	4.5	11.8	39.1	10.0	10.0	5.5	10.0	2.7
70歳以上 (n=122)	3.3	13.9	14.8	12.3	9.8	10.7	11.5	-

	その他	鑑賞しなかった、鑑賞できなかった	無回答
全体 (n=561)	1.6	22.3	5.7
18・19歳、20歳代 (n=64)	1.6	10.9	1.6
30歳代 (n=75)	1.3	20.0	1.3
40歳代 (n=81)	-	24.7	1.2
50歳代 (n=107)	0.9	31.8	2.8
60歳代 (n=110)	1.8	20.9	4.5
70歳以上 (n=122)	2.5	21.3	16.4

【質問 11（1）で「鑑賞しなかった、鑑賞できなかった」と回答しなかった人のみ】

質問 11（2） 文化芸術を鑑賞したり体験したりした理由はなんですか。主なものを3つ以内で選んでください。

(%)

	自分が興味のある内容だったから	家族・友人などから誘われたから	無料（もしくは低料金）だったから	家族・友人などが出演・出品などをしているから	学校・地域行事として実施されたから	自宅の近くで開催していたから	その他	無回答
全体 (n=404)	82.4	35.1	14.1	23.3	11.6	15.1	1.5	2.2
18・19歳、20歳代 (n=56)	89.3	33.9	19.6	12.5	7.1	5.4	1.8	1.8
30歳代 (n=59)	83.1	25.4	10.2	18.6	5.1	18.6	-	5.1
40歳代 (n=60)	80.0	26.7	6.7	20.0	10.0	8.3	-	1.7
50歳代 (n=70)	88.6	40.0	10.0	21.4	11.4	12.9	2.9	-
60歳代 (n=82)	81.7	41.5	18.3	26.8	17.1	17.1	2.4	1.2
70歳以上 (n=76)	73.7	38.2	18.4	35.5	15.8	25.0	1.3	3.9

【質問 11（1）で「鑑賞しなかった、鑑賞できなかった」と回答した人のみ】

質問 12 施設などで文化芸術を鑑賞したり、体験しなかった最も大きな理由はなんですか。

(%)

	興味のある内容の催し物がないから	仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞に出かける時間がないから	自分の都合のよい日時に開催されていないから	催し物の料金が高いから	催し物の情報が得られないから	文化芸術に興味がないから	施設がエレベーターやスロープの設置、車いす席の確保等、バリアフリー対策が不十分だから	その他
全体 (n=125)	32.8	28.8	11.2	0.8	8.8	7.2	0.8	5.6
18・19歳、20歳代 (n=7)	71.4	-	28.6	-	-	-	-	-
30歳代 (n=15)	6.7	40.0	13.3	6.7	6.7	-	-	26.7
40歳代 (n=20)	30.0	35.0	5.0	-	-	25.0	-	-
50歳代 (n=34)	38.2	32.4	11.8	-	5.9	-	-	5.9
60歳代 (n=23)	34.8	34.8	8.7	-	8.7	8.7	-	-
70歳以上 (n=26)	30.8	15.4	11.5	-	23.1	7.7	3.8	3.8

	無回答
全体 (n=125)	4.0
18・19歳、20歳代 (n=7)	-
30歳代 (n=15)	-
40歳代 (n=20)	5.0
50歳代 (n=34)	5.9
60歳代 (n=23)	4.3
70歳以上 (n=26)	3.8

質問 13 自らが文化芸術活動を行うことに興味・関心がありますか。

(%)

	ある	ない	無回答
全体 (n=561)	34.6	57.0	8.4
18・19歳、20歳代 (n=64)	40.6	59.4	-
30歳代 (n=75)	32.0	66.7	1.3
40歳代 (n=81)	29.6	66.7	3.7
50歳代 (n=107)	38.3	56.1	5.6
60歳代 (n=110)	35.5	56.4	8.2
70歳以上 (n=122)	32.0	45.9	22.1

【質問 13 で「ある」と回答した人のみ】

質問 14 新型コロナウイルスによる影響を除きあなたは継続的に何らかの文化芸術活動を行っていますか。

(%)

	行っている	行っていない	無回答
全体 (n=194)	41.8	54.6	3.6
18・19歳、20歳代 (n=26)	38.5	61.5	-
30歳代 (n=24)	4.2	91.7	4.2
40歳代 (n=24)	37.5	62.5	-
50歳代 (n=41)	31.7	65.9	2.4
60歳代 (n=39)	56.4	38.5	5.1
70歳以上 (n=39)	64.1	28.2	7.7



蒲郡市吹奏楽団 サマーコンサート

【質問 14 で「行っている」と回答した人のみ】

質問 15 (1) あなたが行っている文化芸術活動のジャンルはなんですか。主なものを 5 つ以内で選んでください。

(%)

	クラシック音楽 (吹奏楽、管弦楽など)	ポピュラー音楽 (ポップス、ジャズ、ロックなど)	美術 (絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など)	演劇 (現代劇、ミュージカルなど)	バレエ、ダンス	伝統芸能 (歌舞伎、文楽、能、狂言)	地域の伝統芸能 (山車行事、神楽、チャラボコ、民謡、七福神踊りなど)	琴、三味線、尺八
全体 (n=81)	17.3	18.5	28.4	3.7	3.7	3.7	19.8	4.9
18・19歳、20歳代 (n=10)	30.0	40.0	-	-	-	-	10.0	-
30歳代 (n=1)	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
40歳代 (n=9)	33.3	22.2	-	11.1	-	-	22.2	-
50歳代 (n=13)	7.7	15.4	15.4	15.4	15.4	7.7	38.5	7.7
60歳代 (n=22)	9.1	9.1	27.3	-	-	-	18.2	9.1
70歳以上 (n=25)	16.0	12.0	52.0	-	4.0	8.0	16.0	4.0

	日本舞踊	写真	映画・映像	茶道、華道	文学 (小説、詩、俳句、短歌など)	書道	演芸 (落語、講談、漫才など)	ポップカルチャー (アニメ、コスプレなど)
全体 (n=81)	1.2	9.9	11.1	14.8	9.9	11.1	1.2	4.9
18・19歳、20歳代 (n=10)	-	30.0	20.0	30.0	10.0	-	-	20.0
30歳代 (n=1)	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0
40歳代 (n=9)	-	-	11.1	22.2	11.1	33.3	-	-
50歳代 (n=13)	-	7.7	15.4	7.7	-	7.7	-	7.7
60歳代 (n=22)	4.5	4.5	-	13.6	4.5	13.6	4.5	-
70歳以上 (n=25)	-	8.0	8.0	12.0	20.0	8.0	-	-

	その他	無回答
全体 (n=81)	13.6	1.2
18・19歳、20歳代 (n=10)	10.0	-
30歳代 (n=1)	-	-
40歳代 (n=9)	-	-
50歳代 (n=13)	7.7	-
60歳代 (n=22)	13.6	-
70歳以上 (n=25)	24.0	4.0

【質問 14 で「行っている」と回答した人のみ】

質問 15 (2) 活動を始めた理由はなんですか。主なものを 3 つ以内で選んでください。

(%)

	もともと好きだった、物心ついたときには始めていた	家族・友人などから誘われたから	家族・友人などが出演・出品などをしているから	自宅の近くで開催していたから	学校行事で鑑賞・体験したから	学校の部活動や同好会に参加したから	メディア（テレビ、本、インターネットなど）を通じて興味を持ったから	その他
全体 (n=81)	60.5	30.9	12.3	21.0	4.9	7.4	14.8	12.3
18・19歳、20歳代 (n=10)	60.0	40.0	10.0	-	10.0	30.0	20.0	10.0
30歳代 (n=1)	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
40歳代 (n=9)	66.7	33.3	11.1	22.2	-	11.1	11.1	-
50歳代 (n=13)	61.5	23.1	7.7	30.8	7.7	-	15.4	23.1
60歳代 (n=22)	59.1	31.8	9.1	27.3	4.5	-	13.6	9.1
70歳以上 (n=25)	60.0	28.0	20.0	20.0	4.0	8.0	8.0	16.0

	無回答
全体 (n=81)	3.7
18・19歳、20歳代 (n=10)	-
30歳代 (n=1)	-
40歳代 (n=9)	-
50歳代 (n=13)	-
60歳代 (n=22)	4.5
70歳以上 (n=25)	8.0

【質問 14 で「行っている」と回答した人のみ】

質問 15 (3) 新型コロナウイルス感染症による影響を除き、活動する際の不満や不便な点はなんですか。

主なものを 3 つ以内で選んでください。

(%)

	練習・制作のための場所がない・少ない	発表の場がない・少ない	活動に必要な費用が高額である	新規加入者が少ない	指導者が少ない	その他	無回答
全体 (n=81)	32.1	32.1	17.3	39.5	8.6	6.2	16.0
18・19歳、20歳代 (n=10)	50.0	30.0	50.0	-	-	10.0	10.0
30歳代 (n=1)	-	-	100.0	-	-	-	-
40歳代 (n=9)	44.4	22.2	22.2	33.3	-	-	22.2
50歳代 (n=13)	7.7	46.2	15.4	53.8	7.7	15.4	7.7
60歳代 (n=22)	31.8	22.7	18.2	40.9	13.6	4.5	18.2
70歳以上 (n=25)	36.0	40.0	-	52.0	8.0	4.0	20.0

【質問 14 で「行っていない」と回答した人のみ】

質問 16 興味・関心があるが文化芸術活動を行っていないのはどのような理由からですか。あてはまるものを3つ以内で選んでください。

(%)

	必要なときにやっていない	時間が合わない	費用が高すぎる	場所が遠すぎる	内容が合わない (簡単すぎる、難しすぎる等)	募集人員が合わない(少ないすぎる、多すぎる)	やりたい内容を実施していない	実施しているのか分からない (情報不足)
全体 (n=106)	17.0	61.3	17.0	7.5	12.3	2.8	12.3	38.7
18・19歳、20歳代 (n=16)	-	56.3	31.3	12.5	6.3	-	6.3	37.5
30歳代 (n=22)	27.3	72.7	22.7	9.1	4.5	-	13.6	36.4
40歳代 (n=15)	13.3	60.0	20.0	-	-	-	13.3	46.7
50歳代 (n=27)	18.5	74.1	11.1	3.7	14.8	7.4	11.1	33.3
60歳代 (n=15)	26.7	53.3	6.7	13.3	26.7	6.7	13.3	26.7
70歳以上 (n=11)	9.1	27.3	9.1	9.1	27.3	-	18.2	63.6

	その他	無回答
全体 (n=106)	6.6	6.6
18・19歳、20歳代 (n=16)	6.3	6.3
30歳代 (n=22)	18.2	-
40歳代 (n=15)	6.7	-
50歳代 (n=27)	3.7	3.7
60歳代 (n=15)	-	20.0
70歳以上 (n=11)	-	18.2

質問 17 あなたは日常生活の中で、優れた文化芸術を鑑賞したり、自ら活動を行うことの必要性についてどのように考えていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(%)

	非常に必要なことである	必要なことである	それほど必要なことではない	わからない	無回答
全体 (n=561)	14.3	29.9	7.3	6.6	41.9
18・19歳、20歳代 (n=64)	23.4	29.7	7.8	4.7	34.4
30歳代 (n=75)	10.7	22.7	10.7	2.7	53.3
40歳代 (n=81)	12.3	23.5	6.2	7.4	50.6
50歳代 (n=107)	14.0	23.4	6.5	3.7	52.3
60歳代 (n=110)	11.8	38.2	7.3	6.4	36.4
70歳以上 (n=122)	15.6	36.9	6.6	12.3	28.7

質問 18 新型コロナウイルス感染症が終息または対策がされているとした上で、蒲郡市の文化芸術を振興するために、市が積極的に取り組むべき分野はどのようなことだと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(%)

	芸術家や文化団体の活動の支援	若手芸術家の活動の支援	市民会館や博物館などにおける地域の芸術家の積極的な活用	公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実	子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実	市民会館や博物館などの文化施設の充実	歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進	地域の芸術や祭りなどの継承・保存
全体 (n=561)	4.3	1.8	4.1	11.9	15.0	7.7	1.6	6.8
18・19歳、20歳代 (n=64)	10.9	6.3	3.1	9.4	18.8	6.3	-	9.4
30歳代 (n=75)	2.7	-	2.7	2.7	24.0	2.7	2.7	5.3
40歳代 (n=81)	1.2	1.2	2.5	7.4	13.6	8.6	3.7	6.2
50歳代 (n=107)	3.7	0.9	0.9	14.0	9.3	4.7	0.9	10.3
60歳代 (n=110)	1.8	1.8	6.4	12.7	16.4	9.1	-	5.5
70歳以上 (n=122)	6.6	1.6	7.4	18.9	12.3	12.3	2.5	4.9

	地域の文化に関わる情報の提供	障害の有無に関わらず、文化芸術を鑑賞・参加できるサポートの充実	その他	無回答
全体 (n=561)	2.5	3.6	1.1	39.8
18・19歳、20歳代 (n=64)	3.1	-	-	32.8
30歳代 (n=75)	1.3	2.7	4.0	49.3
40歳代 (n=81)	2.5	4.9	-	48.1
50歳代 (n=107)	1.9	1.9	-	51.4
60歳代 (n=110)	2.7	3.6	2.7	37.3
70歳以上 (n=122)	3.3	6.6	-	23.8



蒲郡市文化協会 市民文化祭

⑥ 生涯学習のまちづくりについて

質問 19 あなたは将来の蒲郡をどのようにイメージしますか。イメージする順に 3 つ以内で選んでください。

(%)

	きれいな海・山・川について学び・守る「自然豊かなまち」	コンサート・展示会・スポーツ大会等「魅力的な催し物が開催されるまち」	農産物や水産物を工夫して育てたり加工して「おいしい食べ物がいっぱいあるまち」	市民一人ひとりが大切であることを学び「思いやりがあるやさしいまち」	子どもを市全体で育てる「子育てのまち」	市民一人ひとりが「趣味・スポーツ・ボランティアを実践しているまち」	高齢者が新たなステップを踏み出し社会活動を実践する「再チャレンジのまち」	花や木を学び・育てる「花と緑いっぱいのもち」
全体 (n=561)	32.8	31.7	27.5	24.1	19.1	18.7	17.8	17.5
18・19歳、20歳代 (n=64)	37.5	40.6	32.8	20.3	21.9	18.8	6.3	20.3
30歳代 (n=75)	30.7	28.0	32.0	14.7	32.0	6.7	8.0	14.7
40歳代 (n=81)	40.7	23.5	32.1	16.0	24.7	21.0	8.6	9.9
50歳代 (n=107)	32.7	31.8	29.0	29.9	11.2	23.4	26.2	16.8
60歳代 (n=110)	30.9	34.5	22.7	22.7	14.5	20.0	19.1	18.2
70歳以上 (n=122)	28.7	32.8	22.1	33.6	17.2	18.9	27.9	22.1

	いろいろな「趣味や学習のサークル・教室・クラブがたくさんあるまち」	市内各地区に「魅力的な学習場所があるまち」	「市民憲章（ひとづくり、まちづくり、いえづくり）を積極的に実践するまち」	市民と観光客が交流する「観光交流のまち」	いろいろな活動ができる「魅力的な生涯学習センターがあるまち」	音楽活動が盛んな「音楽を愛するまち」	わからない	その他
全体 (n=561)	16.2	13.0	10.0	9.6	7.3	3.9	5.5	1.8
18・19歳、20歳代 (n=64)	20.3	12.5	6.3	10.9	4.7	6.3	4.7	-
30歳代 (n=75)	20.0	10.7	4.0	9.3	6.7	4.0	9.3	4.0
40歳代 (n=81)	14.8	8.6	7.4	17.3	7.4	1.2	9.9	3.7
50歳代 (n=107)	15.0	10.3	16.8	9.3	6.5	4.7	1.9	0.9
60歳代 (n=110)	15.5	14.5	10.0	9.1	8.2	5.5	8.2	0.9
70歳以上 (n=122)	13.9	18.9	11.5	4.9	9.0	2.5	1.6	1.6

	無回答
全体 (n=561)	3.0
18・19歳、20歳代 (n=64)	-
30歳代 (n=75)	4.0
40歳代 (n=81)	1.2
50歳代 (n=107)	1.9
60歳代 (n=110)	2.7
70歳以上 (n=122)	5.7



みかん畑から蒲郡の街並みを望む

(2) 団体調査

① 団体の概要

質問 1 あなたの団体の分野についてあてはまるものを選んでください。

(%)

	趣味・ 娯楽 (囲碁、 将棋、 手芸、 工作、 カラオケ など)	語学・ 国際交流	歴史 (郷土史、 文化財 など)	伝統芸能 (歌舞伎、 文楽、能、 狂言など)	美術 (絵画、 工芸、 陶芸など)	舞踊 (民謡・ バレエ・ ダンス)	声楽・ 邦楽・ 洋楽	茶道・ 華道
全体 (n=298)	18.1	0.7	0.3	1.7	9.7	7.7	5.4	4.7
公民館 (n=248)	18.5	0.8	0.4	1.2	5.2	8.1	6.5	5.2
文化協会 (n=50)	16.0	-	-	4.0	32.0	6.0	-	2.0

	文学 (俳句、 短歌、詩、 詩吟など)	書道	料理	洋裁、 和裁、 着付け	子育て支 援 (育児、 家庭教育、 親子活動 など)	健康・ スポーツ	パソコン・ インター ネット関連	ボランティア 活動・地 域活動 (環境問 題、防災、 社会福祉 など)
全体 (n=298)	11.7	4.4	1.0	1.0	0.7	24.8	1.0	2.3
公民館 (n=248)	7.7	4.0	1.2	1.2	0.8	29.8	1.2	2.8
文化協会 (n=50)	32.0	6.0	-	-	-	-	-	-

	その他	無回答
全体 (n=298)	1.0	3.7
公民館 (n=248)	1.2	4.0
文化協会 (n=50)	-	2.0

質問 2 (1) 団体の会員数について、あてはまるものを1つを選んでください。

(%)

	1～10人	11～ 20人	21～ 30人	31～ 40人	41人以上	無回答
全体 (n=298)	52.0	27.2	7.0	4.0	7.0	2.7
公民館 (n=248)	51.2	30.2	7.7	4.4	3.6	2.8
文化協会 (n=50)	56.0	12.0	4.0	2.0	24.0	2.0

質問 2 (2) 会員の中でもっとも多い(活動が盛んな)年代について、あてはまるものを1つを選んでください。

(%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳	50歳代	60歳代	70歳代 以上	幅広い世 代でほぼ 均等
全体 (n=298)	5.7	0.3	0.3	0.3	3.4	19.8	64.1	2.7
公民館 (n=248)	5.6	0.4	0.4	0.4	4.0	18.5	64.1	2.8
文化協会 (n=50)	6.0	-	-	-	-	26.0	64.0	2.0

	無回答
全体 (n=298)	3.4
公民館 (n=248)	3.6
文化協会 (n=50)	2.0

質問 3 (1) あなたの団体が活動されている市内の施設について、主なものを3つ以内で選んでください。

(%)

	公民館	市民会館	図書館	博物館	市民体育センター (野外も含む)	蒲郡文化広場	公園グラウンド (野球場・陸上競技場)	野外・運動施設 (野球場・テニスコート・さがらの森等)
全体 (n=298)	87.2	23.2	1.0	5.7	4.0	2.0	0.7	1.0
公民館 (n=248)	89.9	18.1	1.2	2.4	4.8	1.2	0.8	1.2
文化協会 (n=50)	74.0	48.0	-	22.0	-	6.0	-	-

	地域の公園・運動広場	学校施設 (体育館・運動場・特別教室)	竹島水族館	海辺の文学記念館	生命の海科学館	勤労福祉会館	生きがいセンター	老人福祉センター 「寿楽荘」
全体 (n=298)	3.0	5.7	0.3	-	-	7.7	2.3	5.4
公民館 (n=248)	3.6	6.9	0.4	-	-	3.2	2.0	4.8
文化協会 (n=50)	-	-	-	-	-	30.0	4.0	8.0

	ユトリーナ蒲郡	児童館	デイサービスセンター	民間のカルチャーセンター	その他	利用していない	無回答
全体 (n=298)	-	1.7	3.7	0.3	3.4	0.3	2.7
公民館 (n=248)	-	2.0	4.0	-	3.6	-	2.8
文化協会 (n=50)	-	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

質問 3 (2) あなたの団体が利用されている施設的环境についてどのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(%)

	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答
全体 (n=298)	55.0	35.6	3.7	2.0	-	3.7
公民館 (n=248)	59.7	32.3	2.8	2.0	-	3.2
文化協会 (n=50)	32.0	52.0	8.0	2.0	-	6.0

② 活動の状況

質問 4 あなたの団体の活動年数について、あてはまるものを1つ選んでください。

(%)

	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上	無回答
全体 (n=298)	1.7	2.7	6.4	9.1	33.6	41.9	4.7
公民館 (n=248)	1.6	3.2	7.3	9.3	37.1	36.3	5.2
文化協会 (n=50)	2.0	-	2.0	8.0	16.0	70.0	2.0

質問 5 あなたの団体の活動回数について、あてはまるものを1つ選んでください（新型コロナウイルス感染症拡大前の状況でお答えください）。

(%)

	週2回以上	週に1回程度	月に2～3回程度	月に1回程度	年に数回程度	その他	無回答
全体 (n=298)	12.4	34.6	29.2	18.1	1.3	-	4.4
公民館 (n=248)	12.5	39.5	30.6	12.1	0.8	-	4.4
文化協会 (n=50)	12.0	10.0	22.0	48.0	4.0	-	4.0

質問 6 (1) 日頃の学習の成果を活用・発表していますか。あてはまるものを1つ選んでください（新型コロナウイルス感染症拡大前の状況でお答えください）。

(%)

	活用・発表している	活用・発表をしていない（検討を含む）	無回答
全体 (n=298)	74.8	20.8	4.4
公民館 (n=248)	71.0	24.2	4.8
文化協会 (n=50)	94.0	4.0	2.0

【質問 6 (1) で「活用・発表をしている」と回答した人のみ】

質問 6 (2) それはどのようなときですか。3つ以内で選んでください。

(%)

	公民館まつり	市の主催行事	団体独自の発表会・展示会	春の文協まつり、市民文化祭	地域（自治会や商店街など）の行事	小中学校の文化祭や高齢者施設での高齢者向けの行事	その他	無回答
全体 (n=223)	74.0	23.8	25.6	40.4	6.7	15.2	12.6	0.4
公民館 (n=176)	78.4	22.2	25.6	27.3	8.0	18.2	15.3	-
文化協会 (n=47)	57.4	29.8	25.5	89.4	2.1	4.3	2.1	2.1

【質問 6 (1) で「活用・発表をしていない」と回答した人のみ】

質問 6 (3) それはどのような理由ですか。3つ以内で選んでください。

(%)

	手法や方法がわからない	実施する場所がない	実施する費用がない	活用・発表をしたいと考えていない	現時点では成果が未熟で活用・発表できない	現在、活用・発表を検討中である	活動内容が発表などの活用に適さない	その他
全体 (n=62)	4.8	14.5	3.2	32.3	11.3	9.7	41.9	9.7
公民館 (n=60)	5.0	13.3	3.3	33.3	11.7	10.0	43.3	10.0
文化協会 (n=2)	-	50.0	-	-	-	-	-	-

	無回答
全体 (n=62)	22.6
公民館 (n=248)	21.7
文化協会 (n=2)	50.0

③ 活動上の課題

質問7 あなたの団体が現在抱える課題はどのようなものがありますか。主なものを3つ以内で選んでください
(新型コロナウイルス感染症拡大前の状況でお答えください)。

(%)

	会員数が減少している	会員数が増えすぎている	活動の費用が不足している	会員が高齢化している	活動・練習の場所が不足している	活動に必要な情報が不足している	他団体との交流が少ない	学習の成果を活用・発表する機会が少ない
全体 (n=298)	56.4	1.0	5.0	62.4	4.0	0.3	5.0	4.0
公民館 (n=248)	52.4	1.2	4.8	57.7	4.8	0.4	5.2	4.8
文化協会 (n=50)	76.0	-	6.0	86.0	-	-	4.0	-

	リーダー・指導者が不足している	活動を普及するためのPR方法がわからない	特になし	その他	無回答
全体 (n=298)	9.7	5.4	11.4	1.0	8.7
公民館 (n=248)	9.3	6.0	13.3	1.2	9.3
文化協会 (n=50)	12.0	2.0	2.0	-	6.0

質問8 あなたの団体が抱える課題に対して、新型コロナウイルス感染症が終息または対策がされているとした上で、市に望む取組についてはどのようなものがありますか。主なものを3つ以内で選んでください。

(%)

	団体の活動情報のPR	指導者の養成・研修の支援	活動発表の場の提供	市と団体が連携したイベントの開催	講座・団体・指導者などの学習情報の提供	団体の活動についての相談窓口	施設の整備・充実	他の生涯学習関連団体とのマッチングサービス
全体 (n=298)	29.2	8.7	17.4	15.4	8.7	3.0	14.4	2.7
公民館 (n=248)	26.6	9.3	17.7	12.5	6.5	3.6	14.5	2.4
文化協会 (n=50)	42.0	6.0	16.0	30.0	20.0	-	14.0	4.0

	県や他市、民間との情報交換・連携	特になし	その他	無回答
全体 (n=298)	4.0	32.2	2.0	11.4
公民館 (n=248)	4.4	33.1	2.4	11.7
文化協会 (n=50)	2.0	28.0	-	10.0

質問9 あなたの団体の今後の活動方針について、1つ選んでください。

(%)

	会員や活動回数、活用場などを増やし、活発に活動していきたい	現状程度の活動内容・規模を維持していきたい	今後は活動を縮小していきたい	その他	無回答
全体 (n=298)	22.1	69.8	1.0	0.3	6.7
公民館 (n=248)	20.2	71.0	1.2	0.4	7.3
文化協会 (n=50)	32.0	64.0	-	-	4.0

蒲郡市生涯学習推進計画 2022

発 行 : 蒲郡市(令和4年3月)

企画・編集 : 蒲郡市教育委員会生涯学習課

〒443-0034 蒲郡市港町17-17 蒲郡市生命の海科学館内

TEL:0533-66-1167

E-mail:gakushu@city.gamagori.lg.jp



2022 ▶ 2026